



令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

金抜設計書

工事番号 2025060701

---

工事名 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

---

施工場所 加東市下滝野761番地（加東市立滝野中学校）ほか

---

---

兵庫県 加東市

















① 校舎棟 小学校(補助金対象)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
石		1		式		
瓦		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ネット及びその他		1		式		
	計					

建築工事 前半 科目別内訳

① 校舎棟 中学校(補助金対象外)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ネット及びその他		1		式		
	計					





⑥ 中学校教室棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
外壁改修		1		式		
建具改修		1		式		
内装改修		1		式		
耐震(躯体)改修		1		式		
環境配慮改修		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

建築工事 後半 科目別内訳

⑦ 連絡通路棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木		1		式		
屋根及びびとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		









増築校舎棟 共用(補助金対象按分)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
電灯設備		1		式		
動力設備		1		式		
雷保護設備		1		式		
受変電設備		1		式		
構内情報通信網設備		1		式		
構内交換設備		1		式		
情報表示設備		1		式		
映像・音響設備		1		式		
拡声設備		1		式		
誘導支援設備		1		式		
テレビ共同受信設備		1		式		
監視カメラ設備		1		式		
防犯・入退室管理設備		1		式		
火災報知設備		1		式		
	計					

電気設備 前半工事 科目別内訳

増築校舎棟 小学校(補助金対象)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
電灯設備		1		式		
動力設備		1		式		
構内情報通信網設備		1		式		
構内交換設備		1		式		
情報表示設備		1		式		
映像・音響設備		1		式		
拡声設備		1		式		
誘導支援設備		1		式		
テレビ共同受信設備		1		式		
監視カメラ設備		1		式		
防犯・入退室管理設備		1		式		
火災報知設備		1		式		
	計					



















令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事  
<前半工事>

建築				解体				構造			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A001	目次 その1	A071	1階職員室廻り詳細図 その1	A141	家具詳細図 その2	K001	解体特記仕様書 その1	S001	構造特記仕様書 その1		
A002	目次 その2	A072	1階職員室廻り詳細図 その2	A142	家具詳細図 その3	K002	解体特記仕様書 その2	S002	構造特記仕様書 その2		
A003	設計概要・外部仕上表・付近見取図	A073	1階職員室廻り詳細図 その3	A143	家具詳細図 その4	K003	解体除去概要図	S003	鉄筋コンクリート標準図 その1		
A004	特記仕様書 その1	A074	1階職員室廻り詳細図 その4	A144	家具詳細図 その5	K004	解体図 その1(ブル棟)	S004	鉄筋コンクリート標準図 その2		
A005	特記仕様書 その2	A075	1階保健室廻り詳細図 その1	A145	家具詳細図 その6	K005	解体図 その2(ブル棟)	S005	鉄筋コンクリート標準図 その3		
A006	特記仕様書 その3	A076	1階保健室廻り詳細図 その2	A146	家具詳細図 その7	K006	解体図 その3(ブル棟)	S006	鉄筋コンクリート標準図 その4		
A007	特記仕様書 その4	A077	1階保健室廻り詳細図 その3	A147	家具詳細図 その8	K007	解体図 その4(ブル棟)	S007	壁式鉄筋コンクリート標準図		
A008	特記仕様書 その5	A078	1階保健室廻り詳細図 その4	A148	家具詳細図 その9	K008	解体図 その5(ブル棟)	S008	鉄骨標準図		
A009	特記仕様書 その6	A079	2階エントランスホール廻り詳細図 その1	A149	家具詳細図 その10	K009	解体図 その6(ブル棟)	S009	溶接標準図		
A010	特記仕様書 その7	A080	2階エントランスホール廻り詳細図 その2	A150	家具詳細図 その11	K010	解体図 その7(ブル棟)	S010	型枠用デッキプレート標準図		
A011	特記仕様書 その8	A081	2階家庭科室廻り詳細図 その1	A151	家具詳細図 その12	K011	解体図 その8(ブル棟)	S011	プレストレストコンクリート特記仕様書		
A012	工事区分表	A082	2階家庭科室廻り詳細図 その2	A152	家具詳細図 その13	K012	解体図 その9(ブル棟)	S012	機械式鉄筋定着工法標準図		
A013	敷地求積図	A083	2階理科室廻り詳細図 その1	A153	黒板他詳細図	K013	解体図 その10(ブル棟)	S013	土質柱状図 その1		
A014	建物求積図 その1	A084	2階理科室廻り詳細図 その2	A154	電動スクリーン詳細図 その1	K014	解体図 その11(ブル棟)	S014	土質柱状図 その2		
A015	建物求積図 その2	A085	2階理科室廻り詳細図 その3	A155	電動スクリーン詳細図 その2	K015	解体図 その12(ブル棟)	S015	土質柱状図 その3		
A016	内部仕上表 その1	A086	3階メディアセンター廻り詳細図 その1	A156	金属屋根詳細図	K016	解体図 その13(ブル棟)	S016	地盤改良特記仕様書		
A017	内部仕上表 その2	A087	3階メディアセンター廻り詳細図 その2	A157	ルーバー詳細図	K017	解体図 その14(ブル付履棟)	S017	地盤改良伏図		
A018	現況図	A088	3階メディアセンター廻り詳細図 その3	A158	昇降機設備詳細図 その1	K018	解体図 その15(ブル付履棟)	S018	基礎伏図		
A019	配置図	A089	3階多目的ホール廻り詳細図 その1	A159	昇降機設備詳細図 その2	K019	解体図 その16(ブル付履棟)	S019	1階伏図		
A020	ビット伏図	A090	3階多目的ホール廻り詳細図 その2	A160	昇降機設備詳細図 その3	K020	解体図 その17(ブル付履棟)	S020	2階伏図		
A021	1階平面図	A091	3階音楽室廻り詳細図 その1	A161	昇降機設備詳細図 その4	K021	解体図 その18(ブル付履棟)	S021	3階伏図		
A022	2階平面図	A092	3階音楽室廻り詳細図 その2	A162	体育器具詳細図 その1	K022	解体図 その19(ブル付履棟)	S022	R階伏図		
A023	3階平面図	A093	3階音楽室廻り詳細図 その3	A163	体育器具詳細図 その2	K023	解体図 その20(ブル付履棟)	S023	屋根伏図		
A024	屋上階平面図	A094	1階屋外便所廻り詳細図	A164	体育器具詳細図 その3	K024	解体図 その21(ブル付履棟)	S024	柱梁寄り芯図		
A025	立面図 その1	A095	1階屋内運動場玄関廻り詳細図 その1	A165	体育器具詳細図 その4	K025	解体図 その22(ブル付履棟)	S025	軸組図 その1		
A026	立面図 その2	A096	1階屋内運動場玄関廻り詳細図 その2	A166	収納台車詳細図	K026	解体図 その23(駐輪場棟)	S026	軸組図 その2		
A027	断面図	A097	2階部室廻り詳細図 その1	A167	舞台機設備詳細図	K027	解体図 その24(渡り廊下棟)	S027	軸組図 その3		
A028	ブル棟平面図・立面図・断面図	A098	2階部室廻り詳細図 その2	A168	ブル詳細図 その1	K028	解体図 その25(渡り廊下棟)	S028	軸組図 その4		
A029	短計図 その1	A099	1・2階小アリーナ廻り詳細図 その1	A169	ブル詳細図 その2		(以下、電気設備・機械設備関連)	S029	軸組図 その5		
A030	短計図 その2	A100	1・2階小アリーナ廻り詳細図 その2	A170	ブル詳細図 その3	K029	解体撤去(ブル棟 分電盤結線図 照明器具要図)	S030	軸組図 その6		
A031	短計図 その3	A101	3階器具庫廻り詳細図 その1	A171	ブル詳細図 その4	K030	解体撤去(ブル棟 動力・電灯・コセント設備平面図)	S031	軸組図 その7		
A032	短計図 その4	A102	3階器具庫廻り詳細図 その2	A172	ブル詳細図 その5	K031	解体撤去(ブル棟 換気設備平面図)	S032	軸組図 その8		
A033	短計図 その5	A103	3階大アリーナ廻り詳細図 その1	A173	ブル詳細図 その6	K032	解体撤去(ブル棟 衛生設備配置図)	S033	軸組図 その9		
A034	短計図 その6	A104	3階大アリーナ廻り詳細図 その2	A174	ブル詳細図 その7	K033	解体撤去(ブル棟 衛生設備平面図)	S034	軸組図 その10		
A035	短計図 その7	A105	3階舞台廻り詳細図 その1	A175	ブル詳細図 その8	K034	解体撤去(ブル棟 衛生設備詳細図)	S035	軸組図 その11		
A036	部分詳細図 その1	A106	3階舞台廻り詳細図 その2	A176	ブル詳細図 その9			S036	軸組図 その12		
A037	部分詳細図 その2	A107	3階舞台廻り詳細図 その3	A177	ブル詳細図 その10			S037	軸組図 その13		
A038	部分詳細図 その3	A108	3階舞台廻り詳細図 その4	A178	サイン配置図 その1			S038	基礎詳細図		
A039	部分詳細図 その4	A109	学習広場廻り詳細図	A179	サイン配置図 その2			S039	基礎断面図表		
A040	部分詳細図 その5	A110	屋上廻り詳細図 その1	A180	サイン詳細図 その1			S040	R C柱断面表		
A041	部分詳細図 その6	A111	屋上廻り詳細図 その2	A181	サイン詳細図 その2			S041	S R C柱断面表、スラブ断面表		
A042	階段A廻り詳細図 その1	A112	天井伏図 その1	A182	仮設計計画(工事ステップ図) その1			S042	R C大梁断面表 その1		
A043	階段A廻り詳細図 その2	A113	天井伏図 その2	A183	仮設計計画(工事ステップ図) その2			S043	R C大梁断面表 その2		
A044	階段B・E V 1廻り詳細図 その1	A114	天井伏図 その3					S044	R C大梁断面表 その3		
A045	階段B・E V 1廻り詳細図 その2	A115	雨水排水・防水範囲図					S045	R C小梁断面表		
A046	階段C廻り詳細図 その1	A116	断熱範囲図					S046	P R C梁断面表		
A047	階段C廻り詳細図 その2	A117	ブル棟詳細図 その1					S047	P R C縦断断面配線図		
A048	階段C廻り詳細図 その3	A118	ブル棟詳細図 その2					S048	P R C梁定着端部詳細図		
A049	階段D・E V 2廻り詳細図 その1	A119	ブル棟詳細図 その3					S049	鉄骨部材断面表		
A050	階段D・E V 2廻り詳細図 その2	A120	ブル棟詳細図 その4	図面番号	図面名称			S050	架構筋筋図		
A051	屋外階段A廻り詳細図 その1	A121	ブル棟詳細図 その5	A201	外構平面図			S051	雑配筋詳細図 その1		
A052	屋外階段A廻り詳細図 その2	A122	建具特記仕様書 その1	A202	外構雨水排水図			S052	雑配筋詳細図 その2		
A053	屋外階段B廻り詳細図	A123	建具特記仕様書 その2	A203	外構詳細図 その1			S053	雑配筋詳細図 その3		
A054	屋外階段C廻り詳細図	A124	建具伏図 その1	A204	外構詳細図 その2			S054	雑配筋詳細図 その4		
A055	便所1廻り詳細図	A125	建具伏図 その2	A205	外構詳細図 その3			S055	鉄骨詳細図 その1		
A056	便所2廻り詳細図	A126	建具伏図 その3	A206	外構詳細図 その4			S056	鉄骨詳細図 その2		
A057	便所3・職員来客用便所廻り詳細図	A127	建具伏図 その4	A207	外構詳細図 その5			S057	鉄骨詳細図 その3		
A058	便所4廻り詳細図	A128	建具表 その1	A208	外構詳細図 その6						
A059	1～3階普通教室廻り詳細図 その1	A129	建具表 その2	A209	外構詳細図 その7			S101	ブル棟 ビット伏図・地盤改良特記仕様書		
A060	1～3階普通教室廻り詳細図 その2	A130	建具表 その3	A210	外構詳細図 その8			S102	ブル棟 1階・R階伏図		
A061	1～3階普通教室廻り詳細図 その3	A131	建具表 その4	A211	外構詳細図 その9			S103	ブル棟 軸組図		
A062	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その1	A132	建具表 その5	A212	外構詳細図 その10			S104	ブル棟 断面表・詳細図		
A063	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その2	A133	建具表 その6	A213	外構詳細図 その11						
A064	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その3	A134	建具表 その7	A214	外構詳細図 その12						
A065	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その4	A135	建具表 その8								
A066	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その5	A136	建具詳細図 その1								
A067	1～3階特別支援教室廻り詳細図 その6	A137	建具詳細図 その2								
A068	1～3階教師ステーション廻り詳細図 その1	A138	家具配置図 その1								
A069	1～3階教師ステーション廻り詳細図 その2	A139	家具配置図 その2								
A070	1階エントランスホール廻り詳細図	A140	家具詳細図 その1								
						作成日	2025.03			工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 目次 その1 縮尺 A1: - A3: -	図面番号 A001

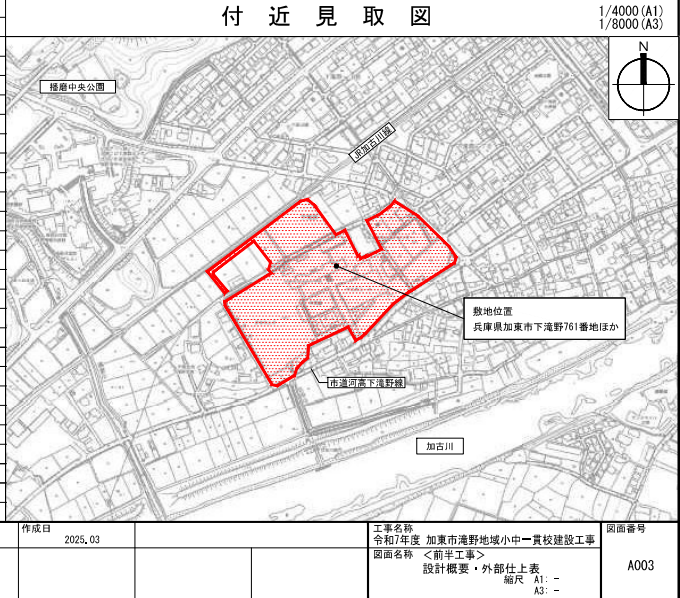
電 気 設 備				機 械 設 備			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
E001	電気設備特記仕様書 その1	E205	弱電設備(1) 増築校舎棟(西) ビット階平面図	E403	防火区画 増築校舎棟 3階平面図	M001	機械設備特記仕様書 その1
E002	電気設備特記仕様書 その2	E206	弱電設備(1) 増築校舎棟(西) 1階平面図			M002	機械設備特記仕様書 その2
E003	凡例	E207	弱電設備(1) 増築校舎棟(東) 1階平面図			M003	機械設備特記仕様書 その3
E004	改修 構内配電線図	E208	弱電設備(1) 増築校舎棟(西) 2階平面図			M004	機械設備特記仕様書 その4
E005	改修 構内通信線図	E209	弱電設備(1) 増築校舎棟(東) 2階平面図			M005	標準図
E006	撤去 構内配電線図	E210	弱電設備(1) 増築校舎棟(西) 3階平面図			M101	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 機器表(1)
E007	撤去 構内通信線図	E211	弱電設備(1) 増築校舎棟(東) 3階平面図			M102	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 機器表(2)
E008	受変電設備 単線結線図・キュービクル姿図	E212	情報表示設備 機器姿図			M103	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 機器表(3)
E009	配電盤リスト	E213	トイレ呼出設備 機器姿図			M104	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 機器表(4)
E010	幹線リスト(1)	E214	テレビ共同受信・誘導支援・情報表示・ITV・機械警備用空配設備 系統図			M105	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 制気口リスト
E011	幹線リスト(2)	E215	弱電設備(2) 増築校舎棟(西) ビット階平面図			M106	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 系統図(ダクト)
E012	幹線設備 系統図	E216	弱電設備(2) 増築校舎棟(西) 1階平面図			M107	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 1階平面図(ダクト)
E013	動力盤結線図・警報盤リスト・動力盤リスト(1)	E217	弱電設備(2) 増築校舎棟(東) 1階平面図			M108	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 2階平面図(ダクト)
E014	動力盤リスト(2)	E218	弱電設備(2) 増築校舎棟(西) 2階平面図			M109	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 3階平面図(ダクト)
E015	分電盤リスト(1)	E219	弱電設備(2) 増築校舎棟(東) 2階平面図			M110	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 屋上平面図(ダクト)
E016	分電盤リスト(2)	E220	弱電設備(2) 増築校舎棟(西) 3階平面図			M111	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 平面詳細図(1)(ダクト)
E017	分電盤リスト(3)	E221	弱電設備(2) 増築校舎棟(東) 3階平面図			M112	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 平面詳細図(2)(ダクト)
E018	分電盤リスト(4)	E222	弱電設備(2) 増築校舎棟(西) R階平面図			M113	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 系統図(配管)
E019	分電盤リスト(5)	E223	緊急インターホン設備 機器姿図			M114	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 1階平面図(配管)
E020	分電盤リスト(6)	E224	緊急インターホン設備 系統図			M115	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 2階平面図(配管)
E021	分電盤リスト(7)	E225	緊急インターホン設備 増築校舎棟(西) 1階平面図			M116	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 3階平面図(配管)
E022	分電盤リスト(8)	E226	緊急インターホン設備 増築校舎棟(東) 1階平面図			M117	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 屋上平面図(配管)
E101	幹線・動力設備 増築校舎棟(西) ビット階平面図	E227	緊急インターホン設備 増築校舎棟(西) 2階平面図			M118	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 1階平面図(配線)
E102	幹線・動力設備 増築校舎棟(西) 1階平面図	E228	緊急インターホン設備 増築校舎棟(東) 2階平面図			M119	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 2階平面図(配線)
E103	幹線・動力設備 増築校舎棟(東) 1階平面図	E229	緊急インターホン設備 増築校舎棟(西) 3階平面図			M120	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 3階平面図(配線)
E104	幹線・動力設備 増築校舎棟(西) 2階平面図	E230	緊急インターホン設備 増築校舎棟(東) 3階平面図			M121	校舎棟・屋内運動場棟 空調設備 屋上平面図(配線)
E105	幹線・動力設備 増築校舎棟(東) 2階平面図	E231	小アリーナ 音響設備 機器姿図			M201	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 機器表・樹りリスト
E106	幹線・動力設備 増築校舎棟(西) 3階平面図	E232	映像設備 機器姿図			M202	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 衛生器具表
E107	幹線・動力設備 増築校舎棟(東) 3階平面図	E233	映像設備 増築校舎棟(西) 1階平面図			M203	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 系統図
E108	幹線・動力設備 増築校舎棟(西) R階平面図	E234	映像設備 増築校舎棟(東) 1階平面図			M204	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 配置図
E109	幹線・動力設備 増築校舎棟(東) R階平面図	E235	映像設備 増築校舎棟(西) 2階平面図			M205	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 ビット平面図
E110	空調換気電源設備 増築校舎棟(西) 1階平面図	E236	映像設備 増築校舎棟(東) 2階平面図			M206	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 1階平面図
E111	空調換気電源設備 増築校舎棟(東) 1階平面図	E237	映像設備 増築校舎棟(西) 3階平面図			M207	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 2階平面図
E112	空調換気電源設備 増築校舎棟(西) 2階平面図	E238	映像設備 増築校舎棟(東) 3階平面図			M208	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 3階平面図
E113	空調換気電源設備 増築校舎棟(東) 2階平面図	E239	3階音楽室1 AV設備 機器姿図			M209	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 屋上平面図
E114	空調換気電源設備 増築校舎棟(西) 3階平面図	E240	3階音楽室2 AV設備 機器姿図			M210	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(1)
E115	空調換気電源設備 増築校舎棟(東) 3階平面図	E241	3階多目的室 AV設備 機器姿図(1)			M211	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(2)
E116	空調換気電源設備 増築校舎棟(東) R階平面図	E242	3階多目的室 AV設備 機器姿図(2)			M212	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(3)
E117	照明器具姿図(1)	E243	大アリーナ AV設備 機器姿図(1)			M213	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(4)
E118	照明器具姿図(2)	E244	大アリーナ AV設備 機器姿図(2)			M214	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(5)
E119	照明器具姿図(3)	E245	拡声設備 システム図・機器姿図(1)			M215	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(6)
E120	電灯設備 増築校舎棟(西) ビット階平面図	E246	拡声設備 機器姿図(2)			M216	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(7)
E121	電灯設備 増築校舎棟(西) 1階平面図	E247	拡声設備 機器姿図(3)			M217	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(8)
E122	電灯設備 増築校舎棟(東) 1階平面図	E248	拡声設備 系統図			M218	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(9)
E123	電灯設備 増築校舎棟(西) 2階平面図	E249	拡声設備 増築校舎棟(西) 1階平面図			M219	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(10)
E124	電灯設備 増築校舎棟(東) 2階平面図	E250	拡声設備 増築校舎棟(東) 1階平面図			M220	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(11)
E125	電灯設備 増築校舎棟(西) 3階平面図	E251	拡声設備 増築校舎棟(西) 2階平面図			M221	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 詳細図(12)
E126	電灯設備 増築校舎棟(東) 3階平面図	E252	拡声設備 増築校舎棟(東) 2階平面図			M222	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 系統図(消火)
E127	電灯設備 増築校舎棟(西) R階平面図	E253	拡声設備 増築校舎棟(西) 3階平面図			M223	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 1階平面図(消火)
E128	電灯設備 増築校舎棟(東) R階平面図	E254	拡声設備 増築校舎棟(東) 3階平面図			M224	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 2階平面図(消火)
E129	舞台照明設備 仕様書・システム図	E255	拡声設備 増築校舎棟(東) R階平面図			M225	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 3階平面図(消火)
E130	舞台照明設備 機器姿図	E256	自動火災報知設備 特記仕様書			M226	校舎棟・屋内運動場棟 衛生設備 屋上平面図(消火)
E131	舞台照明設備 平面図	E257	自動火災報知設備 点数リスト			M301	プール棟 換気設備 機器表・平面図
E132	コンセント設備 増築校舎棟(西) ビット階平面図	E258	自動火災報知設備 系統図			M302	プール棟 衛生設備 機器表・器具表
E133	コンセント設備 増築校舎棟(西) 1階平面図	E259	自動火災報知設備 増築校舎棟(西) 1階平面図			M303	プール棟 衛生設備 平面図
E134	コンセント設備 増築校舎棟(東) 1階平面図	E260	自動火災報知設備 増築校舎棟(東) 1階平面図			M304	プール棟 衛生設備 詳細図
E135	コンセント設備 増築校舎棟(西) 2階平面図	E261	自動火災報知設備 増築校舎棟(西) 2階平面図			M305	プール棟 ろ過設備 機器表・系統図
E136	コンセント設備 増築校舎棟(東) 2階平面図	E262	自動火災報知設備 増築校舎棟(東) 2階平面図			M306	プール棟 ろ過設備 平面図
E137	コンセント設備 増築校舎棟(西) 3階平面図	E263	自動火災報知設備 増築校舎棟(西) 3階平面図			M307	プール棟 ろ過設備 詳細図
E138	コンセント設備 増築校舎棟(東) 3階平面図	E264	自動火災報知設備 増築校舎棟(東) 3階平面図			M308	プール棟 ろ過設備 制御図
E139	コンセント設備 増築校舎棟(西) R階平面図	E265	自動火災報知設備 増築校舎棟(西) R階平面図				
E140	コンセント設備 増築校舎棟(東) R階平面図	E266	自動火災報知設備 増築校舎棟(東) R階平面図				
E141	常保護設備 機器詳細図	E301	幹線・動力・空調換気電源設備 プール棟 平面図				
E142	常保護設備 立面図	E302	電灯設備 プール棟 平面図				
E143	常保護設備 増築校舎棟 1階平面図	E303	コンセント設備 プール棟 平面図				
E144	常保護設備 増築校舎棟 R階・塔屋階平面図	E304	弱電設備 プール棟 平面図				
E201	総合盤姿図・端子盤リスト	E305	緊急インターホン設備・拡声設備 プール棟 平面図				
E202	構内交換設備 仕様書・機器参考姿図	E306	自動火災報知設備 プール棟 平面図				
E203	構内情報通信網設備 仕様書・機器参考姿図	E401	防火区画 増築校舎棟 1階平面図				
E204	構内情報通信網・構内交換設備 系統図	E402	防火区画 増築校舎棟 2階平面図				

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	
		図面名称	<前半工事> 目次 その2		A002
			縮尺 A1: - A3: -		

設計概要

外部仕上表

Main project information table including site name, location, and various specifications.



付近見取図

1/4000 (A1) 1/8000 (A3)

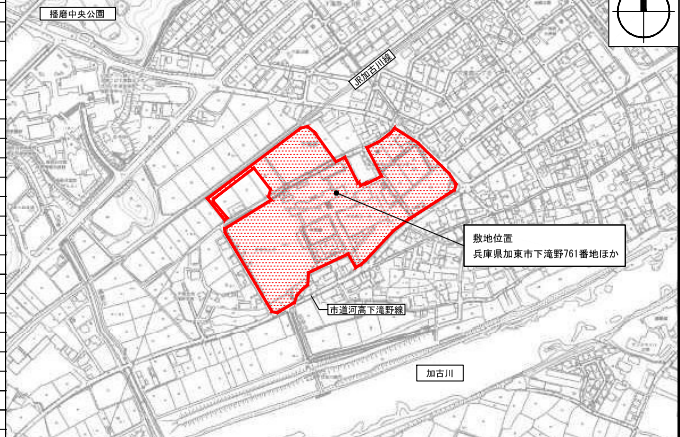


Table with project details: 作成日 (2025.03), 工事名称 (令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事), 図面番号 (A003).



⑤ 仮囲い等	仮囲い ※要(敷地四圍) ※H=1800・H=3000 仕様(※図示) ①各種ゲート、交通誘導員は仮設計計画による
⑥ 工事表示板	標示事項 工事名称、建築主名、受注者名、設計監理事務所名、電気保安技術者等を明記する。 表示板の大きき取付位置は監督職員の指示による。 完成予想図 ②要(900×600程度、2ヶ処) ・不要
③ 土工事	①埋戻し及び盛土 材料及び工法 (3.2.3)(表3.2.1) ・材料 ( ) (工法 ) ※標準 表 3.2.1.1による 種別 ・A種 適用箇所 ( ) ・B種 適用箇所 ( ) ※現地からの受入済土も含む ・C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受変場所 ( ) ・D種 適用箇所 ( ) ②建設発生土の処理 ※構外搬出処理(処分先: ) (3.2.5) ・構内搬出の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し ③山留めの撤去 ※撤去する (3.3.3) ・存置する(範囲: ) ④根切り底支持地盤の確認(直接基礎の場合) 地盤をかき乱した場合は処置 (3.2.1) ※監督職員の承認を受け、以下のいずれかの処置を適切に行うこと。 ○地盤改良 ・コンクリート打設 ・砂質土と置き換え締め込み
④ 地業工事	構造特記仕様書による。
⑤ 鉄筋工事	構造特記仕様書による。
⑥ コンクリート工事	構造特記仕様書による。
⑦ 鉄骨工事	構造特記仕様書による。
⑧ 1 補強コンクリート	材 料 (8.2.2-3)(表8.2.1) ブロック造 ※空用ブロック(C16) モジュール呼び寸法(mm) ※(W)400×(H)200 正味厚さ(mm) 各部の配筋 ※図示 モルタルの割合 ※表8.2.1による 自地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ
⑨ 2 コンクリートブロック	構造特記仕様書による。(3.3.2) ※標準表8.3.1及び下表による。
⑩ A L C パネル	① A L C パネル (8.4.2-7)(表8.4.2-4) パネル区分 単位荷重(N/m <sup>2</sup> ) 厚さ(mm) 耐火性能 表面加工 取付け構造種別 ○外壁パネル ・ ○100 ・ 1時間 ○平 ○A種 ・ B種 ・ 意匠 ・ 間仕切壁パネル ・ ・ 100 ・ 1時間 ・ 平 ・ C種 ・ D種 ・ 意匠 ・ E種 ・ 屋根パネル ・ ・ 100 ・ 30分間 平 F種 ・ 床パネル ・ ・ 100 ・ 1時間 パネル幅の最小限度 ※300mm ・ ( ) mm 役物の有無 ・ 有り ( ) ・ 無し パネルの短辺小口相互の接合部の目地幅 ※10~20mm 出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の伸縮目地幅 ※10~20mm ・ 図示 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 有り ( ) ○無し 外壁パネル構法の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0・ )倍の風圧力に対応した工法 外壁パネル構法の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0・ )倍の風圧力に対応した工法 設計用風度 水平方向(KH) ※1.0 ・ ( ) 鉛直方向(KV) ※0.5 ・ ( ) 間仕切パネル構法の耐風圧性能 設計用風度 水平方向(KH) ※1.0 ・ ( ) 鉛直方向(KV) ※0.5 ・ ( ) 取付け金物の耐火保護 外壁 ※行う ○行わない 間仕切壁 ※行う ○行わない

4 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2-5)(表8.5.1-2)
種 別	表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 構造種別
・外壁パネル	※フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ ※600 ・ ・ A種 ・ デザインパネル ・ 50 ・ 60 ※600 ・ ・ B種 ・ タイル下地パネル ・ 62 ・ ※600 ・ ・ B種
・間仕切壁パネル	※フラットパネル ・ 50 ・ 60 ※600 ・ ・ B種 ・ デザインパネル ・ 50 ・ 60 ※600 ・ ・ C種 ・ タイル下地パネル ・ 62 ・ ※600 ・ ・ C種
パネル幅の最小限度 ※300mm ・ ( ) mm 耐火構造は建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様による 役物の有無 ・ 有り ( ) ・ 無し パネル相互の目地幅 長辺の目地幅 ・ 10mm以上 ・ ( ) mm 短辺の目地幅 ・ 15mm以上 ・ ( ) mm 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地幅 ※15mm程度(シーリング材充填) ・ 図示 外壁パネル工法の2次防水仕様 ※適用する ・ 適用しない 外壁パネル構法の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0・ )倍の風圧力に対応した工法 外壁パネル構法の耐風圧性能 設計用風度 水平方向(KH) ※1.0 ・ ( ) 鉛直方向(KV) ※0.5 ・ ( ) 間仕切パネル構法の耐風圧性能 設計用風度 水平方向(KH) ※1.0 ・ ( ) 鉛直方向(KV) ※0.5 ・ ( ) 取付け金物の耐火保護 ・ 行う(適用箇所: ) ・ 行わない パネルの欠き込み パネルにやむを得ず欠き込みを行う場合は、欠損部を考慮して強度計算を行い、安全を確認すること。 ドレンパイプ ※SUS304 径8mm 逆流防止弁付 高さ60mを超える建物の外壁に使用する工法 ※材料製造所の指定工法による製造所: ) ・ 無し	
⑨ 1 アスファルト防水	① 屋根保護防水 (9.2.2-5)(表9.2.3-10) 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・ A-1-1 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ※フラットヤーン ・ A-1-2 層上 3種A(スケン覆付) クロス70g/m <sup>2</sup> 程度 厚さ ・ 35 ・ 40 ※50 ・ 60 ・ B-1-1 ・ ・ ・ B-1-2 ・ ・ ・ A-1 ※ポリエチレンフィルム ・ A-2 厚0.15mm以上 又はフラットヤーン ・ B-1 又はクロス70g/m <sup>2</sup> 程度 ・ B-2 立上り部の保護方法 ※乾式保護材 ・ 押出成形セメント板(厚さ15mm) ○図示による ・ 屋根露出防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・ D-1-1 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ※アクリル樹脂 ※D-1-2 ・ 1号 ※2号 エマルション系塗料 (使用量はアスファルト・ フルーイング材の製造所の仕様による) ・ D-1 ・ D-2 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・ 有 (施工箇所 ) ・ 無し ・ 屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 ・ E-1 ・ 設ける(図示) ・ 設けない ・ E-2 ・ 設ける(図示) ・ 設けない アスファルト防水の保証年数 ※10年間 ・
⑨ 2 アスファルト防水	② 屋根保護防水 (9.2.2-5)(表9.2.3-10) 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・ A-1-1 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ※フラットヤーン ・ A-1-2 層上 3種A(スケン覆付) クロス70g/m <sup>2</sup> 程度 厚さ ・ 35 ・ 40 ※50 ・ 60 ・ B-1-1 ・ ・ ・ B-1-2 ・ ・ ・ A-1 ※ポリエチレンフィルム ・ A-2 厚0.15mm以上 又はフラットヤーン ・ B-1 又はクロス70g/m <sup>2</sup> 程度 ・ B-2 立上り部の保護方法 ※乾式保護材 ・ 押出成形セメント板(厚さ15mm) ○図示による ・ 屋根露出防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・ D-1-1 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ※アクリル樹脂 ※D-1-2 ・ 1号 ※2号 エマルション系塗料 (使用量はアスファルト・ フルーイング材の製造所の仕様による) ・ D-1 ・ D-2 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・ 有 (施工箇所 ) ・ 無し ・ 屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 ・ E-1 ・ 設ける(図示) ・ 設けない ・ E-2 ・ 設ける(図示) ・ 設けない アスファルト防水の保証年数 ※10年間 ・

2 改質アスファルト	(9.3.2-4)(表9.3.1-3)
シート防水	防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 防湿シート 仕上塗料 ・ AS-I1 ※硬質ウレタンフォーム ・ 設ける ※アクリル樹脂 ・ AS-I1-1 断熱材2種・1号 ※2号 ・ 設けない エマルション系塗料 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 ・ AS-T1 (使用量はアスファルト・ フルーイング材の製造所の仕様による) ・ AS-T3 ・ AS-J1 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・ 有 (施工箇所 ) ・ 無し 脱気装置の種類及び設置数量は改質アスファルトシート類の製造所の指定とす 改質アスファルトシート防水の保証年数 ※10年間 ・
3 合成高分子系	(9.4.2-4)(表9.4.1-3)
ルーフィングシート	防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 歩行仕様 仕上塗料 ・ S-F1 ※非歩行 ・ S-F2 ※軽歩行 (断熱工法) ※硬質ウレタンフォーム ・ S1-F1 断熱材2種・1号 ※2号 (使用量は製造所の仕様による) 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 ・ S1-M1 ※押出ポリスチレンフォーム断熱材3種A 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・ 有 (施工箇所 ) ・ 無し ・ 屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 立上り部の保護モルタル塗層 ・ S-C1 ・ 図示 ・ ※7mm以下 ルーフィング防水シートの種類及び厚さ ※(表9.4.1-3)による 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4mm以上 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・ 図示 機械的固定方法の場合の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0・ )倍の風圧力に対応した工法 合成高分子系ルーフィングシート防水の保証年数 ※10年間 ・
④ 塗膜防水	(9.5.2-4)(表9.5.1-2) 防水層種別 施工箇所 仕上塗料 保護層 ・ Y-1 ・ ・ ※製造所の仕様による ・ Y-2 ・ ・ ※図示 脱気装置(種別がY-1工法の場合) (9.3.2) 防水層種別 施工箇所 保護層 ・ E-1 ・ 設ける(図示) ・ 設けない ・ E-2 ・ 設ける(図示) ・ 設けない 高日射反射率防水の適用(種別がY-1工法の場合) (9.3.2) ・ 有(施工箇所 ) ○無し 塗膜防水の保証年数(地下外壁防水を除く) ※10年間 ・
⑤ ケイ酸質系塗布防水	(9.6.2-3)(表9.6.1-2) 種 別 施工箇所 ※G-U1 EVビット ・ G-UP ケイ酸質系塗布防水の保証年数 ○10年間

⑤ その他の防水	(種仕以外の工法) 種 別 施工箇所 製造所・型式等 ○複合塗膜防水(露出工法) 防水範囲図による 下記による ○複合塗膜防水(保護工法) 防水範囲図による 下記による ○塗膜防水 消火水槽 下記による 使用量等は防水製造所の仕様による 保証年数 種別 (複合塗膜防水 ) ○10年間 種別 (塗膜防水 ) ○10年間 複合塗膜防水(シーリング材)「超導硬化ウレタン複合防水」 又は同等品 露出工法 (UPM-10) 保護工法 (UPM-10C) 塗膜防水: 大間化学「塗膜防水 B-1工法」 又は同等品 下表以外は、標準表9.7.1による。(9.7.2-5)(表9.7.1) 施工箇所 シーリング材の種類(記号) ○図示 ・ 変成シリコーン系(MS-2)耐久区分10030の製品 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 シーリング材の保証年数 ※7年間 ○10年間 (但し外部に施工するシーリング材で防水性能を維持する部分) ⑧ 水張り試験 試験箇所 (屋内外の防水範囲全般) 試験方法 ドレン廻りをルーフィング類やウェス類で仮の蓋をし、防水層の立上がり端部を越えないように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や下階への濡れの有無を確認する。 ⑩ 1 石材の割付け (10.1.3) 石材の割付け ※図示 水打継ぎ部、異種下地の取合い部等は、原則として1枚の石材をまたいで取り付けてはならない。 止むを得ず取り付ける場合は、工法を監督職員と協議し、承諾を得ること。 ⑩ 2 石材等 (10.2.1)(表10.2.1-2) 施工箇所等 種類 産地・名称 厚さ 仕上りの種類 床材 花崗石 中国産・6381 万年青 図示 本磨き 定礎 花崗石 中国産・御影石(黒) 図示 本磨き カウンター 花崗石 中国産・御影石(白) 図示 本磨き 上り敷 花崗石 中国産・6381 万年青 図示 水磨き 石材は上記により見本品提出の上決定する。(10.3.1-3) 外壁の湿式工法(石厚70mm以下の石材を1階の腰壁または根石部分に取り付ける工法)に適用 受造物 材質 ※ステンレス(SUS304)製 ・ 形状・寸法 ※L=75×75×6(mm)(長さ・100mm・150mm) アンカーの材質・寸法 材質: ※SS400 寸法: あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類: 材質: 寸法: 上記以外の受造物の材質、形状・寸法 石材の厚さ(mm) ・ 石表面処理 ※適用する(小口共) ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する 浸透性防水防止剤 ・ 適用する 浸透性防水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー 構造流し工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 ※図示(6mm以上) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと シーリング材の目地寸法 ※図示(幅・深さとも10mm以上)
⑩ 3 外壁湿式工法	(10.3.1-3) 外壁の湿式工法(石厚70mm以下の石材を1階の腰壁または根石部分に取り付ける工法)に適用 受造物 材質 ※ステンレス(SUS304)製 ・ 形状・寸法 ※L=75×75×6(mm)(長さ・100mm・150mm) アンカーの材質・寸法 材質: ※SS400 寸法: あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類: 材質: 寸法: 上記以外の受造物の材質、形状・寸法 石材の厚さ(mm) ・ 石表面処理 ※適用する(小口共) ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する 浸透性防水防止剤 ・ 適用する 浸透性防水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー 構造流し工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 ※図示(6mm以上) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと シーリング材の目地寸法 ※図示(幅・深さとも10mm以上)
⑩ 4 内壁空積工法	(10.2.2)(表10.2.3)(10.4.2-3) 内壁の空積工法(石厚70mm以下の石材を高さ4mm以下の内壁に取り付ける工法)に適用 受造物 材質 ※ステンレス(SUS304)製 ・ 形状・寸法 ※L=75×75×6(mm)(長さ・100mm・150mm) アンカーの材質・寸法 材質: ※SS400 寸法: あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類: 材質: 寸法: 上記以外の受造物の材質、形状・寸法

石表面処理 ※適用する (小口共) ・適用しない  
裏打ち処理 ・適用する  
浸透性吸水防止剤 ・適用する  
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない  
下地ごしらえ ※あと施工アンカー 横筋施工工法  
・あと施工アンカー工法  
目地 一般目地 目地幅 ※図示 (6mm以上)  
シーリング材 適用する ・適用しない  
伸縮調整目地 位置 ※ 6m程度ごと  
シーリング材の目地寸法  
※ 図示 (幅・深さも10mm以上)

5 外壁乾式工法 (10.5.1~3)  
外壁の乾式工法 (石厚70mm以下の石材を高さ31m以下の建物の外壁に取付ける工事) に適用  
乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等  
※標仕 表10.2.4による  
方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 ・図示による  
アンカーの材質・寸法  
材質: ※SS400 寸法:  
あと施工アンカーの種類、材質及び寸法  
種類: 材質: 寸法:  
上記以外の金物の材質、形状・寸法  
・図示による  
石材の厚さ(mm) ・適用しない  
たば用の穴の位置 ※ 標仕10.5.2(2) (7)による  
樫木の取付 ※ 標仕10.3.3(3) (7)による  
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない  
浸透性吸水防止剤 ・適用する  
目地 ※ シーリング ・空目地 ・図示  
目地幅 ※ 図示 (8mm以上)  
シーリング材 ※適用する (標仕9.7による) ・適用しない  
外壁の耐風圧性能  
※ 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 )倍の風圧力に対応した工法

6 内壁乾式工法  
内壁の乾式工法 (高さ31m以下の建物の内壁) に適用  
特記以外は、標仕10.5.1~3 外壁乾式工法を適用する

7 床及び階段の石張り  
床石張り  
石表面処理 (小口共) ※適用する ・適用しない  
裏打ち処理 ・適用する  
浸透性吸水防止剤 ・適用する  
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない  
目地 (10.6.2~3)  
一般目地 ・セメントモルタル ・シーリング  
目地幅 ※ 屋外 4mm以上、屋内 3~6mm ・図示  
伸縮調整目地  
位置 ※ 床面積30㎡程度ごと、縦長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取合う箇所  
・図示  
シーリング材の目地寸法  
※ 幅・深さも10mm以上 ・図示  
階段張り  
石表面処理 (小口共) ※適用する ・適用しない  
石表面処理 (小口共) ・適用する  
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない  
表面仕上げの確認  
磨き仕上げの場合、耐滑性試験値 (JIS A 1509: CSR値に準ずる) 等データを監督職員に提出し、承認を得ること

⑧ 特殊部位の石張り (10.7.2~3)  
笠木、甲板等の石張り  
施工箇所 ※ 図示  
取付け工法 ・湿式工法 ○乾式工法  
乾式工法の場合の取付代 ※70mm程度  
石表面処理 (小口共) ・適用する ・適用しない  
浸透性吸水防止剤 ・適用する  
浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない  
乾式工法の場合の金物の補強用モルタル ・適用する

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)

② タイルの品質・種類 (11.2.2) (11.3.2)

施工箇所・名称 (品名・品番)	形状・寸法 (mm)	吸水率による区分	釉薬	色	釉の有無	役物の耐摩耗性の有無
床用タイルA	屋外用磁器質 300角	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
床用タイルB	屋外用磁器質 1192×197×9.5	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
床用タイルC	屋内用磁器質 50角	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
内装タイルA	屋内用多孔質珪酸塩質 909×303	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
内装タイルB	屋内用磁器質 200角	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
外装タイル	屋外用磁器質 497×(146.5・97・47.5)	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
デザインタイル	屋内用磁器質 14.8×14.8×6	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
手洗いタイル	屋外用磁器質 22.5×22.5×7	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無
汚重石	屋内床用磁器質 800×600×6	○1類・II類 ・III類	○釉 ・無	○有 ・無	○有 ・無	○有 ・無

役物: 標準的な曲がり (小口、標準、二丁、扉用) の役物は一体成形とする  
タイルの見本焼き ※行わない・行う (種類)  
タイルの試験張り ※行わない・行う  
床用タイルの防滑性  
耐摩耗性試験値 (JIS A 1509: CSR値) 等のデータを監督職員に提出し、承認を得ること  
製造所:  
床用タイルA LIXIL「ピエツァ」※階段段差昇降 又は同等品  
床用タイルB ニッタ工業「ウッド」 外装タイプ 又は同等品  
床用タイルC LIXIL「カラコンモザイクカラー」 又は同等品  
内装タイルA LIXIL「コトツク」 ※「コトツク」 又は同等品  
内装タイルB LIXIL「インフォントアルファ」 又は同等品  
外装タイル LIXIL「メタリック」 ※「メタリック」 又は同等品  
デザインタイル 名古屋モザイク工業「ロザリア」 又は同等品  
※ 同系色の濃淡張り (フロア単位の色彩計画)  
手洗いタイル 名古屋モザイク工業「アートモザイク」 又は同等品  
※ 3色程度のランダム張り  
汚重石 TOTO「ハイドコロ・フロア PU (薄型)」 又は同等品

3 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.1~7) (表11.2.1~3)  
外装壁タイルの下地及びタイルごしらえ (11.2.1~7) (表11.2.1~3)  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理方法  
※ 目視工法 (超高压水洗 (150MPa程度)) (15.3.4. (4))  
・MCR工法  
壁タイル張りの工法  
内装壁タイル  
・密着張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル張り  
外装壁タイル  
・密着張り ・改良圧着張り  
内装壁タイル以外のユニットタイル  
・マスク張り ・モザイクタイル張り  
床タイル張りの工法  
300mm×300mmを超える大きさの床タイル張りは、タイル製造所の標準工法による既設コンクリート床及び既設誘目地材  
※ 品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける  
(特記仕様書1.11 材料の品質等、5) による

④ 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.1~6) (表11.3.1~2)  
施工箇所  
○内装壁タイル ○外装壁タイル (プール棟)  
外装壁タイルの工法  
※タイル製造所による標準工法 (有機系下地調整剤による下地調整)  
下記コンクリート素地面の処理方法  
コンクリート打放し仕上げB種、コンクリートの仕上げが平坦さはa種とし  
高压水洗工法 (〜50MPa程度) を行い、表面の付着物や凹凸部を除去する  
・標準仕様書に基づく工法 (セメント系下地調整剤による下地調整)  
セメント系下地調整剤塗りは、標仕15.3.5(4) (7) による  
コンクリート素地面の処理方法

※ 目視工法 (超高压水洗 (150MPa程度)) (15.3.4. (4))  
コンクリート打放し仕上げはB種、平坦さはa種とし表面の目視しを行う  
・MCR工法 (6.8.2(5))  
外装壁タイルの目地詰め ※行う ・行わない  
外装タイル施工記録の提出  
工事完成時には定期報告用の下記各施工記録を提出する  
施工記録一覧、仕上後、下地補修範囲、下地確認、タイル割りプロセス検査  
引換検査記録簿、工事写真、外観目視・打診検査及び張替範囲図

5 その他のタイル張り工法 (標仕以外の工法)

① 一般 (12.2.1)  
ホルムアルデヒド放散量 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)  
※標仕12.2.1(1) (4) のいずれかとする  
(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)  
・下地用製材「JAS 1083-5」に基づく下地用製材  
施工箇所 等級 寸法 (mm) 含水率 保存処理 備考  
※2級 ・ 図示 ※A種・B種  
※2級 ・ 図示 ※A種・B種  
○造作用製材「JAS 1083-2」に基づく造作用製材  
等級 寸法 (mm) 含水率 保存処理 備考  
見え掛り面 ※上小節 図示 ※A種・B種  
見え掛り面以外 ※小節以上 図示 ※A種・B種  
不透明塗料の塗装面・小節 図示 ※A種・B種  
・広葉樹製材「JAS 1083-6」に基づく広葉樹製材  
施工箇所 等級 寸法 (mm) 含水率 保存処理 備考  
※1等 ・ 図示 ※10%以下  
○JAS 1083以外の製材  
施工箇所 材面の品質 寸法 (mm) 含水率 防虫処理 備考  
木製パーカー 造作用材の場合 図示 ※A種 ・適用する 検  
羽目板 ※A種・B種 ○適用しない

③ 樹種  
樹種は、特記なき限り標仕12.4.1、12.5.1、12.6.1、12.7.1による  
○代用樹種の適用  
⊗ 下地材 米つが、北洋えぞ松、ひのき、米松、米び、米ひ  
○造作用材 米つが、スプルース、米び、米松、米ひ、台ひ  
○造作用集成材 (「集成材の日本農林規格」による) (12.2.1(3))  
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面 寸法 (mm) 見付け材面の品質  
下見入、杉、杉、杉 ※仕上材 (塗料) 検 ※図示 ※図示 ※1等・2等  
枕木・広葉樹製材 ※仕上材 検 ※図示 ※図示 ※1等・2等  
線、カネツカシ ※仕上材 (塗料) タラシ ※図示 ※図示 ※1等・2等  
モ、見切、各種見切 ※仕上材 検 ※図示 ※図示 ※1等・2等  
ベツ、手摺、笠木 ※仕上材 (塗料) なら ※図示 ※図示 ※1等・2等  
木末 ※仕上材 (塗料) なら ※図示 ※図示 ※1等・2等  
・化粧ばり造作用集成材 (「集成材の日本農林規格」による)  
施工箇所 樹種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 見付け材面の品質  
化粧薄板 ※図示 ※図示 ※1等  
芯材 ※図示 ※図示 ※1等・2等  
・上記以外の造作用集成材 (「集成材の日本農林規格」以外)  
施工箇所 樹種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率  
化粧薄板 ※図示 ※図示 ※15%以下  
芯材 ※図示 ※図示 ※15%以下  
・造作用集積層材 (「集積層材の日本農林規格」による) (12.2.1(4))  
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 防虫処理の適用  
※仕上材 ※図示 ・有 (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・有  
・未仕上材 ・無 (等級: ・1等・2等・3等) ・無  
・上記以外の造作用集積層材 (「集積層材の日本農林規格」以外)  
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 (表面の化粧加工) 含水率 防虫処理の適用  
化粧薄板 ※図示 ・有 (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工) ※14%以下 ・有  
芯材 ※図示 ・有 (等級: ・1等・2等・3等) ・無  
図示 (直交集成材の特記仕様) による (12.2.1(5))

6 直交集成材 (DLT) 作成日 2025.03

⑦ 合板等  
○下地用普通合板 (「合板の日本農林規格」による) (12.2.1(6))  
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理の適用  
掲示壁 ※5.5 ラワン ※1類・2類 広葉樹 ※2等以上 ・1等 ・有 ○無  
○下地用構造用合板 (「合板の日本農林規格」による)  
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 等級 板面の品質 保存処理の適用 防虫処理の適用 湿度調整の適用  
二重床 (79ナ) ※12 ○15 ※1級 ※0-0以上 ※有 ○有 ○有  
※2級以上 ※有 ・無 ※有  
接着の程度 常温湿潤気候となる場所での使用 ※特種 ・その他の場合 ※1類以上  
・化粧ばり構造用合板 (「合板の日本農林規格」による)  
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 化粧加工の方法 接着の程度 防虫処理の適用 備考  
・ ・ ・ ・ ・1類 ・有  
・ ・ ・ ・ ・特種 ・無  
・天然木化粧合板 (「合板の日本農林規格」による)  
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 化粧加工に使用する方法 接着の程度 防虫処理の適用 備考  
・ ・ ・ ・ ・1類 ・有  
・ ・ ・ ・ ・2類 ・無  
・特殊加工化粧合板 (「合板の日本農林規格」による)  
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 化粧加工の方法 接着の程度 防虫処理の適用  
・ ・ ・ ・ ・オーバーレイ ・1類 ・有  
・ ・ ・ ・ ・プリント ・2類 ・無  
・塗装  
○パーティクルボード (「JIS A 5908」)  
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 (mm) による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 経燃性による区分  
一般家具 ※15 ※素地 (磨き面) ※13タイプ ※または、  
・ ・ ・ ・ ・  
・構造用パネル (「JAS 0360」構造用パネル) による)  
施工箇所 厚さ (mm) 品名 寸法 (mm)  
・ ・ ・ ・ ・図示  
・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)「JIS A 5905 (繊維板)」  
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態 (mm) による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 経燃性による区分  
・DV・DO・D0 ※25 ・ ・P・M ・2級・3級  
⑧ 接合具等 (12.2.2) (表12.2.3~5)  
造作用材の化粧面の釘打ち  
○適用する (※指し釘打ち) ・適用しない  
種金物の形状、寸法及び材質  
※標仕 12.2.2(7) による  
・防腐・防蟻処理を省略できる仕様による製材 (12.3.1~2)  
適用部位: ( )  
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理  
適用部位: ( )  
保存処理性能区分  
・K2 ・K3 ・K4  
・K2 ・K3 ・K4  
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理  
適用部位: ( )  
処理の方法 薬剤の種類  
※薬剤の製造所の仕様 ※JIS K 1571に適合又は同等の性能  
※薬剤の製造所の仕様  
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理  
適用部位: ( )  
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理  
適用部位: ( )  
・防虫処理  
適用部位: ( )  
ラワン材を使用する場合は、JAS08-6に基づく保存処理の性能区分K-1の防虫処理を行う  
・間仕切軸組の木材 ※杉又は松 (12.4.1~2)  
・床組 (一般部) ※杉又は松  
・床組 (土間スラブ類の場合の土台等) ※ひのき又は保存処理木材  
○縁甲板及び上げがまち ※ひのき

⑩ 鉄筋カッター・端組及び床組

工事名称		令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事		図面番号	A006
図面名称		<前半工事> 特記仕様書 その3		A1: - A3: -	
作成日		2025.03			

13 屋根及び と い 工 事	① 長尺金属板葺	(13.2.2~3)(表13.2.1~2)	屋根葺形式 長尺金属板の種類 板厚(mm)	① 立て平葺 ・瓦葺(心木なし) ・横葺 ・	※塗装耐腐55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322) ・塗装ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 3320)	① 0.4 ・	② ステンレスの表面 仕上げ	種 別 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	種 別 色合い等 施工箇所(成形板、笠木 建具、C以外)	JISの種類 JIS H 8602 A2(過酷な環境) JIS H 8602 B(外部一般)	③ アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	種 別 色合い等 施工箇所(成形板、笠木 建具、C以外)	JISの種類 JIS H 8602 A2(過酷な環境) JIS H 8602 B(外部一般)	④ 鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法 種 別 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	種 別 色合い等 施工箇所(成形板、笠木 建具、C以外)	JISの種類 JIS H 8602 A2(過酷な環境) JIS H 8602 B(外部一般)	⑤ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー材 (14.5.2~4)(表14.5.1)	※JIS A617 (建築用鋼製下地材(壁・天井)) ・ステンレス製 (SUS304) (適用箇所: ) ・溶融亜鉛-7%Zn-0.7% Ni合金めっき(適用箇所: ) スタッド、ランナーなどの種類 ※標準表14.5.1による。 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準表14.5.4(5)による ※図示	⑥ 金属成形板張り	形 状 製 法 材 種 寸法 厚さ 表面処理	・スパンドレル形 ・押し出し ※アルミニウム製 ・ロール ・BB-1種 ・BB-2種( ) ・BB-1種 ・BB-2種( ) ・C種( ) ・C種( ) 樹脂系塗料	⑦ アルミニウム製 笠木	種 類 呼称肉厚(mm) 表面処理 固定方法・間隔 備 考	・250形 1.6以上 ・BB-1種 笠木本体製作時の ・300形 1.8以上 ・BB-2種 仕様による ・350形 2.0以上 ・	⑧ セルフレベリング 材塗り	材料 ※標準表15.5.1により、施工箇所に適したものとする ・セメント系 高強度品 (≧40N/mm <sup>2</sup> 程度) ・適用箇所(共用廊下、エントランス、フリススペース他) 標準塗厚 ※10mm程度 製造所: MUマテックス「S L フローG」 又は同等品	⑨ 床コンクリートの 直均し仕上げ	施工箇所 平たんさ(mm) 備 考	・コンクリートが見え掛りとなる場合 又は仕上げ層が極めて薄い場合その 他良好な表面状態が必要な場合 ※行う ・行わない	⑩ アルミ庇	仕様 アルミ製 化粧無し D.L=図示 製造所 アルフィン「AD1N」 又は同等品	⑪ アルミルーバー	仕様 アルミ製 90×90×60H 製造所 A B C商会「マグナセル MCL-N312」 又は同等品	⑫ 屋上目隠しルーバー	仕様 アルミ型材 風通し対策ルーバー 製造所 三協立山「タワークスリーン TSA-1」 又は同等品	⑬ アルミルーバー	仕様 詳細図による 製造所 A B C商会「プリンカースLD BLLD-5015J」 又は同等品	⑭ アルミ手摺	仕様 詳細図による	⑮ 1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑯ 左 官 工 事	1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑰ 建具工事	建具特記仕様書による。	⑱ モルタル塗り	モルタル塗り材料 ※現場混合材料 ・既調合材料 防水モルタル 防水材 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による	17	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その4 幅尺 A1: - A3: -	図面番号 A007
	② 折板葺	(13.3.2~3)(表13.2.1)	形式 ※重ね形 ・はげ輪め形 ・かん合形 形状(mm) 山高(106mm)山ピッチ(450mm)板厚 ※0.6①0.8 材料 ※塗装耐腐55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3322) ・ ・	③ とい	④ ルーフドレン	(13.5.1~3)(表13.5.1~4)	材種 たてどい及び横走り管の材質 ・配管用鋼管(白管)①硬質ポリ塩化ビニル管(WP) ②ステンレス管 ・耐火二層管 ・アルミニウム合金押出型材 ・表面処理鋼板( ) と多い場合及び足金物 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの 多量地域の場合の軒縁の取付間隔 ・0.5m以下 ・図示 鋼管製との防露巻 ※標準表13.5.4による。 掃除口 ※有り ・無し 軒どい ・硬質塩化ビニル ・表面処理鋼板 ①カラーガルバリウム鋼板 製造所: 元旦ビユーティー工業「元旦内蔵軒どい(化粧が共)」 又は同等品	⑤ 軽量鉄骨天井下地	野縁などの種類 (14.4.2~4)(表14.4.1~2)	野縁受け、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ・図示 野縁の間隔 ・図示	⑥ 天井下地材	※JIS A 6517 (建築用鋼製下地材(壁・天井)) ・ステンレス製 (SUS304) (適用箇所: ) ・溶融亜鉛-7%Zn-0.7% Ni合金めっき(適用箇所: ) 天井下地材防露防止処置(特定天井以外の一般部) ①ビス止めハンガー、ビス止めクリップ(適用箇所: 勾配天井) 天井のふところが3mを超える場合の補強 ・図示 (適用箇所: )	⑦ 天井下地材	天井下地材の耐震性を考慮した補強 ①一区画の面積が大きいかまたは不整形な天井 ②水車でない天井 ・質量が20kg/m <sup>2</sup> を超える天井(天井下地材を含む) (適用箇所: 多目的ホール、メディアセンター (仕様 ※図示 ) 耐震性能 設計用地震力 Kh=1.0 Ky=0.5D 天井及び取付機器類に落下、脱落を生じさせないこと。	⑧ 野天	野天の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強 ①行う (適用箇所: 屋外軒天 ) (仕様 ※図示 ②メーカー仕様 )	⑨ 耐風圧性能	耐風圧性能(屋外の軒天井、ピロティ天井等) 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・ )倍の風圧力に対応した工法 但し、最小風圧力は ±2000Paとする。	⑩ 特定天井	(国土交通省告示第771号に基づく) ・行う (適用箇所: ) (仕様 ※図示 )	⑪ 1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑫ 左 官 工 事	1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑬ 建具工事	建具特記仕様書による。	⑭ モルタル塗り	モルタル塗り材料 ※現場混合材料 ・既調合材料 防水モルタル 防水材 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による	17	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その4 幅尺 A1: - A3: -	図面番号 A007																					
	③ 一般事項	① 一般事項	(14.1.3)	① ステンレス鋼板は、図中特記以外はSUS304とする。 ② 金属板の曲げ加工端部処理 ※原則として四周とも折り曲げ(小径差付)とする。 ・ ・ ・外鉄金属板の裏面結露防止措置 ※行う (仕様: ) ③ 金属板の継目処理 屋内 ※目地棒(材質ステンレス ) ・空目地 ・シーリング 屋外 ・シーリング ・ ・見本の製作 ※行う(適用箇所: ) あと施工アンカーの引抜き耐力確認試験 ※行う(適用箇所: )	④ 1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑤ 左 官 工 事	1 下地	・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法(外壁通気構造下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地板、下地合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有(図示による) ・無 ・せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ・図示による	⑥ 建具工事	建具特記仕様書による。	⑦ モルタル塗り	モルタル塗り材料 ※現場混合材料 ・既調合材料 防水モルタル 防水材 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による	17	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その4 幅尺 A1: - A3: -	図面番号 A007																																					

①材料 防火材料 (18.1.3) ※屋内の柱、壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: ) (18.2.2~7)(表18.2.1~7) ②塗地ごしらえ ③錆止め塗料塗り (18.3.2~3)(表18.3.1~4) ④塗装 (18.13.2~4)(表18.4.1~18.13.1) ⑤防錆用塗料塗り ⑥その他塗料塗り

⑦木材保護塗料 (屋内) (19.2.2) ①ビニル床シート張り (19.2.2) 2 ビニル床タイル張り (19.2.2) 3 ゴム床タイル張り (19.2.2) 4 特殊機能床材 (19.2.2) ⑤ビニル床材 (19.2.2) ⑥カーペット敷き (19.3.2~3)(表19.3.1~2)

①タイルカーペット (19.3.2~3)(表19.3.2) ②フローリング張り (19.5.1~2)(表19.5.1~6) ③フローリング ④天然木化粧合板 フローリング (19.5.2~7)(表19.5.1~6) ⑤天然木化粧合板 フローリング (19.5.1~6) ⑥敷き (19.6.1~3)(表19.6.1)

⑦せっこうボード (19.7.2~3)(表19.7.1) その他のボード張り

作成日 2025.03 工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面番号 A008 図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その5 幅尺 A1:- A3:-

天井のボードの重ねねの貼り付け方法 (ロックウール吸音板を除く)

天井にロックウール吸音板直貼り工法を行う場合、設備器具等の開口箇所には製造所の仕様により、必要箇所にて裏面の補強を行う

せつこうボードの目地工法

◎目地処理工法 (・テーパーエッジ ◎ペベルエッジ)

◎縫目工法 (◎ペベルエッジ ◎スクエアエッジ)

・目隠し工法 (・ペベルエッジ ・スクエアエッジ)

吹付硬質ウレタンフォーム下地に直張り用接着材を施工する場合は、施工に先立ち、吹付硬質ウレタンフォーム下地とプライマーの接着力を確認すること。

各板の張り付け ・A種 ※種

※塗装下地の場合は寒凍剥がし除去を除去し、目地裏しにて割れ防止を行う

◎化粧FKのジョイント・見切り金物はA種既製品、指定色 (基材色合せ) とする。

製造所: 化粧FK 7(A工業 「ルナライト」受注生産品) 又は同等品

耐火遮音壁 吉野石膏 「M'n-ウ42-W1」 又は同等品

耐火壁A 吉野石膏 「M'n-ウ42」 又は同等品

耐火壁B 吉野石膏 「S'ウ42(標準仕様)」 又は同等品

※特許外、シャワー区画・DS全て

化粧せつこうボード(背孔) 吉野石膏「タイガースクエアトーンプラス」又は同等品 (表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚さ(mm)	仕 様
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25	厚手ガラスクロス貼
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25	厚手ガラスクロス縁結線張り

⑫壁紙張り (19.8.2~3)

名 称	壁紙の種類					防火性能	備 考
	紙	繊維系	プラスチック	無機質	強化ビニル		
壁紙	・	・	・	◎	・	◎燃・非燃・難燃・難燃・耐火性	・

素地ごしらえ (表18.2.4・5・7)

モルタル、プラスチック面 ※B種 ・A種 (施工箇所: )

コンクリート、ALCパネル面 ※B種 ・A種 (施工箇所: )

せつこうボード面、けい酸カルシウム板面 ※B種 ・A種 (施工箇所: )

製造所: サンゲツ「FAITH」

⑬断熱材 (19.9.2~3)

種 類	厚さ(mm)	施工箇所
◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキ層なし)	※3種 bA ◎35 ◎60 ・75	◎土に接する部分 (コンクリート床下) ◎行入、屋上部
・	※2種 bA ・25 ・30 ・40 ・50	・外壁の内断熱 ・屋根の内断熱
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・1号	・
◎硬質ウレタンフォーム断熱材	※2種2号A ◎20 ・25 ・30 ◎40 ・50	◎天井・屋根
・フェノールフォーム断熱材	※1種2号A ・	・

◎断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種1 ・A種1 H

吹付け厚さ(mm) ◎25一版部 35 軒天部

施工箇所 ※図示による

上記のほか、断熱材打込み部の取合補修箇所

製品の品質

※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

14浴室天井材

⑮その他の材料

◎人造木材 材質: 無機質系人造木材

製造所: 太平洋マテリアル「エースライト」 又は同等品

◎ガラス用フィルム (建具特記による)

⑯乾式二重床下地材 スポーツ仕様 H300

製造所: 染野製作所「ジム・エース 900-1型」 又は同等品

鋼製支持脚・大引・根太 トナカ仕様 (給排水用合板厚15) ストーン(FL-1000)

製造所: 染野製作所「ジム・エース ステージ型」 又は同等品

⑰化粧吸音壁

タモ材(難燃)音響調整パネル 厚12 (9'3x9'4厚15) C.L.塗装品

製造所: 関西アール「アコンウォール」 又は同等品

⑱化粧リブ壁

木製型材 三角リブ リブH1 ◎20

製造所: サカイ「サイカリブ 4.4」 又は同等品

⑲メラミンパネル

メラミン鏡面パネル

製造所: アイカ工業「セラー」 又は同等品

⑳ストランドボード

樹種: 桧 16・14有孔タイプ Q.L.塗装品

製造所: エスウッド「絶ストランドボード 標準タイプ・有効タイプ」 又は同等品

⑳1フリーアクセス (20.2.2)

施工箇所		内部仕上表による		
工 法	・ 凹嵌式	◎支柱調整式		
所定荷重	※3,000N ・5,000N	※3,000N ・5,000N		
耐震性能	・1.0G ・0.6G	◎1.0G ・0.6G		
パネル寸法(mm)	・500X500	◎600X500		
高さ(mm)	・	◎図示		
表面仕上材	※タイルカーペット	※タイルカーペット		
	・帯電防止床タイル	・帯電防止床タイル		
帯電防止性能	※R ≧ 1.2	・		
漏えい抵抗	※R ≧ 1×10 Ω 6	・		
耐衝撃性能、耐摩耗性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法及び性能	※ 標準仕様書20.2.2(2)(4)による			
寸法精度	※ 標準仕様書20.2.2(2)(4)による			
表面仕上材の品質、性能	※特記仕様書19章による。			
スロープ及びボーダー	※製造所の標準仕様 ・図示			
配線取り出し機能	パネルは配線取り出し機能を有し、配線開口の開設ができるもの			
空調用吹き出しパネル	◎なし ※有り (型式、施工箇所: 図示)			
製品の品質	※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による			
製造所:	センクシア「WSB500NC」 又は同等品 (20.2.3)			
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上	遮音性能 (db/500Hz)	防火性能
◎スタッド式(内蔵式)	※鋼製	※鋼製	※ラミネート樹脂積層付	・0
・スタッド式(露出式)	・	又はアクリル樹脂積層付	・12	・不燃
・スタッド式パネル式	・	・壁紙張り	・20	・
・パネル式	・	◎強化ガラス	・28 ・36	・
遮音性能 (db/500Hz)	操作方式	圧接装置の操作方法	パネル表面材	
			材質	仕上げ
・一般タイプ	・手動式	・プッシュ式	※鋼板	・焼付塗装
・26db未満	・電動式	・ハンドル式	・	・壁紙張り
・遮音タイプ (※36db以上) (・ db以上)	・部分電動式	・	・	・

⑳4トイレブース 隔て板

表面仕上材 ※メラミン樹脂系化粧板 (シート工法: 9'3x9'4加工) (20.2.5)

・ポリエステル樹脂系化粧板

※幅木型(ステンレス製) ・見金物型(ステンレス製)

パネルの材質 ※トイレブースの製作所の仕様による

製品の品質

※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

製造所: 小松ウォール「アコンウォール」 又は同等品

※非常設開閉付

材 種 ステンレスSUS304 (20.2.7)

形 状 ビニルタイ入り 両端フラットエンド

※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し

幅(mm) 約35

取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

製造所: ナカ工業「S-37D」 又は同等品

⑳5階段止め (ノリカゲ金物)

⑳6手すり及びタラップ

材料及び表面処理 (20.2.6)(表14.2.2)

種 類	材料の種類	表面処理 (塗装仕上は図示による)
手すり	※ステンレスSUS304	※H.L.程度 ・鏡面程度
タラップ	※ステンレスSUS304	・研磨無し ◎HL程度
	・鉄	・溶融亜鉛のめっき 内外部 ※C種

ハンドレール

種 類	取付箇所	仕上・形状・型式等
◎集成材	◎壁内階段	◎タモ Q.L.38φ
◎ビニル製	◎壁外階段	◎ビニル製既製品 38φ

補助手すり

種 類	取付箇所	仕上・形状・型式等
・歩行補助手すり	・	・
・動作補助手すり	・	・

⑳7黒板及びホワイトボード

◎黒板

区分 ※焼付 ・種類 ・鋼製 ◎ほうろう

その他は図示による

◎ホワイトボード ◎図示

製造所: 黒板・白板 青井黒板 又は同等以上

昇降式黒板 青井黒板「UDスライダ」 又は同等品

⑳8鏡

取付箇所 (◎図示) (20.2.10)

寸法(mm) ◎図示

厚さ(mm) ◎6mm ◎6 (四角SUSFB4.5×32 HL) [化粧鏡A,B,E~1]

製造所: 化粧鏡D TOTO「YMK3040A」 又は同等品

化粧鏡C TOTO「YMK3045A」 又は同等品

姿見鏡 TOTO「YMK50K」 又は同等品

引き分け姿見鏡 体器器具詳細による

⑳9表示標識 (サイン)

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。(20.2.11)

製造所: 阪神コンテンツリンク

衝突防止表示

※図示 (既成品 ※ステンレス製 径 30mm (・) (・ 両面 ◎片面)

・無し

表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による。

⑳10煙突用成形ライニング (20.2.13)

・煙突用成形ライニング材

適用安全使用温度

キャスタブル耐火材は、煙突用ライニング材の製造所の指定する製品とする

工 法:

製品の品質

11ブラインド

※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

取付箇所 ※図示

縦型ブラインドのクロススラットは防炎性能を有するものであること

製造所:

材 質	操作方式	品 質	幅、高さ	取付箇所
・ポリエステル	◎電動式	・	※図示	※図示
◎ガラス繊維	・スプリング式	・	・	・
	・チェーン式	・	・	・

⑳12ロールスクリーン (20.2.15)

防炎性能の有無 ◎あり

巻取りタイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料

※製造所の仕様による

製造所: [小アリーナ] 立川ブラインド工業「RSE60タコスII 生地グラント」 又は同等品

[多目的ホール] 立川ブラインド工業「RSE100タコスII 生地ミント」 又は同等品 (20.2.16)(表20.2.1)

形 式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質	備 考
・シングル	・片引	・手引	・つまみひだ	
・ダブル	・引分	・ひも引	・(三つ山ひだ、二つ山ひだ)	
	・電動	・箱ひだ、片ひだ	・ブレーションひだ	

取付箇所 ※図示

暗幕用カーテンの両端・上部及び召合せの重なり ※300mm以上

防炎性能の有無 ※あり

製造所:

⑳13カーテン

材料等 (20.2.18)

材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材

・ステンレス製

強度による区分 ※10-90

仕上げ ※アルマイト

形状 ※角形

カーテンボックス内、カーテンレール設置とする

外壁側ダブル、廊下側シングルとする

製造所: 立川ブラインド工業「F20」 又は同等品

⑳15ブラインドボックス及びカーテンボックス

材質 ・鋼製 (仕上: 図示 (・))

及び ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)

◎標準色 ・特注色

◎木製

溝幅、深さ ※図示

製造所:

形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式

寸法及び施工箇所 ・図示による

製造所:

材 種	寸法(mm)	形 式	外 特	内 特
・アルミニウム製	◎450X450	◎一般形	◎壁内用	◎縦線タイプ
・	・600X600	◎壁内用	◎目地タイプ	◎目地タイプ
		・気密形	・	・

取付箇所 ※図示

製品の品質

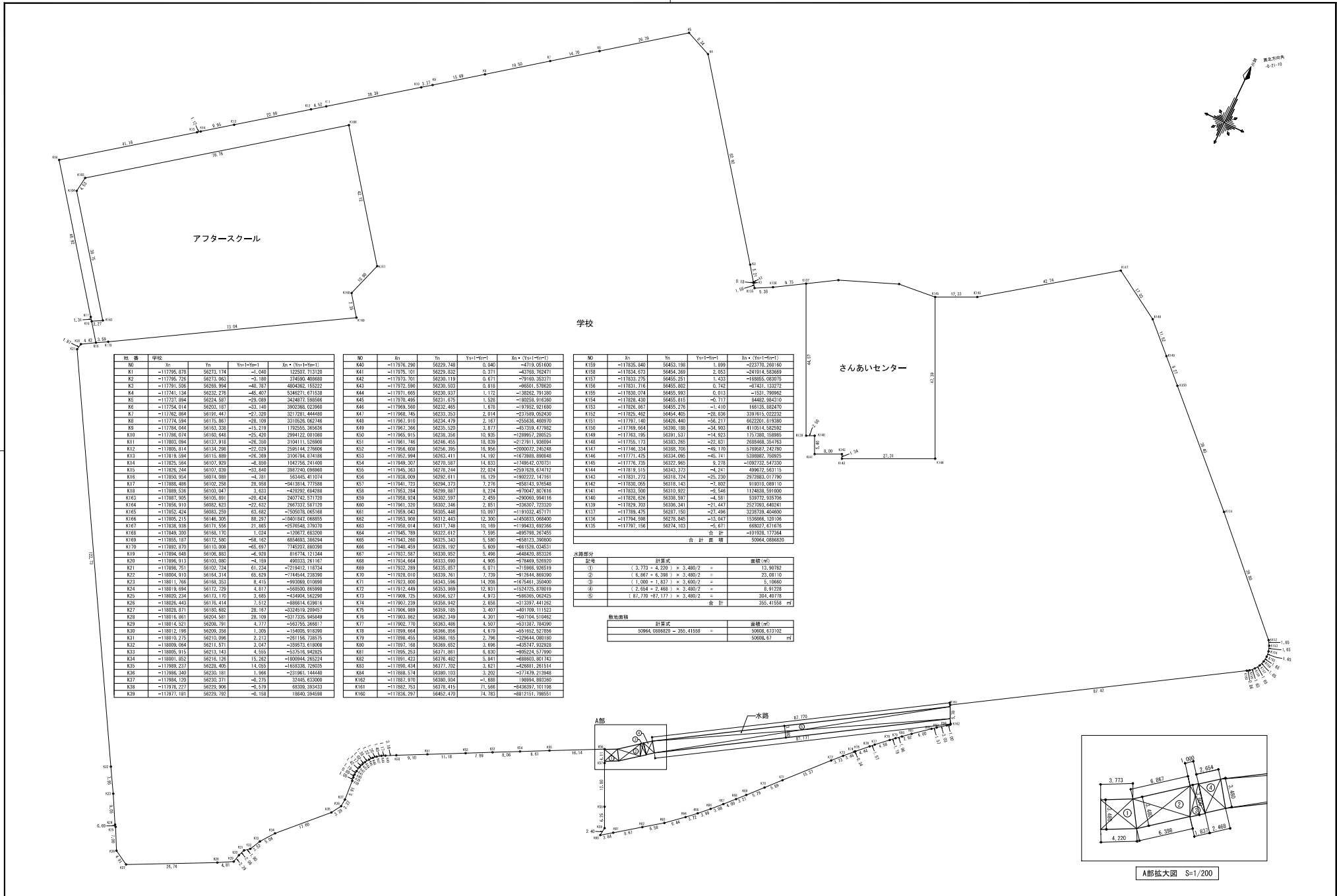
※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号
		図面名称	<前半工事> 特記仕様書 その6 扉A1: - A3: -	A009

⑬ 床点検口	<p>材種 寸法(mm) 形式 その他</p> <p>・アルミニウム製 ・450X450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き          ・ステンレス製 ⑥600X600 ⑦気密形 ⑧屋内用 ⑨床材同材          ・鋼製</p> <p>取付箇所 ※図示          製品の品質          ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける          (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)          製造所: カネソウ FMSGM (校舎棟) ・FMSGD-M-D (プール棟) 又は同等品</p>	<p>屋外 ※レジンコンクリート製 ①コンクリートブロック製</p> <p>・セラミックタイル(※300 × )          ・点字紙(ノンスリップ型) 材質:          製造所: 日本興業「視覚障害者誘導用ブロック」 又は同等品</p>	<p>④1コーナールー見切 [コナ見切C]</p> <p>材種 硬質塩化ビニル製既製品 65×65          設置 図示          製造所: カネソウ 「NPC-6565V」 又は同等品</p> <p>④2バンパーガード</p> <p>材種 合成ゴム製既製品 100×100          設置 図示          製造所: ナカ工業 「NC0-1010」 又は同等品</p> <p>④3消火器ボックス</p> <p>材種 スチール製既製品 指定色焼付          製造所: 理込パナ ユニオン 「UFB-F-2720」 又は同等品          置き型タイプ ユニオン 「UBF-W-2752」 又は同等品</p> <p>④4エレベーター</p> <p>用途 乗用: 11人乗り×1台、人荷用: 24人乗り×1台          速度 定格速度 60m/min          その他仕様 図示(昇降機設備詳細図による)          製造所: 三菱電機ビルソリューションズ 又は同等品</p> <p>④5掲示板</p> <p>700×500×25mm 上下地上掲示用加α その他詳細図による          製造所: 掲示板用加α サンゲツ「サフタム・ベックII」 又は同等品</p> <p>④6白板対応シート</p> <p>PL0.5下地の白板対応シート その他詳細図による          製造所: スリーエムジャパン「E117/1777/1777/1777-WH-111」 又は同等品</p> <p>④7マーカー受け</p> <p>7A3既製品 W600 マーカー受け 閉閉式          設置場所 多目的ホール白板壁に2ヶ所          製造所: 日学「メタルライン閉閉式ペントレイMLP-60」 又は同等品</p> <p>④8洗濯機パン</p> <p>材種 ※樹脂製既製品 800サイズ          製造所: TOTO「PWP800ZW」 又は同等品          洗濯機パンと壁・床取合いには、シーリングを施すこと</p> <p>④9ユニットシャワー</p> <p>材種 ※既製品 800×800          その他 UR枠: アルミ製 A-8E 20×110四方          製造所: LIXIL「シャワーユニットSP 0808LE」 又は同等品</p> <p>④10定礎</p> <p>定礎石 (600×400×50) 黒御影石(ベークマスト) 本番き(文字面込共一式)          定礎箱 (SUS製3程度、銅製銘板・埋箱等一式)</p> <p>④11ピクチャーレール</p> <p>仕様 アルミ製押出型材 中容量(安全荷重30kg)          フック・ハンガー (※1000) 共          製造所: タキヤ「コレダライン00-2E」 又は同等品</p> <p>④12アコーデオン扉</p> <p>仕様 折れ戸 埋込レール          製造所: 立川プライド工業「プレイス」 又は同等品</p> <p>④13舞台機構設備</p> <p>仕様 ※詳細図参照          製造所: セノー 又は同等品</p> <p>④14舞台下収納台車</p> <p>仕様 ※詳細図参照          製造所: セノー 又は同等品</p> <p>④15体育機器</p> <p>仕様 ※詳細図参照</p> <p>④16プール</p> <p>材質 スチール製 7700×3000塗装仕上げ 耐腐食仕様 ※詳細図参照          製造所: アクアプロダクト 又は同等品</p> <p>④17プール排水溝蓋</p> <p>材質 樹脂(硬質塩化ビニール) 溝蓋径φ=200          製造所: シマパン 「GP-25W200」 又は同等品</p> <p>④18プール</p> <p>材質 アルミ製 H1400          製造所: LIXIL 「フェンスAB YL1型」下接すまカバー付き」又は同等品</p> <p>④19特殊樹脂化粧型枠</p> <p>樹脂製 W1100×H900 0.99㎡/枚 模様厚 30-10mm 777タイプ100          該当箇所: プール棟外壁          モックアップを製作し、監督職員と協議の上、決定すること          参考: 住理工商事「E-4」※TS14 777」 又は同等品</p>	<p>⑭ 排水工事</p> <p>排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管 (※1種・2種)</td> <td>目形管(ゴム接着) (77型)</td> </tr> <tr> <td>①硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>③VP ・RS-W</td> <td>※接着受口片受直管</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>※IV ・VU継手</td> <td>・ゴム輪形受口片受直管 I 類A</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑮ 鉄筋舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋製</td> <td>・水射形</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた</td> <td>・簡易密閉形(パッキン式)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・密閉形(チアハ・パッキン式)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・中ふた付密閉形</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>化粧</td> <td>目地 ※ステンレス製</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた(仕上げは黒色)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>仕上げは黒色</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>仕上げは黒色</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>製造所: 化粧蓋 カネソウ「S1W」インフラックアロケ完成仕様 又は同等品</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑯ グレーティングふた (21.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>上面形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①溝ふた(図示)</td> <td>・鋼製</td> <td>※受付付</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目</td> <td>・凸凹凸形</td> </tr> <tr> <td>②溝ふた(図示)</td> <td>③ステンレス製</td> <td>ボルト固定</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>④凹手溝(図示)</td> <td>・</td> <td>・受付付</td> <td>※図示</td> <td>※普通目</td> <td>・平形</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・T-</td> <td>①細目</td> <td>②凹凸凸形</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・T-</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・鋼製</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>製造所: カネソウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DJS 日本興業「鉄物グレーティング F20L-13ZGLS-F」 又は同等品</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>DJO 日本興業「非導電用カラーグレーティング 型1-25細目4点目固定」又は同等品</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑰ 街きよ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①緑石</td> <td>②図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>③U形側溝</td> <td>④図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>⑤U形側溝ふた</td> <td>⑥図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>砂利地業の材料</td> <td>・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂利地業に用いる材料</td> <td>・再生クラッシュラン</td> <td>・切込砂利</td> </tr> <tr> <td>砂利地業の厚さ(mm)</td> <td>※100</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>製造所:</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑱ 凍上抑制層の材料</td> <td>※再生クラッシュラン</td> <td>・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂</td> </tr> <tr> <td>厚さは図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂を用いる場合の粒度試験</td> <td>・行方</td> <td>※行わない</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑲ 現場打ちの場合のコンクリート材料</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>・</td> <td></td> <td>(21.2.1)</td> </tr> <tr> <td>設計基準強度</td> <td>※18N/mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スランプ</td> <td>※15cm又は18cm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋の種類</td> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑳ 埋戻し土 (21.2.3)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・A種 ※B種</td> <td>・</td> <td></td> <td>(21.2.3)</td> </tr> <tr> <td>(標準表3.2.1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>㉑ 舗床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種(標準表3.2.1)</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 ・砂</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>②フィルター層</td> <td>・</td> <td>※図示</td> </tr> </tbody> </table>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種・2種)	目形管(ゴム接着) (77型)	①硬質ポリ塩化ビニル管	③VP ・RS-W	※接着受口片受直管	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	※IV ・VU継手	・ゴム輪形受口片受直管 I 類A	名称	種類	適用荷重	適用箇所	鉄筋製	・水射形	※図示	※図示	マンホールふた	・簡易密閉形(パッキン式)	・	・		・密閉形(チアハ・パッキン式)	・	・		・中ふた付密閉形	・	・		・	・	・		・	・	・	化粧	目地 ※ステンレス製	※図示	※図示	マンホールふた(仕上げは黒色)	・	・	・	仕上げは黒色	・	・	・	仕上げは黒色	・	・	・	製造所: 化粧蓋 カネソウ「S1W」インフラックアロケ完成仕様 又は同等品				名称	材質	形式	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状	①溝ふた(図示)	・鋼製	※受付付	・歩行用	・細目	・凸凹凸形	②溝ふた(図示)	③ステンレス製	ボルト固定	・	・	・	④凹手溝(図示)	・	・受付付	※図示	※普通目	・平形	・	・	・	・T-	①細目	②凹凸凸形	・	・	・	・T-	・	・	・	・鋼製	・	・	・	・	・	・ステンレス製	・	・	・	・	製造所: カネソウ						DJS 日本興業「鉄物グレーティング F20L-13ZGLS-F」 又は同等品						DJO 日本興業「非導電用カラーグレーティング 型1-25細目4点目固定」又は同等品						種類	形状、寸法	備考	①緑石	②図示	・	・L形側溝	・図示	・	③U形側溝	④図示	・	⑤U形側溝ふた	⑥図示	・	砂利地業の材料	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂		砂利地業に用いる材料	・再生クラッシュラン	・切込砂利	砂利地業の厚さ(mm)	※100	・図示	製造所:			⑱ 凍上抑制層の材料	※再生クラッシュラン	・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂	厚さは図示			砂を用いる場合の粒度試験	・行方	※行わない	※普通コンクリート	・		(21.2.1)	設計基準強度	※18N/mm			スランプ	※15cm又は18cm			鉄筋の種類	※SD295			・A種 ※B種	・		(21.2.3)	(標準表3.2.1)				種別	材料	厚さ(mm)	①盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種(標準表3.2.1)	※図示	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 ・砂	※図示	②フィルター層	・	※図示	<p>27 旗竿</p> <p>材質 ※アルミニウム合金製          形式 ※テーパー型 ・同一断面型          地上高さ(m) ※図示 ・6 ・8 ・10 ・12          操作方法 ※ハンド式 ・ロープ式          固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式          製造所: 又は同等品</p> <p>28 フェンス</p> <p>種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・鋼管フェンス          ・樹脂塗装メッシュフェンス ・アルミフェンス          高さ ・図示          製造所: 又は同等品</p> <p>29 屋外掲示板</p> <p>形状・寸法 ※図示          製造所: 又は同等品</p> <p>⑳ 収納家具</p> <p>材質・形状・寸法 ※図示 ①折込化粧板、一部積層化粧板集成材          製造所: 西尾家具 又は同等品</p> <p>㉑ 学校間仕切</p> <p>材質 鋼製タイプ          形状・寸法 ※詳細図参照          製造所: 山金工業 又は同等品</p> <p>31 エキスパンション・ジョイント金物</p> <p>材質 ・アルミ製(仕上げ: ) ・ステンレス製(仕上げ: )          クリアランス ※図示 ・50 ・100 ・150          耐火性能 ・あり( 時間) ・無し          外部は防水型とする          製造所: 又は同等品</p> <p>32 免震建物のエキスパンション・ジョイント金物</p> <p>材質 ・アルミ製(仕上げ: ) ・ステンレス製(仕上げ: )          形状・寸法、固定方法 ※図示          ・(一社)日本免震構造協会「免震エキスパンションジョイントガイドライン」を適用する          性能指標          ・A 種 (適用箇所: )          ・B 種 (適用箇所: )          ・C 種 (適用箇所: )          床部の耐荷重          ・歩行用 ・T-2 ・T-6          製造所: 又は同等品</p> <p>④3 耐震スリット</p> <p>構造特記仕様書による</p> <p>34 システム天井</p> <p>材質・形状 ・図示による          設計用荷重 水平方向 (KH) ※1.0 ・( )          鉛直方向 (KV) ※0.5 ・( )          製造所: 又は同等品</p> <p>④4 屋上丸環</p> <p>材質 ※ステンレス製 (SUS304) ・</p> <p>④5 補助手摺</p> <p>材種 ①軟質樹脂被膜3φ          [L型手摺]          製造所: TOTO「T1120L9」 又は同等品          [H型手摺]          TOTO「T1120J2」 又は同等品          [洗面台付手摺]          TOTO「T1120P5」 又は同等品</p> <p>④6 踏上手摺 [可動手摺]</p> <p>材種 ①軟質樹脂被膜3φ          製造所: TOTO「T112HK7R」 又は同等品</p> <p>④7 タオルハンガー [タオル掛]</p> <p>材種 ②SUS製2段          製造所: TOTO「TS13R」 又は同等品</p> <p>④8 フック</p> <p>材種 ※SUS製既製品          [H型掛] [モップ掛]          製造所: TOTO「YKM20R」 又は同等品</p> <p>④9 ライニング</p> <p>※シボ・ストーム加工 化粧材は板と同色とすること          製造所: アイカ工業 又は同等品</p>	<p>作成日 2025.03</p> <p>工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事          図面名称 &lt;前半工事&gt; 特記仕様書 その7          幅尺 A1: -          A3: -</p> <p>図面番号 A010</p>
	材種				管の種類	管形状(接合方法)																																																																																																																																																																																																						
	※遠心力鉄筋コンクリート管				※外圧管 (※1種・2種)	目形管(ゴム接着) (77型)																																																																																																																																																																																																						
	①硬質ポリ塩化ビニル管				③VP ・RS-W	※接着受口片受直管																																																																																																																																																																																																						
	・硬質ポリ塩化ビニル管継手				※IV ・VU継手	・ゴム輪形受口片受直管 I 類A																																																																																																																																																																																																						
	名称				種類	適用荷重	適用箇所																																																																																																																																																																																																					
	鉄筋製				・水射形	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																					
	マンホールふた				・簡易密閉形(パッキン式)	・	・																																																																																																																																																																																																					
					・密閉形(チアハ・パッキン式)	・	・																																																																																																																																																																																																					
					・中ふた付密閉形	・	・																																																																																																																																																																																																					
					・	・	・																																																																																																																																																																																																					
					・	・	・																																																																																																																																																																																																					
	化粧				目地 ※ステンレス製	※図示	※図示																																																																																																																																																																																																					
マンホールふた(仕上げは黒色)	・	・	・																																																																																																																																																																																																									
仕上げは黒色	・	・	・																																																																																																																																																																																																									
仕上げは黒色	・	・	・																																																																																																																																																																																																									
製造所: 化粧蓋 カネソウ「S1W」インフラックアロケ完成仕様 又は同等品																																																																																																																																																																																																												
名称	材質	形式	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状																																																																																																																																																																																																							
①溝ふた(図示)	・鋼製	※受付付	・歩行用	・細目	・凸凹凸形																																																																																																																																																																																																							
②溝ふた(図示)	③ステンレス製	ボルト固定	・	・	・																																																																																																																																																																																																							
④凹手溝(図示)	・	・受付付	※図示	※普通目	・平形																																																																																																																																																																																																							
・	・	・	・T-	①細目	②凹凸凸形																																																																																																																																																																																																							
・	・	・	・T-	・	・																																																																																																																																																																																																							
・	・鋼製	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																							
・	・ステンレス製	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																							
製造所: カネソウ																																																																																																																																																																																																												
DJS 日本興業「鉄物グレーティング F20L-13ZGLS-F」 又は同等品																																																																																																																																																																																																												
DJO 日本興業「非導電用カラーグレーティング 型1-25細目4点目固定」又は同等品																																																																																																																																																																																																												
種類	形状、寸法	備考																																																																																																																																																																																																										
①緑石	②図示	・																																																																																																																																																																																																										
・L形側溝	・図示	・																																																																																																																																																																																																										
③U形側溝	④図示	・																																																																																																																																																																																																										
⑤U形側溝ふた	⑥図示	・																																																																																																																																																																																																										
砂利地業の材料	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂																																																																																																																																																																																																											
砂利地業に用いる材料	・再生クラッシュラン	・切込砂利																																																																																																																																																																																																										
砂利地業の厚さ(mm)	※100	・図示																																																																																																																																																																																																										
製造所:																																																																																																																																																																																																												
⑱ 凍上抑制層の材料	※再生クラッシュラン	・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂																																																																																																																																																																																																										
厚さは図示																																																																																																																																																																																																												
砂を用いる場合の粒度試験	・行方	※行わない																																																																																																																																																																																																										
※普通コンクリート	・		(21.2.1)																																																																																																																																																																																																									
設計基準強度	※18N/mm																																																																																																																																																																																																											
スランプ	※15cm又は18cm																																																																																																																																																																																																											
鉄筋の種類	※SD295																																																																																																																																																																																																											
・A種 ※B種	・		(21.2.3)																																																																																																																																																																																																									
(標準表3.2.1)																																																																																																																																																																																																												
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																										
①盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種(標準表3.2.1)	※図示																																																																																																																																																																																																										
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 ・砂	※図示																																																																																																																																																																																																										
②フィルター層	・	※図示																																																																																																																																																																																																										

<p>② 路盤</p> <p>③ アスファルト舗装</p> <p>4 半たわみ性舗装</p> <p>⑤ コンクリート舗装</p> <p>6 カラー舗装</p> <p>7 透水性アスファルト舗装(歩行者用通路)</p>	<p>路床安定処理</p> <p>安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置換工法</p> <p>安定処理工法の添加材料</p> <p>・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種</p> <p>・高炉セメントB種</p> <p>・生石灰( ) ・消石灰( )</p> <p>添加量を定めるために用いるCRR ・3以上 ・5以上</p> <p>試験</p> <p>路床土の支持力比試験(CRR)試験 ※行う ・行わない</p> <p>路床締固めの試験(現場密度)</p> <p>○行う ※行わない(但し埋め戻し及び盛土部は行う)</p> <p>現場CR試験 ・行う ※行わない</p> <p>路盤の厚さ ○図示による (22.3.1~2)(表22.3.1)</p> <p>路盤材料</p> <p>・クラクシャラン ・粒度調整砕石</p> <p>※再生クラクシャラン ・クラクシャラン鉄鋼スラグ</p> <p>※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p> <p>②アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による (22.4.1~6)(表22.4.1~6)</p> <p>材料</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト(※60~80 ・80~100(寒冷地域))</p> <p>・ストレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>○一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>※粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(基層を設ける場合)</td> </tr> <tr> <td>プライムコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タックコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う</p> <p>半たわみ性舗装の構成及び厚さ ※図示による</p> <p>表層:半たわみ性舗装用アスファルト混合物(13) ※金透透 ・半浸透型</p> <p>基層:密粒度アスファルト混合物(13)</p> <p>浸透用セメントミルク ※普通タイプ ・早強タイプ ・超早強タイプ</p> <p>⑤コンクリート舗装</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.5.1~6)(表22.5.1~3)</p> <p>材料</p> <p>コンクリート ※普通コンクリート(標仕表22.5.1による)</p> <p>・</p> <p>早強ポルトランドセメント ・適用する ※適用しない</p> <p>法人目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地の種類、間隔、構造</p> <p>※標仕表22.5.3及び図22.5.1による ・図示</p> <p>6 カラー舗装</p> <p>舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.6.1~6)(表22.6.1~2)</p> <p>※加熱系カラー舗装</p> <p>加熱系混合物の結合材</p> <p>・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量(%)</p> <p>加熱系混合物の材料</p> <p>※着色骨材( ) ・自然石( )</p> <p>・常温系カラー舗装</p> <p>・ニート工法 ・塗布工法</p> <p>着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>7 透水性アスファルト舗装(歩行者用通路)</p> <p>透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による (22.7.1~6)</p> <p>材料</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト(※60~80 ・80~100(寒冷地域))</p> <p>・ストレートアスファルト</p> <p>試験</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない</p>	区分	種類	表層	○一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13)		・細粒度アスファルト混合物(13)		・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物(13F)	基層	※粗粒度アスファルト混合物(20)	(基層を設ける場合)		プライムコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-3		タックコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-4		<p>⑧ ブロック系舗装</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22.8.1~3)(表22.8.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>クッション材</th> <th>目地材</th> <th>表面仕上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板(N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>※砂</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性平板(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・空罅りモルタル</td> <td>・モルタル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上りの平坦性</p> <p>※コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>○インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">形状</th> <th rowspan="2">曲げ強度(N/MM<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">色彩</th> </tr> <tr> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td>車路</td> <td>・図示</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック(P)</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td>歩行者用</td> <td>・図示</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック(P)</td> <td>通路</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上りの平坦性</p> <p>※インターロッキングブロック間の段差3mm以内</p> <p>製造所: イナバ物置「BP-28VUL-28VPL」 又は同等品</p> <p>・錆石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>割付寸</th> <th>クッション材</th> <th>基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※小錆石</td> <td>・図示</td> <td>・80</td> <td>・図示</td> <td>※砂</td> <td>※コンクリート版</td> </tr> <tr> <td>(花こころ)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・空罅りモルタル</td> <td>(※70・)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト混合物(※50・)</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上りの平坦性</p> <p>※錆石間の段差3mm以内</p> <p>製造所:</p> <p>ブロック系舗装の建築物の目地部は、硬化剤等により目地砂が流出しないよう措置を行う</p> <p>⑨ 砂利敷き (22.9.1~3)(表22.9.1)</p> <p>※B種(施工箇所) ※図示 ・建物周囲</p> <p>・(施工箇所) ※図示</p> <p>⑩ 路面標示用塗料</p> <p>路面標示用塗料は JIS K 5665 による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>色</th> <th>幅(mm)</th> <th>塗布厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融 白</td> <td>・図示</td> <td>※1.5程度</td> <td>低揮発性有機溶剤型</td> </tr> <tr> <td>-1種</td> <td>常温</td> <td>・150</td> <td>・</td> <td>路面標示用水性塗料</td> </tr> <tr> <td>-2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑪ 樹木</p> <p>樹木の樹高(m) 有効土層の厚さ(m) 工法 整備範囲</p> <p>○12以上 ※100 ・ ※A種 ・葉取りの範囲</p> <p>○7以上~12未満 ※80 ・ ・B種</p> <p>○3以上~7未満 ※60 ・ ・C種</p> <p>・1未満 ※50 ・ ・D種</p> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。</p> <p>⑫ 舗込み用土</p> <p>※等土(※畑土・黒土) ・現場発生土の良質土 (23.2.3)</p> <p>※適用する (23.2.3~4)</p> <p>施工箇所 ※整備範囲 ・図示</p> <p>種類</p> <p>○バークたい肥</p> <p>・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)</p> <p>土壌との適合性を確認し、品質を証明する資料を監督職員に提出して承認を得ること。</p> <p>○マルチング: 山都屋 「シンヨーマルチB t=30」 又は同等品</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	クッション材	目地材	表面仕上	・普通平板(N)	※300角	※60	※砂	※砂	※標準品	・透水性平板(P)			・空罅りモルタル	・モルタル	・	・保水性平板(M)						種類	部位	形状		曲げ強度(N/MM <sup>2</sup> )	色彩	寸法(mm)	厚さ(mm)	※普通ブロック(N)	車路	・図示	※80	※5.0	・標準品	・透水性ブロック(P)		・	・	・	・	・保水性ブロック(M)						※普通ブロック(N)	歩行者用	・図示	※60	※3.0	・標準品	・透水性ブロック(P)	通路	・	・	・	・	・保水性ブロック(M)						種類	形状、寸法	厚さ(mm)	割付寸	クッション材	基礎	※小錆石	・図示	・80	・図示	※砂	※コンクリート版	(花こころ)	・	・	・	・空罅りモルタル	(※70・)						・アスファルト混合物(※50・)	種類	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備考	※3種1号	溶融 白	・図示	※1.5程度	低揮発性有機溶剤型	-1種	常温	・150	・	路面標示用水性塗料	-2種	加熱				<p>⑬ 樹木</p> <p>樹種、寸法、株立数 ※図示による</p> <p>⑭ 支柱材</p> <p>種類 ※加圧式防露処理丸太材 (23.3.2~3)</p> <p>・杉の丸太(間伐材) ・真竹</p> <p>形状 ・添え柱形 ・扇形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形</p> <p>・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形 ○図示</p> <p>製造所:</p> <p>⑮ 幹巻き用テープ</p> <p>※幹巻き用テープ(中高木に適用) ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>8 芝張り</p> <p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)</p> <p>⑯ 新植・移植樹木、芝等の枯損償</p> <p>※引き渡しから1年 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)</p> <p>10 屋上緑化 (23.5.1~4)</p> <p>⑰ 樹名札</p> <p>再生樹脂製ベースプレート 形状・仕様は図示</p> <p>製造所 アポック「ハツタガキ」 又は同等品</p> <p>⑱ ユニツト</p> <p>⑲ ⑳ ⑲ ⑳</p> <p>材 質 樹脂塗装メッシュフェンス・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 H1800 その他図示</p> <p>製造所 朝日スチール工業「ユニツトA1800」 又は同等品</p> <p>⑳ ⑲ ⑳</p> <p>材 質 樹脂塗装メッシュフェンス・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 H2000 その他図示</p> <p>製造所 積水樹脂 めかしくり型(通風タイプ) 又は同等品</p> <p>㉑ PCフェンス</p> <p>材 質 樹脂塗装メッシュフェンス・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 H3000、テニスコート廻りのH2000 その他図示</p> <p>製造所 朝日スチール工業「PCフェンス PC-A3000」 又は同等品</p> <p>㉒ 正門・袖門扉</p> <p>材 質 7A3製7A1S・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 H1800 その他図示</p> <p>製造所 三協立山「大型引戸門扉 ライディートM型」 又は同等品</p> <p>(袖門扉:電気錠対応)</p> <p>㉓ 通用門</p> <p>材 質 7A3製7A1S・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 H1800 その他図示</p> <p>製造所 三協立山「大型門扉『フレラインフォルテ』1型 格子タイプ」 又は同等品</p> <p>㉔ サーフيس門扉</p> <p>材 質 7A3製・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 W2000×H1800</p> <p>製造所 四国化成 「ALXF18R-(S) 2010F」 又は同等品</p> <p>㉕ 軽車庫門扉</p> <p>材 質 7A3製・支柱、基礎含む、詳細は図示による</p> <p>寸 法 図示</p> <p>製造所 四国化成 「ALXF18-(S) 705S」 又は同等品</p> <p>㉖ 防球ネット(8m)</p> <p>[防球ネットA]</p> <p>コナクワイ製(H=8.0・基礎3m)</p> <p>ネット φ1.26 40mm同等以上</p> <p>ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上</p> <p>製造所 大日エンジニアリング 又は同等品</p> <p>㉗ 防球ネット(8m)</p> <p>[防球ネットB]</p> <p>鋼製φ4(H=8.0+基礎1.95m)</p> <p>菱形金網φ2.6 40mm目 防球ネット1mm目 同等以上</p> <p>ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上</p> <p>製造所 朝日スチール工業「朝日S-P防球フェンスH8-1型」 又は同等品</p> <p>㉘ 防球ネット(5m)</p> <p>[防球ネットC]</p> <p>鋼製φ4(H=5.0+基礎1.8m)</p> <p>エコネット365T/56本40mm目、防球ネット1mm目 同等以上</p> <p>ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上</p> <p>製造所 朝日スチール工業「朝日S-P防球フェンスH5-3型」 又は同等品</p> <p>㉙ 遊具</p> <p>仕様 ※詳細図参照</p> <p>製造所 ニシオカ 又は同等品</p> <p>※強度・安全性に関してはメーカー責任とすること</p>	<p>① 仮設駐輪場</p> <p>材 質 柱:一般構造用炭素鋼鋼管、屋根:溶融亜鉛めっき鋼板 一般仕様</p> <p>寸 法 図示</p> <p>製造所 イナバ物置 「BP-28VUL-28VPL」 又は同等品</p> <p>② 体育倉庫</p> <p>材 質 7A3鋼合金押出型材</p> <p>その他 引き戸タイプ 一般仕様</p> <p>寸 法 図示</p> <p>製造所 淀川製作所 「F3」物置 H4E LMD-3625H」 又は同等品</p> <p>③ 農具庫</p> <p>材 質 7A3鋼合金押出型材</p> <p>その他 引き戸タイプ 一般仕様</p> <p>寸 法 図示</p> <p>製造所 淀川製作所 「F3」物置 H4E LMD-1615型」 又は同等品</p> <p>④ フラッグポール</p> <p>材 質 ※アルミニウム合金製</p> <p>形 式 ※テーパー型 ・同一断面型</p> <p>地上高さ(m) ・6 ○8 ○10 ・12</p> <p>操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式</p> <p>固定方法 ○埋込式 ・ベース式 ・バンド式</p> <p>製造所 SDAT FBEP-Uz、10EP-Uz」 又は同等品</p> <p>⑤ PC植壁</p> <p>寸 法 図示</p> <p>製造所 日本興業 「アラウンドウォール」 又は同等品</p> <p>⑥ 人工芝舗装</p> <p>バイル長さ:19mm</p> <p>材質:ポリエチレン(高耐久仕様)</p> <p>テニスコート廻りの排水溝蓋はゴム製とする</p> <p>製造所 住友工業 「オムニコートXPH」 又は同等品</p> <p>⑦ ゴムチップ舗装</p> <p>材質:t15.0 2色混合</p> <p>製造所 四国化成 「チップロードソフト 盛装タイプ」 又は同等品</p> <p>⑧ 車止め</p> <p>外内蔵型3A3A製(上下式) 径76.3mm H=L+700mm</p> <p>※反射板付 ※スプリング無し</p> <p>製造所 帝念「311C」 又は同等品</p>
	区分	種類																																																																																																																																		
	表層	○一般地域 ※密粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																		
		・細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																		
		・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																		
	基層	※粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																																		
	(基層を設ける場合)																																																																																																																																			
	プライムコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-3																																																																																																																																			
	タックコート用乳剤(JIS K2208) 種別 PK-4																																																																																																																																			
	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	クッション材	目地材	表面仕上																																																																																																																														
・普通平板(N)	※300角	※60	※砂	※砂	※標準品																																																																																																																															
・透水性平板(P)			・空罅りモルタル	・モルタル	・																																																																																																																															
・保水性平板(M)																																																																																																																																				
種類	部位	形状		曲げ強度(N/MM <sup>2</sup> )	色彩																																																																																																																															
		寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																	
※普通ブロック(N)	車路	・図示	※80	※5.0	・標準品																																																																																																																															
・透水性ブロック(P)		・	・	・	・																																																																																																																															
・保水性ブロック(M)																																																																																																																																				
※普通ブロック(N)	歩行者用	・図示	※60	※3.0	・標準品																																																																																																																															
・透水性ブロック(P)	通路	・	・	・	・																																																																																																																															
・保水性ブロック(M)																																																																																																																																				
種類	形状、寸法	厚さ(mm)	割付寸	クッション材	基礎																																																																																																																															
※小錆石	・図示	・80	・図示	※砂	※コンクリート版																																																																																																																															
(花こころ)	・	・	・	・空罅りモルタル	(※70・)																																																																																																																															
					・アスファルト混合物(※50・)																																																																																																																															
種類	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備考																																																																																																																																
※3種1号	溶融 白	・図示	※1.5程度	低揮発性有機溶剤型																																																																																																																																
-1種	常温	・150	・	路面標示用水性塗料																																																																																																																																
-2種	加熱																																																																																																																																			
		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域域小中一貫校建設工事	図面番号																																																																																																																																
			図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その8 幅尺 A1: - A3: -	A011																																																																																																																																





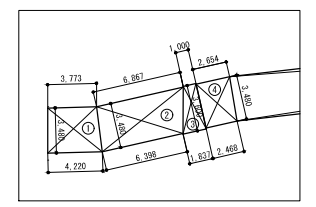
No	Xn	Yn	Yn-1-Yn	Xn - (Yn-1-Yn-1)
K1	-117761.870	56271.174	-4.540	122502.71170
K2	-117761.726	56271.063	-0.180	374594.48860
K3	-117761.596	56269.994	-40.787	4804862.15222
K4	-117761.324	56252.276	-66.407	6346211.671530
K5	-117757.894	56274.587	-29.089	3444877.58856
K6	-117754.014	56202.187	-33.140	3902268.02390
K7	-117742.884	56191.441	-22.520	3217261.444480
K8	-117741.934	56178.867	-20.109	3310526.062740
K9	-117741.004	56162.338	-15.219	1792555.265636
K10	-117738.074	56166.646	-26.420	2394122.010180
K11	-117683.004	56153.918	-26.350	3104111.526960
K12	-117678.814	56134.298	-22.029	2595144.278966
K13	-117678.184	56113.899	-26.959	2106384.871880
K14	-117628.564	56107.929	-8.650	1042756.241400
K15	-117628.244	56107.039	-33.840	3887740.099680
K16	-117628.164	56103.099	-4.061	4542848.107070
K17	-117628.486	56102.258	28.588	-3413814.773580
K18	-117628.536	56100.047	3.633	-429927.684898
K185	-117628.924	56106.991	-20.424	2407742.971770
K184	-117628.910	56085.623	-27.637	2667931.581170
K185	-117628.424	56080.259	62.682	-2595978.085168
K186	-117628.216	56146.326	38.297	-1001847.638855
K187	-117628.938	56171.556	21.665	-2376548.379370
K188	-117628.300	56168.170	1.024	-139677.683200
K189	-117628.187	56171.556	-26.162	6844603.382974
K170	-117628.870	56110.008	-46.697	7742593.880390
K19	-117628.648	56106.883	-6.928	816774.121344
K20	-117628.913	56102.003	-4.159	490333.281167
K21	-117628.751	56102.724	61.234	-3219412.118734
K22	-118004.910	56164.314	66.639	-7744844.238390
K23	-118017.786	56166.263	6.416	-893989.020990
K24	-118018.604	56172.729	4.617	-585506.865990
K25	-118026.234	56173.170	3.485	-449494.562290
K26	-118026.483	56176.414	2.512	-488614.638918
K27	-118028.871	56192.682	26.167	-334519.209457
K28	-118016.861	56204.581	28.109	-231735.948489
K29	-118015.521	56206.791	4.717	-463335.368817
K30	-118012.198	56209.388	1.395	-148096.918390
K31	-118010.275	56210.096	2.213	-281156.738575
K32	-118008.064	56211.571	2.047	-399574.818000
K33	-118008.915	56213.143	4.555	-537516.942925
K34	-118001.892	56216.126	15.282	-1800944.285224
K35	-117998.271	56226.460	14.058	-1868308.306200
K36	-117998.340	56225.181	1.966	-231981.144440
K37	-117984.120	56230.371	-0.275	32445.633000
K38	-117978.271	56237.898	-6.579	88329.204230
K39	-117971.181	56252.792	-0.158	18640.384580

No	Xn	Yn	Yn-1-Yn	Xn - (Yn-1-Yn-1)
K40	-117976.290	56259.748	0.940	-4719.051600
K41	-117976.101	56259.302	0.211	-4879.765871
K42	-117973.701	56230.119	0.671	-79160.353371
K43	-117972.990	56230.503	0.818	-69501.578630
K44	-117971.695	56230.937	1.172	-112925.791390
K45	-117970.495	56231.675	1.528	-180258.916360
K46	-117969.560	56232.465	1.673	-197952.921680
K47	-117968.745	56233.353	2.614	-251988.024800
K48	-117967.910	56234.479	2.167	-258538.466970
K49	-117967.386	56235.520	3.877	-487359.477882
K41	-117966.916	56236.356	10.825	-125991.288020
K50	-117961.746	56246.465	18.039	-217971.850694
K51	-117960.396	56246.395	16.866	-209007.246248
K52	-117959.994	56238.316	14.107	-127998.989648
K53	-117949.307	56270.587	14.833	-1748642.070731
K54	-117945.363	56276.244	22.024	-2591828.674732
K55	-117938.009	56292.811	16.129	-199222.141161
K57	-117941.723	56294.375	7.276	-858143.976548
K58	-117953.284	56299.987	8.224	-970047.807616
K59	-117958.924	56302.997	2.459	-200066.994116
K60	-117961.320	56302.346	2.851	-338307.723320
K61	-117959.043	56305.448	10.867	-1191032.457171
K62	-117953.988	56312.453	12.200	-1405933.026400
K63	-117950.614	56317.748	10.169	-1199433.692356
K64	-117945.789	56322.912	7.585	-885798.267455
K65	-117943.280	56325.343	5.200	-658123.208900
K66	-117940.489	56328.192	5.609	-681528.034531
K67	-117937.587	56330.952	5.468	-648420.853336
K68	-117934.684	56333.980	4.468	-474694.020000
K69	-117932.289	56335.357	6.971	-715966.926519
K70	-117928.010	56339.761	7.739	-972444.869390
K71	-117923.800	56342.086	14.268	-163491.205000
K72	-117912.440	56335.369	12.891	-1524735.878019
K73	-117909.729	56336.527	4.973	-663695.062425
K74	-117907.239	56336.042	3.658	-313391.441262
K75	-117906.980	56339.105	3.407	-801706.115232
K76	-117903.882	56362.349	4.301	-607108.510462
K77	-117902.710	56363.488	4.507	-501389.788390
K78	-117899.664	56366.956	4.679	-351652.927856
K79	-117898.450	56368.165	2.298	-327884.088180
K80	-117897.189	56369.652	3.894	-435747.929588
K81	-117895.283	56371.861	6.830	-895254.975990
K82	-117891.423	56376.482	5.841	-688802.807143
K83	-117889.424	56377.702	3.811	-438891.261514
K84	-117887.574	56380.103	3.202	-374778.213848
K85	-117887.970	56380.304	-1.688	188899.883360
K86	-117887.763	56378.415	15.964	-1888897.107188
K87	-117828.297	56402.470	14.783	-8812151.298551

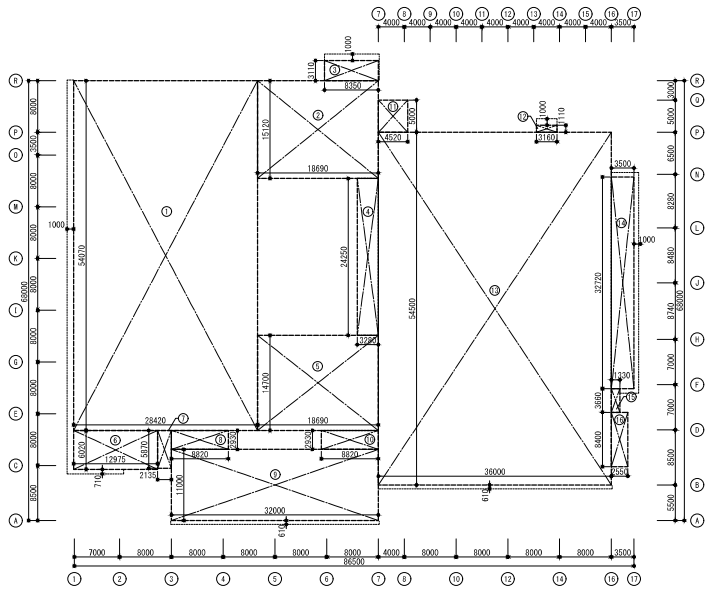
No	Xn	Yn	Yn-1-Yn	Xn - (Yn-1-Yn-1)
K190	-117835.640	56453.188	1.899	-223770.260160
K191	-117834.933	56454.389	2.052	-243194.826669
K192	-117833.275	56455.281	1.433	-168855.083075
K193	-117831.716	56455.802	0.742	-67431.133272
K194	-117830.074	56455.903	0.010	-61531.769962
K195	-117828.430	56455.815	-0.717	84482.984310
K196	-117826.887	56455.276	-1.410	160135.882470
K197	-117825.462	56454.463	-26.034	339163.022232
K198	-117797.140	56426.440	-56.217	6622207.619380
K199	-117789.664	56388.188	-34.903	4110514.882592
K200	-117783.196	56391.971	-14.923	1763893.168885
K201	-117785.173	56383.265	-22.851	2688468.584763
K202	-117786.314	56388.208	-46.170	5786887.242789
K203	-117771.425	56324.096	-46.747	8388692.762675
K204	-117776.735	56322.985	-6.278	-1092732.547320
K205	-117819.915	56343.373	-4.247	496827.563115
K206	-117831.913	56318.124	-26.230	2932823.017280
K207	-117830.955	56318.143	-7.892	918101.089110
K208	-117833.500	56310.922	-9.546	1148388.581000
K209	-117838.508	56307.867	-4.581	539772.933708
K210	-117829.303	56306.341	-21.447	2577093.640241
K211	-117828.475	56287.150	-27.498	3282739.404600
K212	-117824.586	56278.845	-13.847	1538869.120106
K213	-117797.156	56274.103	-5.671	668207.671676

水路部分	計算式	面積(m²)
①	( 3.773 + 4.220 ) × 3.480 ÷ 2 =	13.96782
②	( 6.867 + 6.398 ) × 3.480 ÷ 2 =	23.08110
③	( 1.000 + 1.837 ) × 3.480 ÷ 2 =	5.18660
④	( 2.604 + 2.468 ) × 3.480 ÷ 2 =	8.91228
⑤	( 8.770 + 8.177 ) × 3.480 ÷ 2 =	304.40778
合計		355.41558 m²

敷地面積	計算式	面積(m²)
	50964.086820 - 355.41558 =	50608.671202
		50608.67102 m²

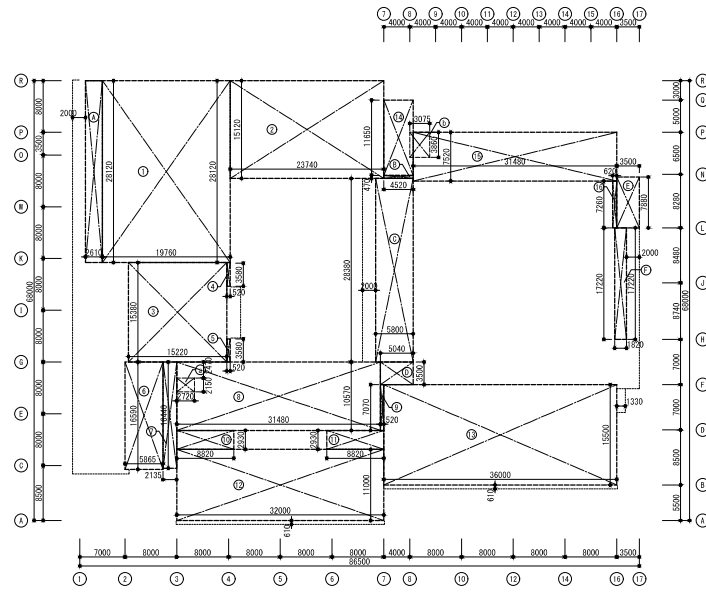


A部拡大図 S=1/200



増築校舎 建築面積求積図

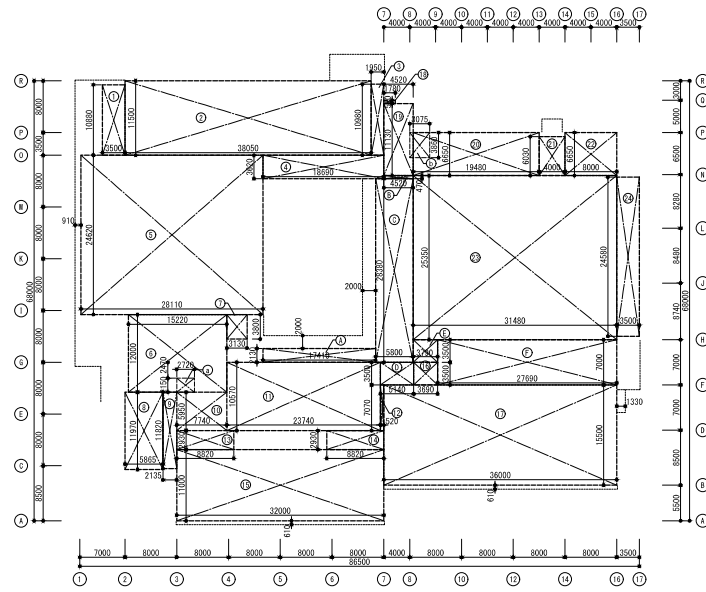
増築校舎棟	計算式	面積 (㎡)
1	28.4200 × 54.0700 =	1536.669
2	16.6900 × 15.1200 =	252.590
3	8.3500 × 3.1100 =	25.969
4	3.2800 × 24.2900 =	79.840
5	18.6900 × 14.7000 =	274.743
6	12.9750 × 6.0200 =	78.110
7	2.1350 × 5.8700 =	12.532
8	8.8200 × 2.9300 =	25.843
9	32.0000 × 11.0000 =	352.000
10	8.8200 × 2.9300 =	25.843
11	4.5200 × 5.0000 =	22.600
12	3.1600 × 1.1100 =	3.508
13	36.0000 × 54.5000 =	1962.000
14	3.5000 × 32.7200 =	114.520
15	1.3300 × 3.6600 =	4.868
16	2.5500 × 8.4000 =	21.420
建築面積		4822.75



増築校舎 2階求積図

増築校舎	2階床面積	面積 (㎡)
1	19.7600 × 28.1200 =	555.651
2	23.7400 × 15.1200 =	358.949
3	15.2200 × 15.3800 =	234.084
4	0.5200 × 3.5800 =	1.862
5	0.5200 × 3.5800 =	1.862
6	5.8650 × 16.5900 =	97.300
7	2.1350 × 16.4400 =	35.099
8	31.4800 × 10.5700 =	332.744
9	0.5200 × 7.0700 =	3.676
10	8.8200 × 2.9300 =	25.843
11	8.8200 × 2.9300 =	25.843
12	32.0000 × 11.0000 =	352.000
13	36.0000 × 15.5000 =	558.000
14	4.5200 × 11.6500 =	52.668
15	31.4800 × 7.5200 =	236.730
16	0.6200 × 7.2600 =	4.501
A	2.6100 × 28.1200 =	73.393
B	4.5200 × 0.4700 =	2.124
C	5.8000 × 28.3800 =	164.604
D	5.0400 × 3.5000 =	17.640
E	3.5900 × 7.8800 =	27.980
F	1.8200 × 17.2200 =	31.340
a	2.7200 × 2.1500 =	5.848
b	3.0750 × 3.8600 =	11.870
床面積		3193.493
エレベーターの昇降路の面積		17.713

部材名	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)	容積対象床面積 (㎡)	容積対象外床面積 (㎡)
増築校舎	4822.75	3193.49	3175.77	17.71
プール棟	331.52	199.10	199.10	0.00
バス停上屋	44.66	0.00	0.00	0.00
仮設トイレ等 (1)	23.22	45.66	45.66	0.00
仮設トイレ等 (2)	68.78	136.98	136.98	0.00
体育倉庫	3.12	3.12	3.12	0.00
養魚池	2.79	2.79	2.79	0.00
合計 (㎡)	5198.93	12183.19	12024.56	53.13



増築校舎 1階求積図

増築校舎	1階床面積	面積 (㎡)
1	3.5000 × 10.8800 =	38.080
2	30.0500 × 11.5000 =	437.575
3	1.9500 × 10.9800 =	21.411
4	18.6900 × 3.6200 =	67.658
5	28.1100 × 24.6200 =	692.063
6	15.2200 × 12.0000 =	182.640
7	3.1300 × 3.8000 =	11.894
8	5.8650 × 11.9700 =	70.204
9	2.1350 × 11.8700 =	25.236
10	7.7400 × 5.9500 =	46.053
11	23.7400 × 10.5700 =	250.932
12	0.5200 × 7.0700 =	3.676
13	8.8200 × 2.9300 =	25.843
14	8.8200 × 2.9300 =	25.843
15	32.0000 × 11.0000 =	352.000
16	3.6900 × 3.5000 =	12.915
17	36.0000 × 15.5000 =	558.000
18	1.7800 × 0.5200 =	0.926
19	4.5200 × 11.1000 =	50.300
20	19.4800 × 6.6500 =	129.542
21	4.0000 × 6.0300 =	24.120
22	8.0000 × 6.6500 =	53.200
23	31.4800 × 25.3500 =	798.018
24	3.5000 × 24.5800 =	86.030
A	17.4100 × 2.1300 =	37.083
R	4.5200 × 0.4700 =	2.124
C	5.8000 × 28.3800 =	164.604
D	5.1400 × 3.5000 =	17.990
E	3.7900 × 3.5000 =	13.265
F	27.6900 × 7.0000 =	193.830
a	2.7200 × 2.1500 =	5.848
b	3.0750 × 3.8600 =	11.870
床面積		4393.063
エレベーターの昇降路の面積		17.713

作成日

2025.03

工事名称

令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事

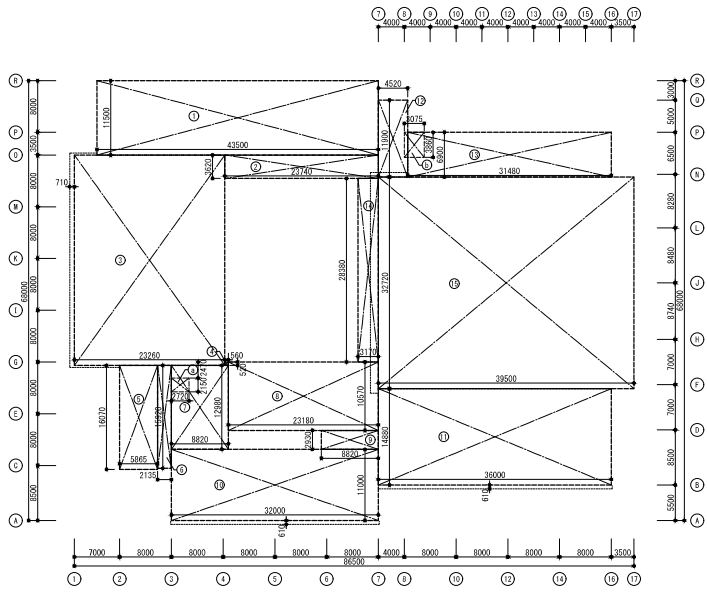
図面名称 <前半工事>

建物求積図 その1

縮尺 A1: 1/400 A3: 1/800

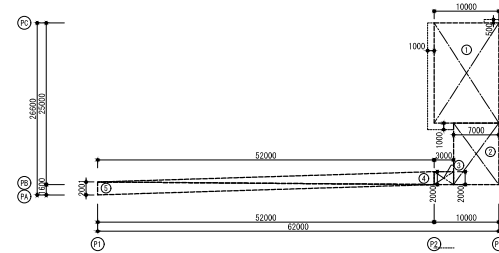
図面番号

A014



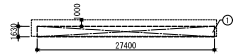
増築校舎 3階求積図

記号	計算式	面積 (㎡)
1	43.5000 × 11.5000 =	500.250
2	23.7400 × 3.6200 =	86.039
3	23.2600 × 32.5200 =	756.415
4	0.5600 × 0.5200 =	0.291
5	5.8650 × 16.0700 =	94.251
6	2.1350 × 15.9200 =	33.989
7	8.8200 × 12.9800 =	114.484
8	23.1800 × 10.5700 =	245.013
9	8.8200 × 2.9300 =	25.843
10	32.0000 × 11.0000 =	352.000
11	36.0000 × 14.8900 =	535.060
12	4.5200 × 11.9000 =	53.788
13	31.4800 × 6.9000 =	217.212
14	3.1700 × 28.3800 =	89.965
15	38.5000 × 32.7200 =	1259.440
a	2.7200 × 2.1500 =	5.848
b	3.0750 × 3.8600 =	11.870
床面積		4397.550
エレベータの昇降路の面積		17.710

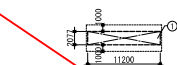


プール様 建築面積求積図

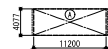
記号	計算式	面積 (㎡)
1	10.0000 × 15.5000 =	155.000
2	7.0000 × 9.5000 =	66.500
3	3.0000 × 2.0000 =	6.000
4	52.0000 × 2.0000 × 1/2 =	52.000
5	52.0000 × 2.0010 × 1/2 =	52.026
建築面積		231.526



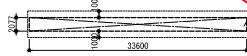
バス停上屋 建築面積求積図



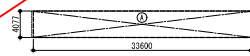
仮設駐輪場 (1) 建築面積求積図



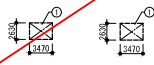
仮設駐輪場 (1) 床面積求積図



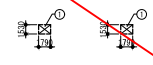
仮設駐輪場 (2) 建築面積求積図



仮設駐輪場 (2) 床面積求積図



体育倉庫 建築・床面積求積図



農具庫 建築・床面積求積図

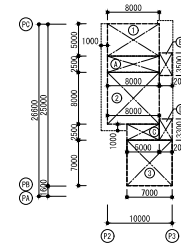
記号	計算式	面積 (㎡)
1	27.4000 × 1.6300 =	44.662
建築面積		44.662

記号	計算式	面積 (㎡)
1	11.2000 × 2.0770 =	23.262
建築面積		23.262
A	14.2000 × 4.0770 =	45.662
床面積		45.662

記号	計算式	面積 (㎡)
1	32.6000 × 2.0770 =	60.787
建築面積		60.787
A	53.6000 × 4.0770 =	136.887
床面積		136.887

記号	計算式	面積 (㎡)
1	3.4700 × 2.6300 =	9.126
建築面積		9.126
1	3.4700 × 2.6300 =	9.126
床面積		9.126

記号	計算式	面積 (㎡)
1	1.7900 × 1.5300 =	2.739
建築面積		2.739
1	1.7900 × 1.5300 =	2.739
床面積		2.739



プール様 床面積求積図

記号	計算式	面積 (㎡)
1	8.0000 × 5.0000 =	40.000
2	8.0000 × 8.0000 =	64.000
3	7.0000 × 7.0000 =	49.000
A	8.0000 × 2.5000 =	20.000
B	2.0000 × 3.5000 =	7.000
C	5.0000 × 2.5000 =	12.500
D	2.0000 × 3.3000 =	6.600
床面積		199.100

作成日

2025.03

工事名称  
令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事  
図面名称 <前半工事>  
建物求積図 その2  
縮尺 A1: 1/400  
A3: 1/800

図面番号

A015

内部仕上表

階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考	階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考
				下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り縁	アクリル板の有無	天井垂れ口、消火器の有、サインは別図による						下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り縁	アクリル板の有無	天井垂れ口、消火器の有、サインは別図による	
校舎棟1階	昇降口			RC	床用44A	石	LGS・RC (GL)	GB-S12.5+GB-S9.5+内装タイルA	GB-R9.5+DR9	2870	V	-	-	上り葎、傘立(備品)	校舎棟2階	昇降口			RC	床用44A	石	LGS・RC (GL)	GB-S12.5+GB-S9.5+内装タイルA	GB-R9.5+DR9	2870	V	-	上り葎、傘立(備品)	
	エントランスホール			RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁 一部化粧壁	GB-R9.5+DR9	2850	V	-	-	下足入、受付カウンター	エントランスホール			RC	FS-A 踏み版/床用44A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-R9.5+DR9	2850	V	-	下足入、ベンチ		
	CR: 1~1~3, 2~1~4 (普通教室・多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-S12.5+GB-S9.5+内装タイルA	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	昇降式黒板、収納棚、掃除用具入	CR: 3~1~3, 4~1~4 (普通教室・多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	昇降式黒板、収納棚、掃除用具入	
	CR: 1-4 (多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板	CR: 3-4 (多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板	
	特別支援教室1.2			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板、掃除用具入、移動収納棚	特別支援教室3~6			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板、掃除用具入、収納棚	
	通級教室			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板、掃除用具入	調理室			○	RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	上下式白板、調理台、教師用調理台	
	記念コーナー			RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	-	展示棚	被服室			○	RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	上下式白板、被服台、教師用被服台	
	職員室			○	FA (防塵床) (H=100)	546×617A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	雑談、戸棚(行事白板付)、流し台	家庭科準備室			RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1	GB-D9.5	2400	V	-	収納戸棚、作業台		
	印刷室			○	FA (防塵床) (H=100)	546×617A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-R9.5+DR9	2400	V	-	ラック、洗面(設備)、化粧鏡	理科1			○	RC	FS-E	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	上下式黒板、実験台、教師用実験台	
	休憩室			○	RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	-	理科準備室			RC	FS-E	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1	GB-D9.5	2700	V	W	窓下戸棚、収納戸棚、実験台		
	湯沸室			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-R9.5+DR9	2400	V	-	-	流し台(吊棚、IHヒーター共)	多目的教室1.2			○	RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板	
	校長室(小)(中)			○	RC	546×617B	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙 (壁紙: 羽目板張り)	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	金庫収納、洗面化粧台、戸棚	生徒・児童会室			○	RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板	
応接室			○	RC	546×617B	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙 (壁紙: 羽目板張り)	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	腰高収納、ヒーター	CR: 5~1~3, 6~1~4 (普通教室・多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板、収納棚、掃除用具入		
放送室			○	RC	546×617A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+吸音壁	GB-R9.5+DR9	2500	V	W	操作卓(電気)	CR: 7~4 (多目的)			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板		
職員更衣室(男・女)			○	RC	FS-B 貴族室	VB WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-D9.5	2500	V	W	物入(押入)、カクテル、ラッキング、化粧鏡	特別支援教室7~10			○	RC	70-リング A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-D (有孔) 9.5	2700	V	W	昇降式黒板、掃除用具入、移動収納棚、移動間仕切壁		
保健室(小)(中)			○	RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	流し台、窓下戸棚、カクテル(天井付)	メディアセンター			○ 2ヶ所	RC	546×617C	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙 (壁紙: 羽目板張り)	耐震天井下地 GB-R9.5+DR9 2ヶ所 2700~6800	V	W	カクテル、書架、ラッキング、洗面(設備)			
保健室用更衣室・廊下			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	GB-D9.5	2500	V	-	収納棚、洗面(設備)、洗濯機	メディアセンター倉庫			RC	FS-B	VB	LGS	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-	-				
配膳室(小)			○	RC	FS-C	床材立上 H=100	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-D9.5	2700	V	-	流し台、排水側溝、ラッキング、洗面(設備)	多目的ホール			○ 2ヶ所	RC	70-リング B	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+壁紙	耐震天井下地 GB-R9.5+DR9 2700~6800	V	W	映写スクリーン付			
職員・来客用WC(男・女)			RC	FS-D	床材立上 H=100	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-R9.5+DR9	2500	V	-	トイレット、ラッキング、洗面化粧台A、化粧鏡A	多目的倉庫			RC	FS-B	WB	LGS	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-	-				
職員玄関			○	RC	床用44A	石	RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	上り葎、傘立(備品)	音楽室1.2			○	RC	546×617A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-R9.5+吸音壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	上下式白板、掃除用具入		

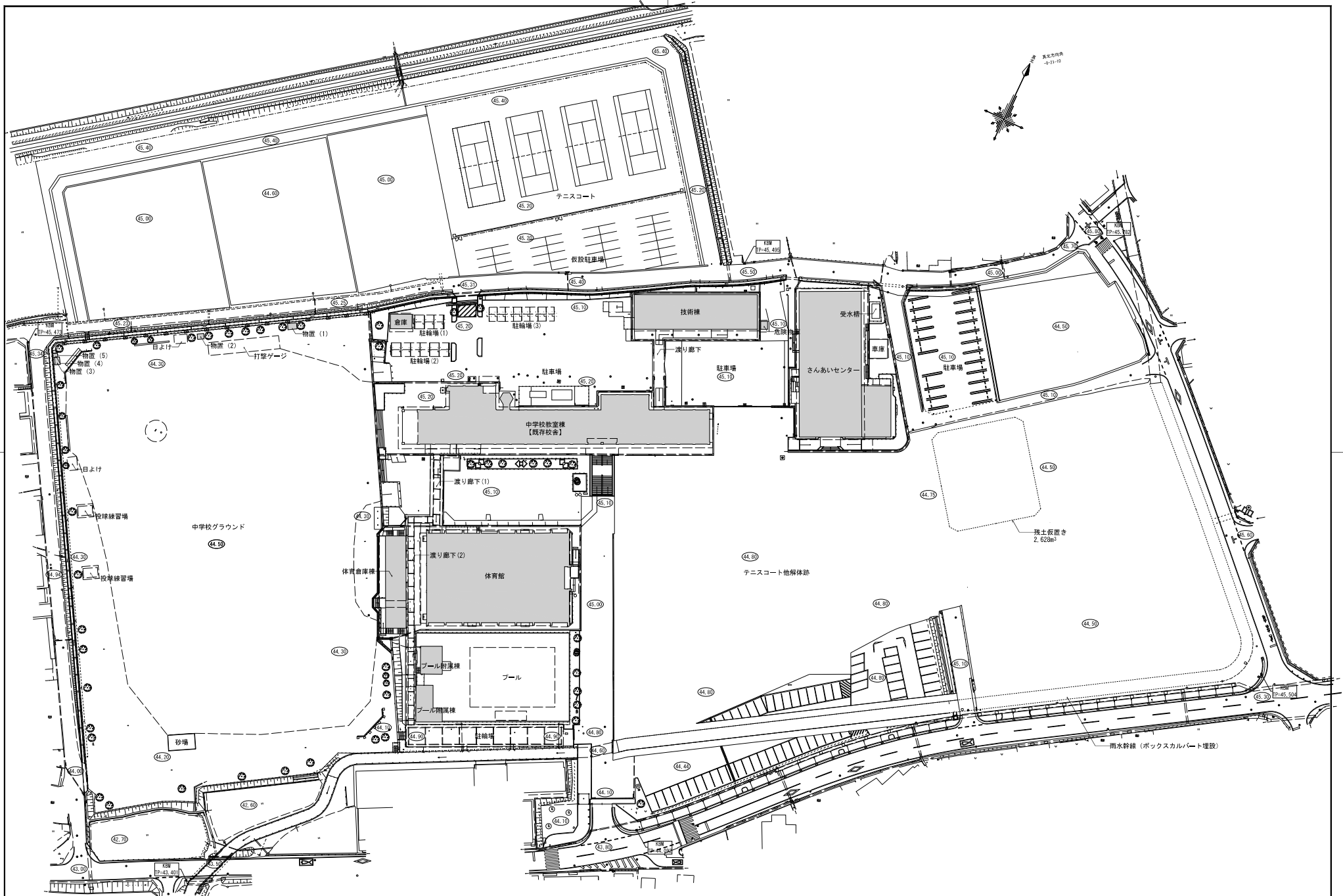
表示番号	内装制限	化学物質測定	不燃・準不燃認定番号
コンクリート 直打ち	床	床コンクリート直打ち仕上	不燃 NH-9005
コンクリート 打敷( )	床	コンクリート打敷(仕上の種類 A・B・C)	不燃 NH-9006
CB	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4701
PC	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4702
ALC	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4703
ECP	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4704
LGS	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4705
GB-R	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4706
GB-S	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4707
GB-F	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4708
GB-RH	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4709
GB-D	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4710
GB-DW	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4711
GB-NG	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4712
GB-NGT	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4713
GB-P	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4714
GB-L	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4715
GB-FK	天井	種別は仕様表6.2.4	不燃 NH-4716

化学物質測定欄に○印のある室を測定対象とし、○印内の数字は測定箇所を示す。	作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A016
			図面名称	<前半工事> 内部仕上表 その1		

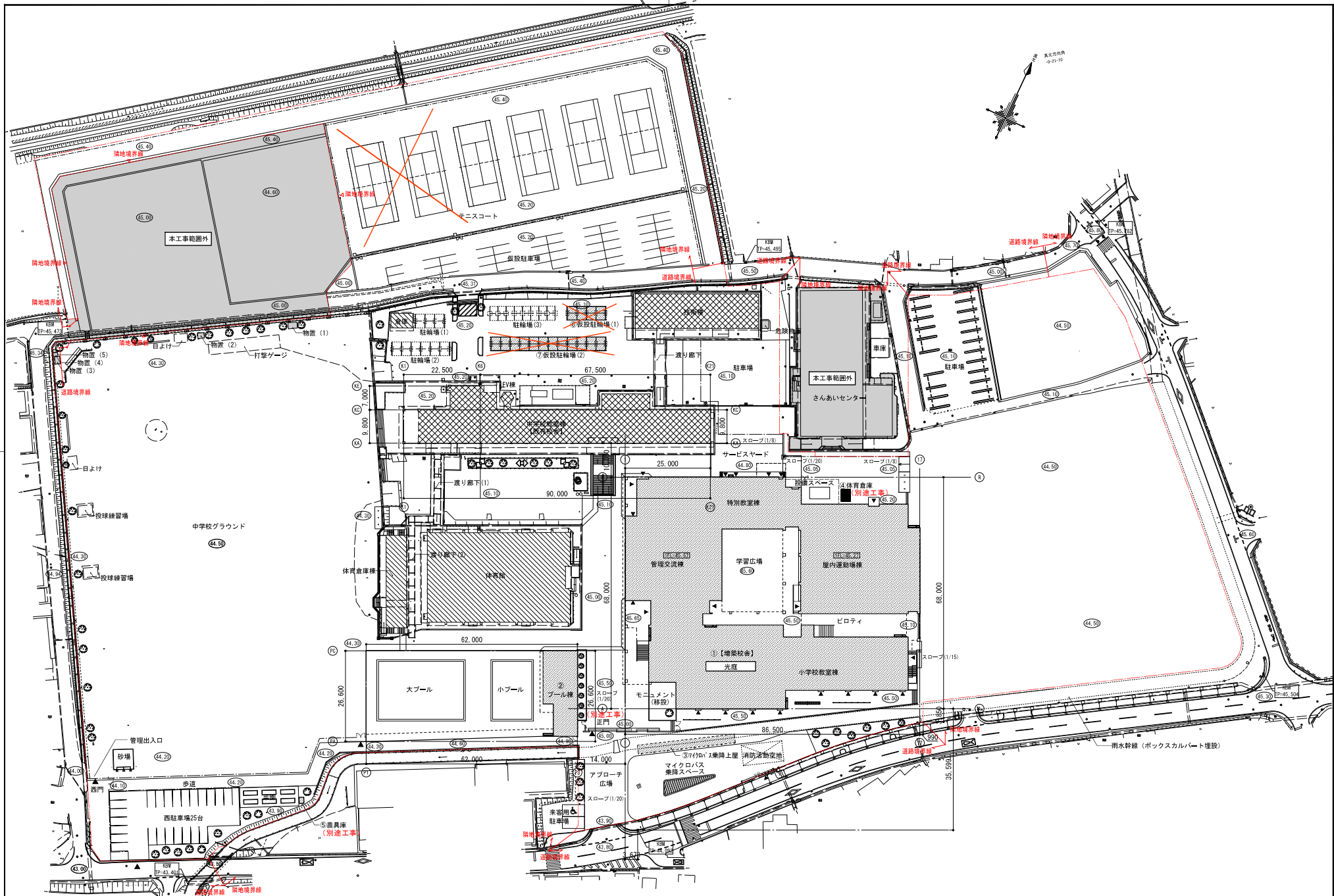
内部仕上表

階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考	階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考
				下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り縁	アクリル板の有無	天井点検口、消火器の有無、サインは別図による						下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り縁	アクリル板の有無	天井点検口、消火器の有無、サインは別図による	
校舎棟 共通	多目的スペース (R01~3)	○		RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1, 掲示壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	W	手洗、ビタフォーメー	屋 内 運 動 場 棟 3 階	大アリーナ	○		二重床材+下地 H=300	700×1000 C	WB	LGS	化粧吸音壁	(特記外 下地: 鋼製LGS)	天井高 2700	-	W	球接支柱、引分家見鏡、バスターコート、 防球ネット、コーティング、床点検口		
	教師ステーション1~3	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	W	ラッキング、洗面 (設備)	点検歩廊 (大アリーナ上部)			RCの上防塵塗装		WB	LGS	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-G	-	-	-	-	手摺			
	更衣室1~6			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-	更衣棚	舞台・袖舞台			鋼製床組仕様 RCの上防塵塗装	700×1000 C	WB	LGS・RC (GL)	吸音壁+EP-G		-	-	-	吊元機構、縦横一式、アクリル板、 床下収納台車、ステップ階段、ノリツバ階段			
	相談室1~9	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+壁紙 遮音壁	GB-D9.5	2500	V	W		器員庫 (大)			RC	FS-C	VB	LGS・RC (GL)	RC	EP-G	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-G	GB-D9.5	3000	V	-		
	教材庫1~3			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-		ピアノ庫 (大)			RC	FS-C	VB	RC	EP-G		GB-D9.5	2700	V	-			
	倉庫 (階段下倉庫)			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-		控室2	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-	流し台			
	WC1~3 (男・女)			RC	FS-D	床材立上 H=100	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-R9.5+DR9	2500	V	-	トルブレス、ラッキング、洗面のタテ、 化粧鏡A0、汚垂石、補助手摺、SK	WC4 (男・女)			RC	FS-D	床材立上 H=100	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-R9.5+DR9	2500	V	-	トルブレス、ラッキング、洗面のタテ、化粧鏡A、 汚垂石、補助手摺、SK、ベンチ			
	HWC1~3			RC	FS-D	床材立上 H=100	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-R9.5+DR9	2500	V	-	ラッキング、多目的トイレ手摺一式、化粧鏡D	廊下 (1階前室含む)			RC	FS-A	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-R9.5+DR9	2700	V	-				
	WC1~3前室			RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+EP-S1	GB-R9.5+DR9	2500	V	-	洗面のタテ、ベンチ、木手すり	階段D			RC	FS-A	VB	RC (GL)	RC 耐火遮音壁	EP-S1 (段裏: EP)	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	階段手摺、ノリツバ 金物		
	展示ホール			RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1, 掲示壁 耐火遮音壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	ビタフォーメー	PS・EPS			RC	防塵塗床	-	LGS・RC	素地	素地	-	-	-	-			
ホール・連絡通路 廊下1-1+1-3-2+1-2-3 廊下3			RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1, 掲示壁 耐火遮音壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	ベンチ	EV2			RC	塗布防水	床材立上	RC	素地	素地	-	-	-	-	吊フック、感知器点検口 (設備)			
廊下1-2-2-2	準		RC	FS-A	WB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1, 掲示壁 耐火遮音壁	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	ベンチ	ブルー ール 棟	ブルー ール サイド			MO	FS-F	床材立上	RC	外装吹付材C	-	-	-	-	横溝、樹脂クレーシング、シャウエント、 コーロップベンチ、ベンチ			
階段A・B			RC	FS-A	VB	RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	階段手摺、ノリツバ 金物	控室			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL) GB (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2400	V	-	カーテンレール				
階段C	準		RC	FS-A	VB	RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	階段手摺、ノリツバ 金物	更衣室 (男)・(女)			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL) GB (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2400	V	-	カーテンレール				
PS・EPS			RC	防塵塗床	-	LGS・RC	素地	素地	-	-	-		WC (男・女)			RC	FS-B	VB	RC (GL)・GB (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-D9.5	2400	V	-	トルブレス、ラッキング、化粧鏡A、 汚垂石				
EVI			RC	塗布防水	床材立上	RC	素地	素地	-	-	-	吊フック、感知器点検口 (設備)	倉庫			RC	塗床	床材立上	RC・MO	EP-G	素地	素地	-	-	-	機械基礎、吊金所			
屋 内 運 動 場 棟 1 階	昇降口			MO	踏込部: 床用44A	石	LGS・RC (GL)	GB-S12.5+GB-S9.5+内装タイルA	GB-R9.5+DR9	3120	V	-	下足入、上り框	機械室			RC	塗布防水	床材立上	RC・CB	素地	素地	-	-	-	機械基礎、吊金所			
	小アリーナ	○		RC	FS-A	WB	LGS	化粧吸音壁	天井高 7600	-	W	球接支柱、引分家見鏡、バスターコート、 コーティング、床点検口	SK			RC	FS-B	VB	RC (GL)・GB (GL)	GB-R12.5+GB-S9.5+化粧FK6	GB-D9.5	2400	V	-	ラッキング、木材掛け、モヤ掛け、棚				
	器員庫 (小)			RC	FS-C	VB	RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-G	GB-D9.5	3000	V	-		更衣室7.8			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	W				
	ピアノ庫 (小)			RC	FS-C	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2700	V	-		控室1	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-				
	更衣室7.8			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	W		収納・物入			RC	FS-B	VB	RC	EP-G	GB-D9.5	2500	V	-				
	控室1	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2500	V	-		体育倉庫			RC	塗床	床材立上	RC	RC (A) の上ナリナリ	FK-6+6+EP-G	3000	AL	-				
	収納・物入			RC	FS-B	VB	RC	EP-G	GB-D9.5	2500	V	-		屋外WC			MO	床用44C	タタ	RC	内装44B	GB-D9.5	2500	V	-	トルブレス、ラッキング、化粧鏡A、汚垂石、 補助手摺、SK、洗面器 (設備)			
	体育倉庫			RC	塗床	床材立上	RC	RC (A) の上ナリナリ	FK-6+6+EP-G	3000	AL	-		屋 内 運 動 場 棟 2 階	耐火倉庫・前室			RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2300	V	-			
	屋外WC			MO	床用44C	タタ	RC	内装44B	GB-D9.5	2500	V	-	トルブレス、ラッキング、化粧鏡A、汚垂石、 補助手摺、SK、洗面器 (設備)		部室1~5	○		RC	FS-B	VB	LGS・RC (GL)	GB-R12.5+GB-RH9.5+EP-S1	GB-D9.5	2300	V	W			

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A017
		図面名称	<前半工事> 内部仕上表		
		その2 幅尺	A1: - A3: -		

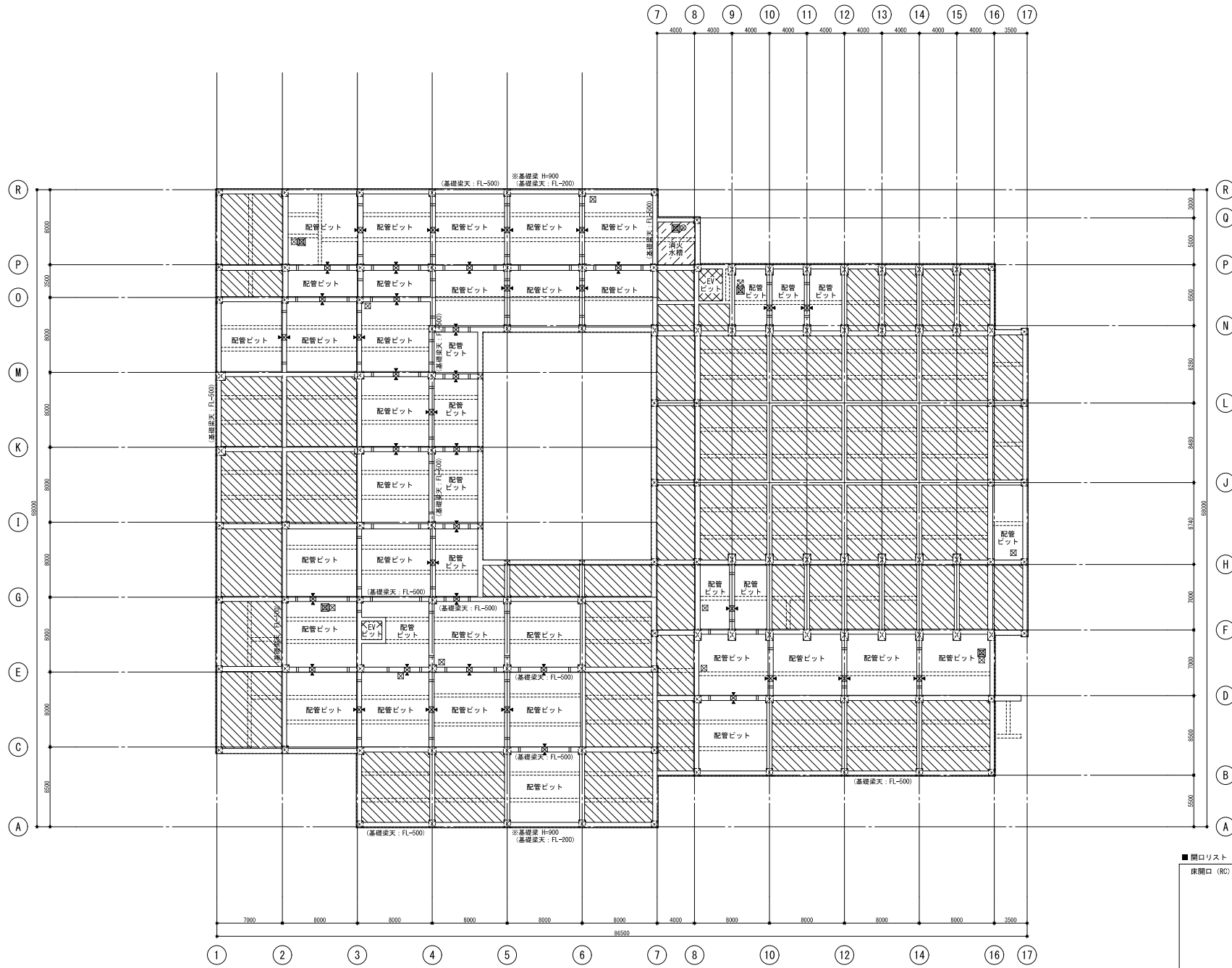


既存建物		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 現況図 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号 A018
------	--	----------------	--	--------------



<p>  計画建物（前半工事）   改修予定建物（後半工事）   解体予定建物（後半工事）   工事外範囲         </p>	<p>作成日 2025.03</p>	<p>           工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事            図面名称 &lt;前半工事&gt;            配置図            縮尺 A1: 1/500            A3: 1/1000         </p>
--	--------------------	--

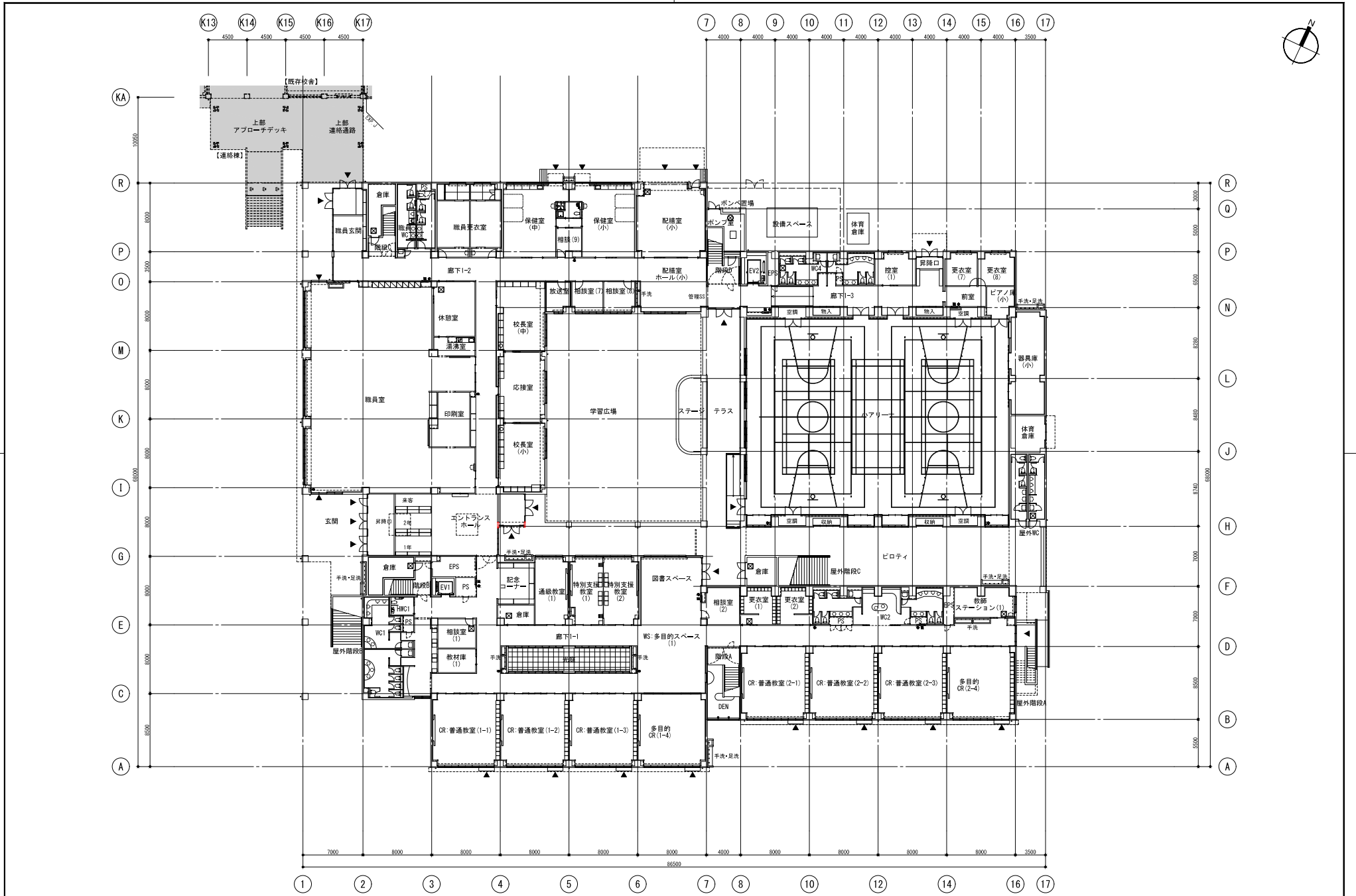
図面番号  
A019



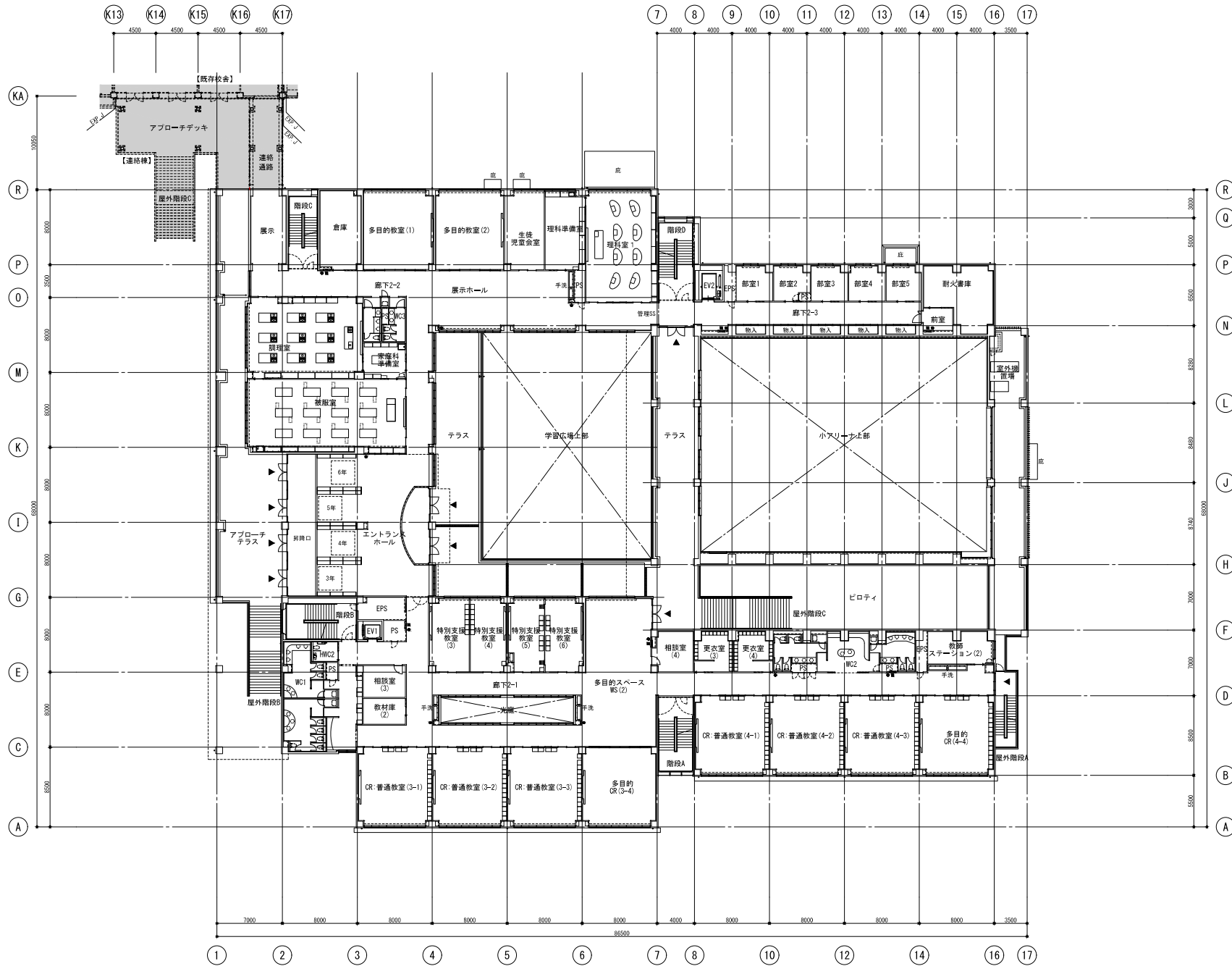
■ 開口リスト ※床点検口はビット伏図による

床開口 (RC)	径	箇所
床開口	100φ	75 箇所
	150φ	128 箇所
	200φ	2 箇所
	250φ	13 箇所
	500 x 300	16 箇所
床点検口	700 x 300	5 箇所
	1200 x 300	5 箇所
	600 x 600	3 箇所

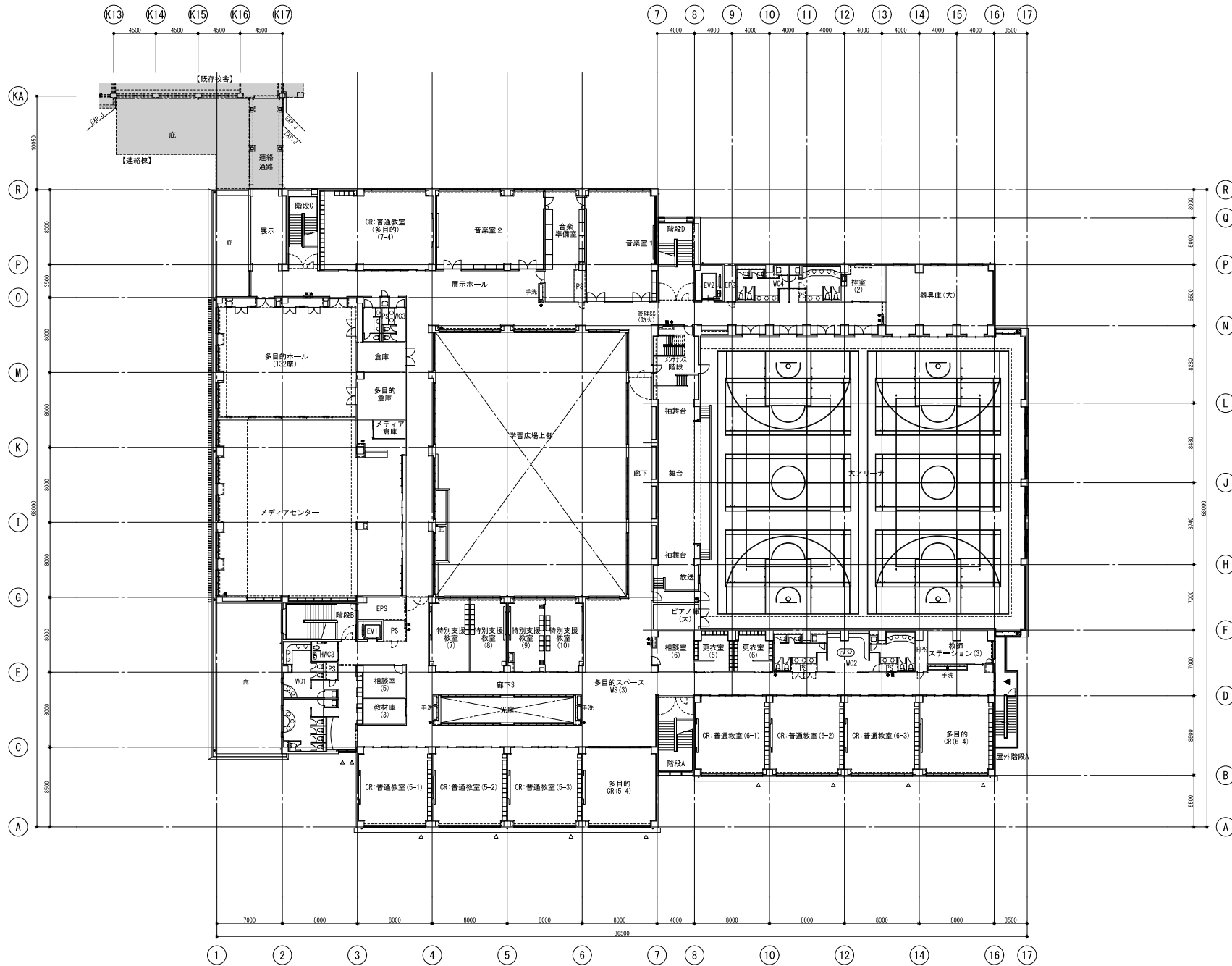
<b>凡例</b> 埋め戻し範囲 消火水栓 (穴面塗膜防水) EVビット 入道長500φ (10管) 通水管 (DP-2.100単位) 及び通気管 (VP-φ100) を各2ヶ所	上級点検口 (タラップ4段付) 点検マンホール (タラップ4段付) タラップマンホール (R600×D300×H500)	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> ビット伏図	図面番号 A020



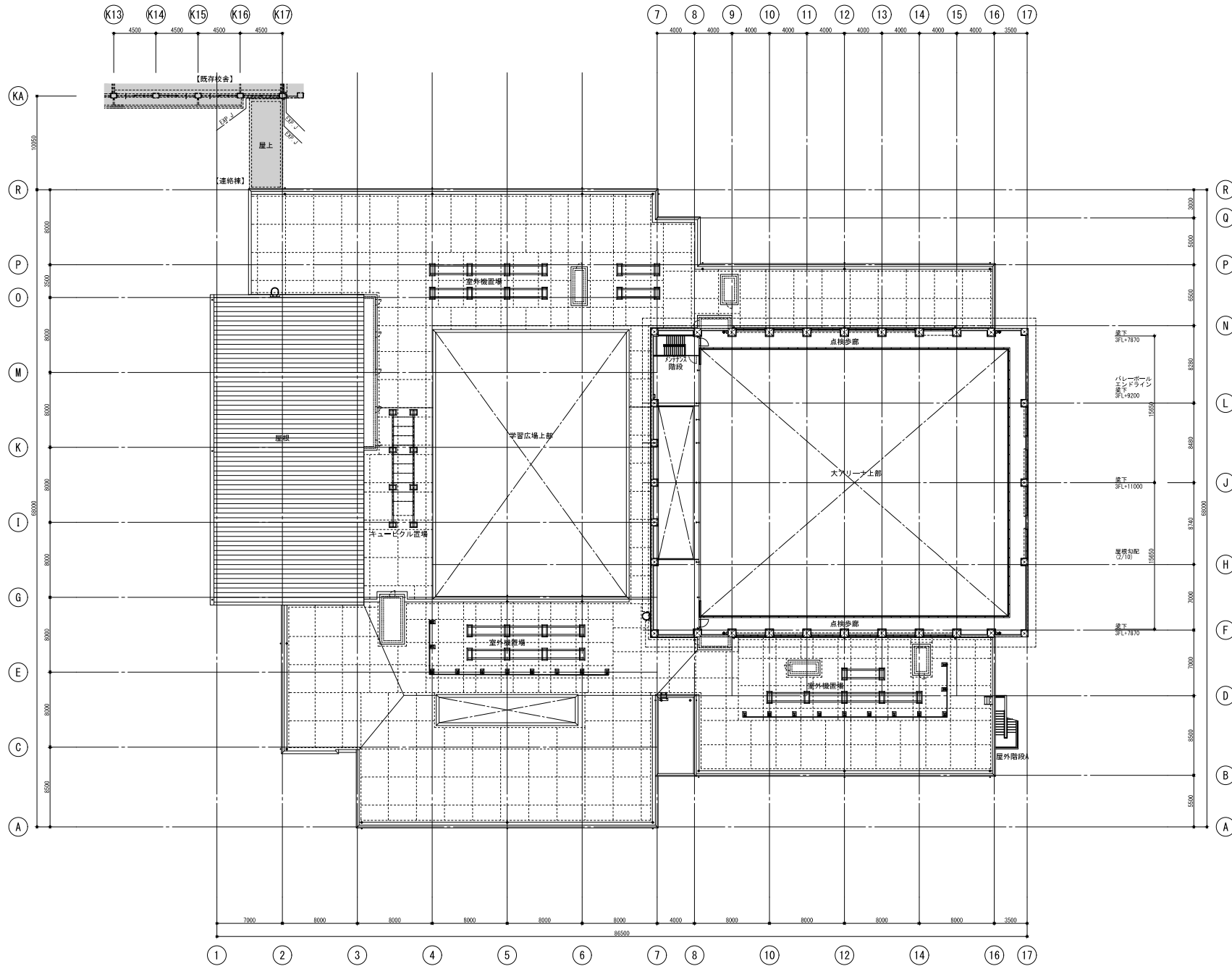
凡例	☐	屋内消火栓 (設備工事)	SS	網懸シャッター	後半工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小一貫校建設工事	図面番号
	☐	屋内消火栓+消火器 (設備工事)	☐	床下床下口 (500×600) 下部SUS317 4段					
	☐	消火器ボックスA (全埋込)	☐	モダンフレーム (600C) 下部SUS317 4段				縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	A021
	●	消火器ボックスB (露型)							



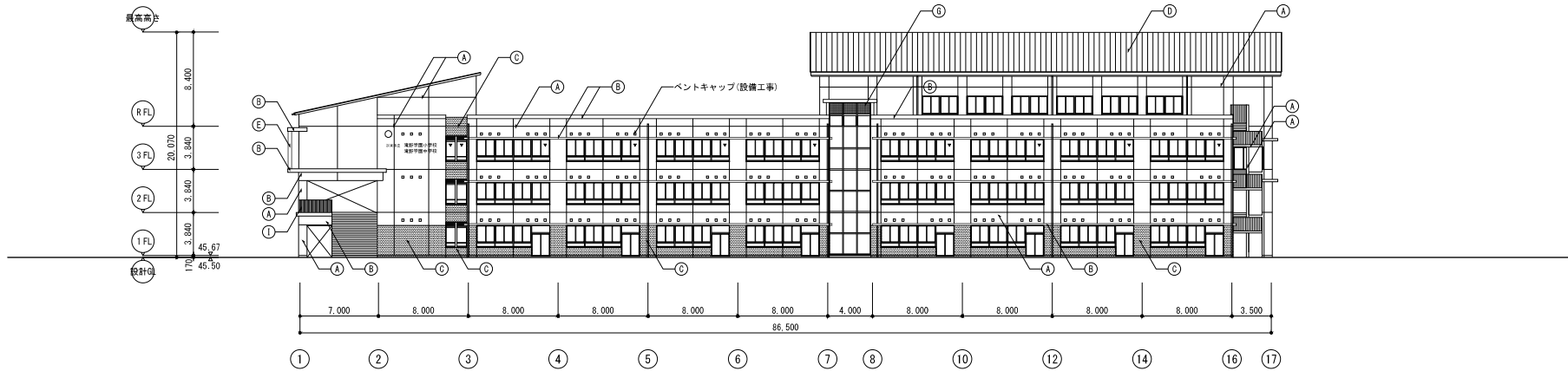
凡例	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋内消火栓（設備工事）</li> <li>■ 屋内消火栓+消火器（設備工事）</li> <li>■ 消火器ボックスA（全埋込）</li> <li>● 消火器ボックスB（露型）</li> </ul>	SS	網製シャッター	後半工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 2階平面図	図面番号  A022
							縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	



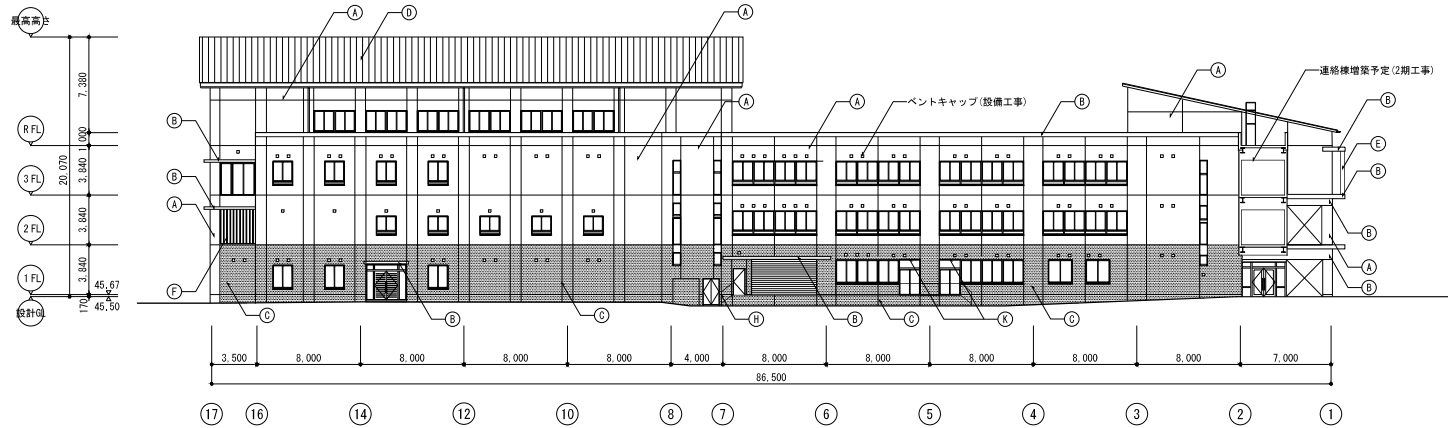
凡例	■ 屋内消火栓 (設備工事)	SS	網状シャッター	後半工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号
	■ 屋内消火栓+消火器 (設備工事)						図面名称 <前半工事> 3階平面図	A023
	■ 消火器ボックスA (全埋込)						縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
	● 消火器ボックスB (露型)							



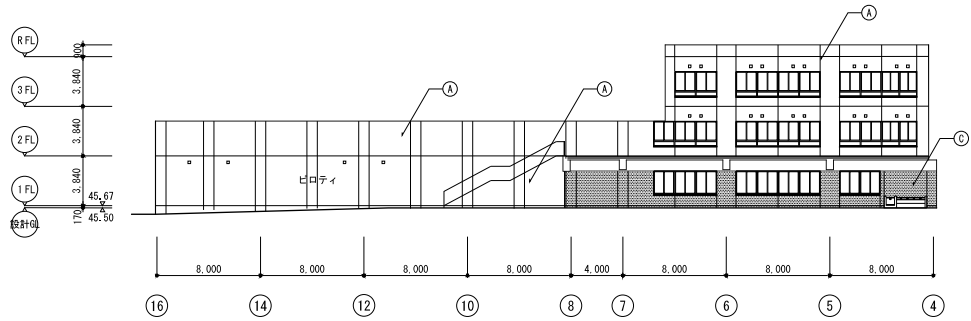
凡例	屋内消火栓 (設備工事)	SS	網製シャッター	後半工事範囲	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 屋上階平面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A024
	屋内消火栓+消火器 (設備工事)						
	消火器ボックスA (全埋込)						
	消火器ボックスB (露型)						



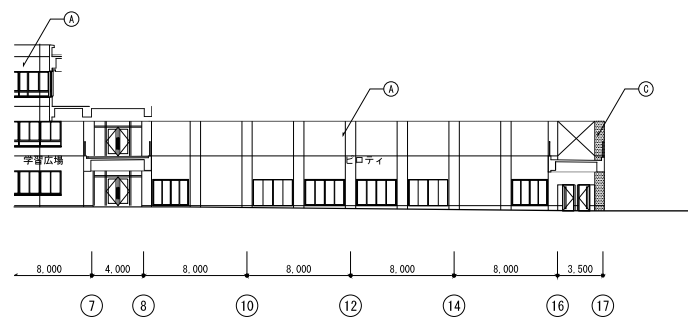
南立面図



北立面図



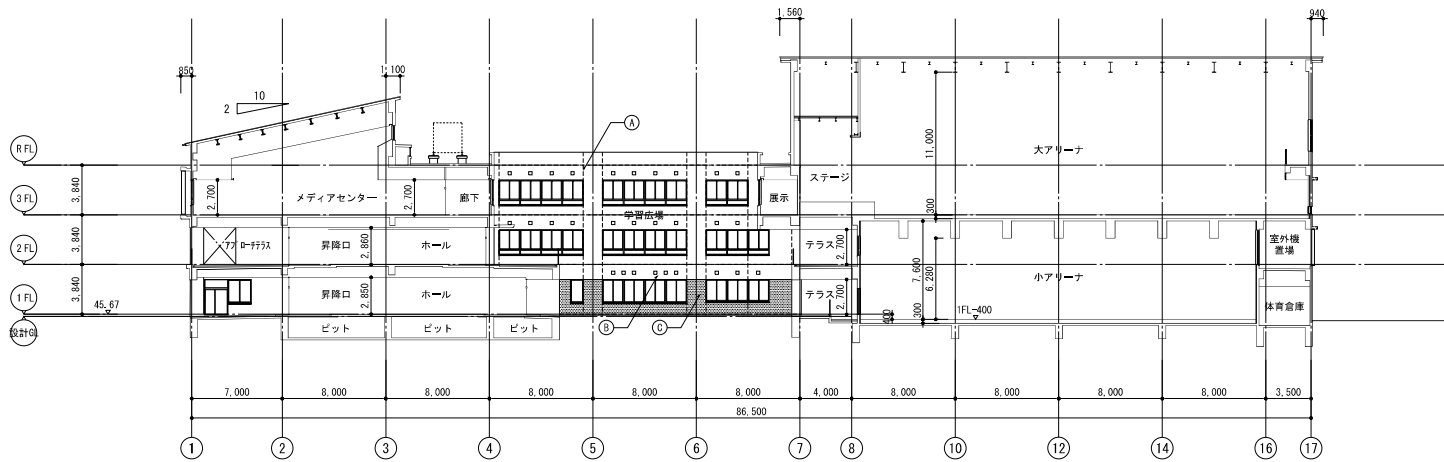
学習広場・ピロティ立面図



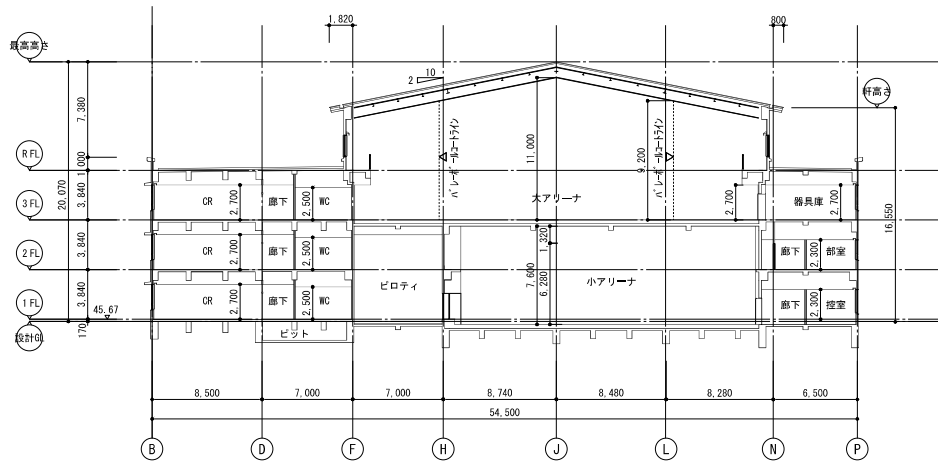
学習広場・ピロティ立面図

① 外装吹付材A	⑤ ECPルーバー	⑨ 外部手摺2								作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号	
② 外装吹付材B	⑥ アルミルーバー	⑩ 外部手摺1										図面名称	<前半工事>	A025	
③ RC打敷し(A)の上カラークリア	⑦ アルミサンドレール	⑪ アルミ庇										立面図	その1		
④ 金属屋根	⑧ 転落防止手摺											縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400		

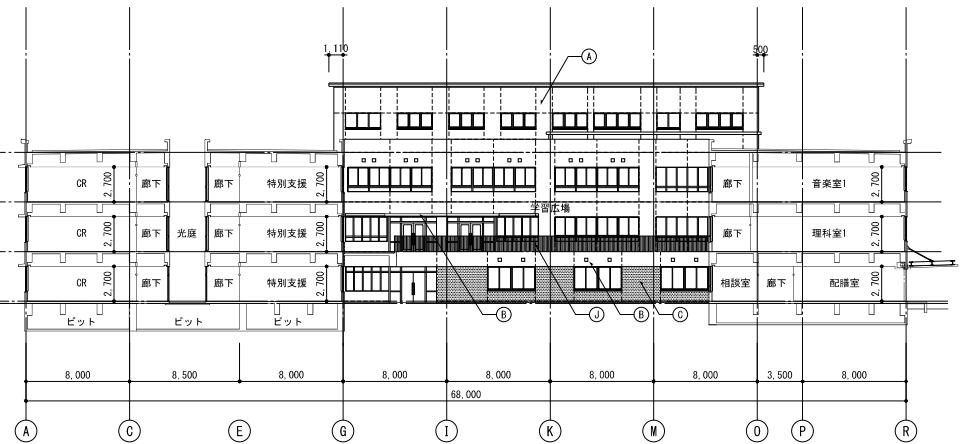




イ - イ 断面図

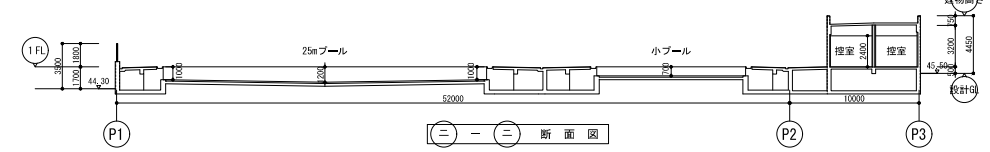
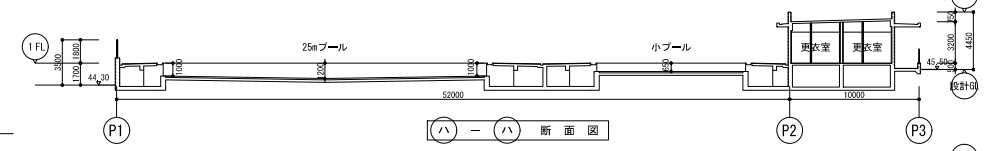
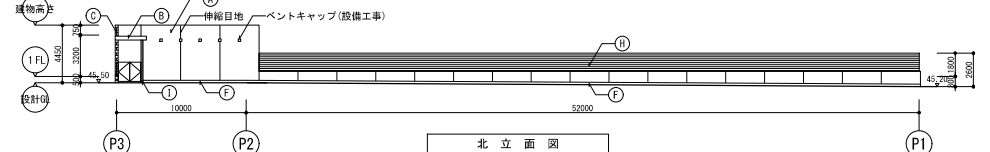
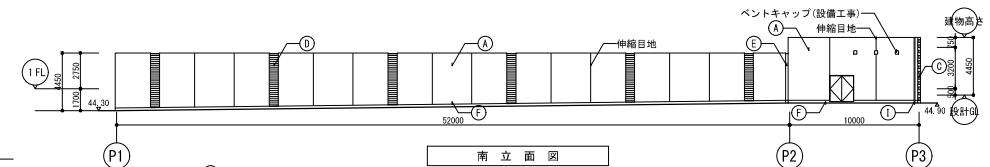
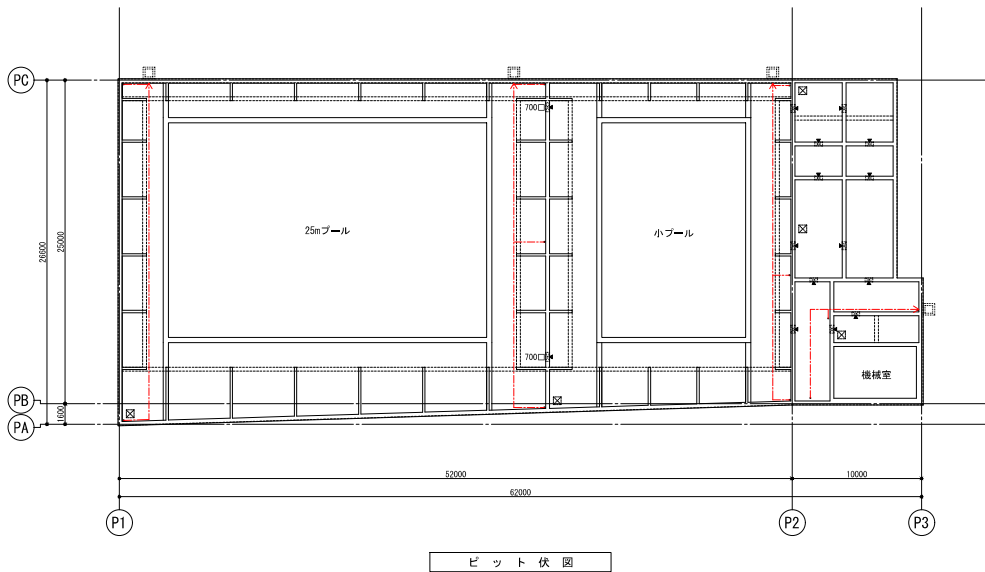
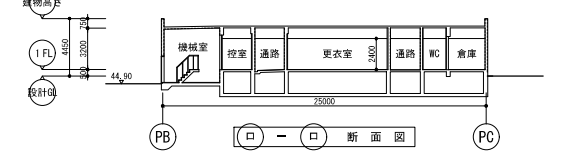
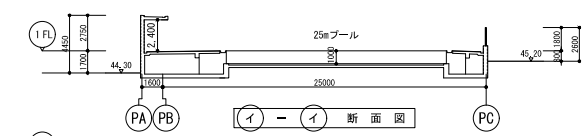
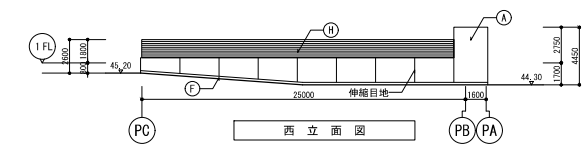
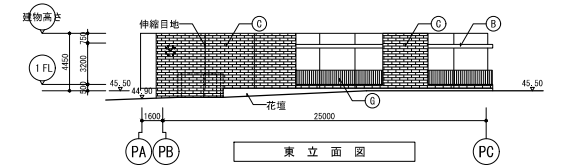
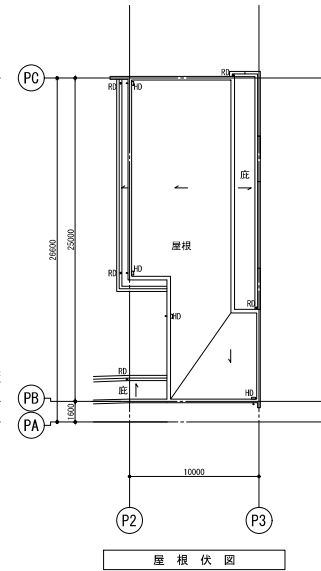
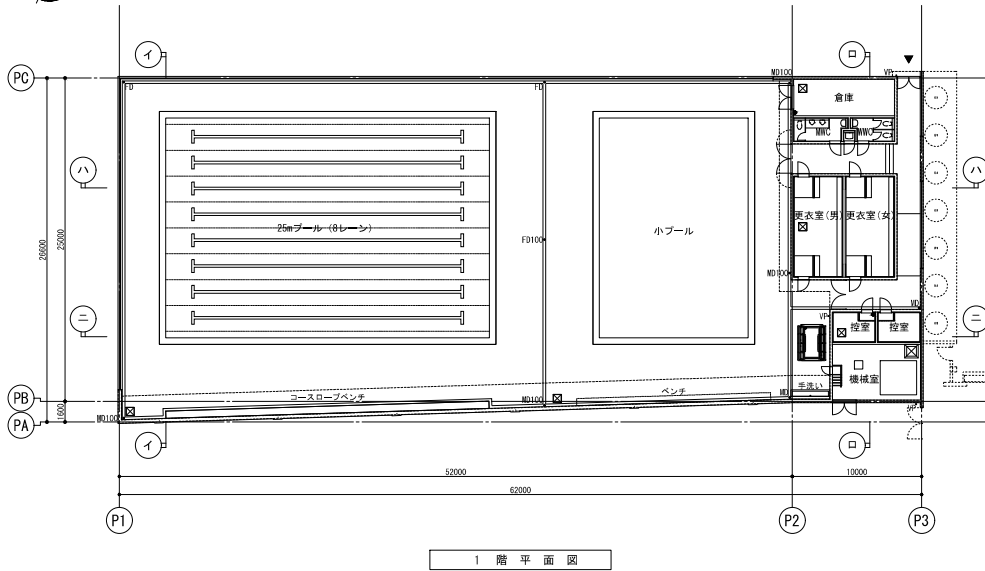


ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図

<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⓐ 外装吹付材A</li> <li>Ⓑ 外装吹付材B</li> <li>Ⓒ RC打放し(A)の上カラークリア</li> <li>Ⓓ 金属屋根</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Ⓔ FGPルーバー</li> <li>Ⓕ アルミルーバー</li> <li>Ⓖ アルミスサンドレル</li> <li>Ⓗ 落下防止手摺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 外部手摺?</li> <li>② 外部手摺!</li> </ul>	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A027
--	---	--	----------------	--	--------------



<b>平面図凡例</b> ① 換気口(ラップ4段付) ② 大天井 特形ない張り 600φ (VP用) ③ 大天井 (VPφ100準則)及び通気管 (VPφ100) 6号2ヶ所 ④ 縦どい ⑤ 特形ない張り VP75	• R ルードドレン 特形ない張り VPに準ずる • ID 縦引きドレン 特形ない張り VPに準ずる • MD 中継ドレン 特形ない張り VPに準ずる	• FD フロアドレン 特形ない張り VPに準ずる 標準部所定までの標準仕様 特形ない張り VP150 • 消火栓ボックスB(壁型)	<b>立面図凡例</b> ① 外装收付材 ② 外装收付材 ③ 外装タイル張り ④ RCリブ付き型枠打放し(A)の上カラークリア ⑤ RC打放し(A)の上カラークリア ⑥ RC打放し(A)の上構木材度布 ⑦ 外部平部 ⑧ 目隠しフェンス ⑨ 塩ビ製壁種	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> プール棟 平面図・立面図・断面図 幅尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A028
--	--	--	--	----------------	--	--------------

---

令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事  
＜後半工事＞

---

建築				解体				構造			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A301	目次 その1	A371	既存校舎 2階展開図(撤去)その2	A441	建具表(改修・新築)その3	K101	解体特記仕様書 その1	S201	構造特記仕様書 その1		
A302	目次 その2	A372	既存校舎 2階展開図(撤去)その3	A442	建具詳細図 その1	K102	解体特記仕様書 その2	S202	構造特記仕様書 その2		
A303	設計概要・外部仕上表・付近見取図	A373	既存校舎 2階展開図(撤去)その4	A443	建具撤去概要図 その2	K103	解体撤去概要図 その1	S203	鉄筋コンクリート標準図 その1		
A304	改修特記仕様書 その1	A374	既存校舎 2階展開図(撤去)その5	A444	家具配置図	K104	解体撤去概要図 その2	S204	鉄筋コンクリート標準図 その2		
A305	改修特記仕様書 その2	A375	既存校舎 2階平面図(改修)その1	A445	家具詳細図 その1	K105	解体図 その1(大階段)	S205	鉄筋コンクリート標準図 その3		
A306	改修特記仕様書 その3	A376	既存校舎 2階平面図(改修)その2	A446	家具詳細図 その2	K106	解体図 その2(大階段)	S206	鉄筋コンクリート標準図 その4		
A307	改修特記仕様書 その4	A377	既存校舎 2階平面図(改修)その3	A447	家具詳細図 その3	K107	解体図 その3(大階段)	S207	壁式鉄筋コンクリート標準図		
A308	改修特記仕様書 その5	A378	既存校舎 2階展開図(改修)その1	A448	家具詳細図 その4	K108	解体図 その4(大階段)	S208	鉄骨標準図		
A309	改修特記仕様書 その6	A379	既存校舎 2階展開図(改修)その2	A449	家具詳細図 その5	K109	解体図 その5(大階段)	S209	溶接標準図		
A310	改修特記仕様書 その7	A380	既存校舎 2階展開図(改修)その3	A450	家具詳細図 その6	K110	解体図 その6(大階段)	S210	型枠用デッキプレート標準図		
A311	改修特記仕様書 その8	A381	既存校舎 2階展開図(改修)その4	A451	家具詳細図 その7	K111	解体図 その7(大階段)	S211	合成スラブ用デッキプレート標準図		
A312	工事区分表	A382	既存校舎 2階展開図(改修)その5	A452	家具詳細図 その8	K112	解体図 その8(大階段)	S212	露出柱脚工法標準図 その1		
A313	敷地求積図	A383	既存校舎 3階平面図(撤去)その1	A453	家具詳細図 その9	K113	解体図 その9(大階段)	S213	露出柱脚工法標準図 その2		
A314	建物求積図(改修) その1	A384	既存校舎 3階平面図(撤去)その2	A454	家具詳細図 その10	K114	解体図 その10(大階段)	S214	土質柱状図 その1		
A315	建物求積図(改修) その2	A385	既存校舎 3階平面図(撤去)その3	A455	黒板他詳細図	K115	解体図 その11(大階段)	S215	土質柱状図 その2		
A316	内部仕上表(改修) その1	A386	既存校舎 3階展開図(撤去)その1	A456	金属庫庫詳細図	K116	解体図 その12(EV棟)	S216	土質柱状図 その3		
A317	内部仕上表(改修) その2	A387	既存校舎 3階展開図(撤去)その2	A457	EOPパネル詳細図	K117	解体図 その13(EV棟)	S217	地盤改良特記仕様書 その1		
A318	内部仕上表(改修) その3	A388	既存校舎 3階展開図(撤去)その3	A458	E X P、J金物詳細図 その1	K118	解体図 その14(EV棟)	S218	地盤改良特記仕様書 その2		
A319	現況図	A389	既存校舎 3階展開図(撤去)その4	A459	E X P、J金物詳細図 その2	K119	解体図 その15(EV棟)	S219	鋼管杭特記仕様書・標準図		
A320	配置図	A390	既存校舎 3階展開図(撤去)その5	A460	E X P、J金物詳細図 その3	K120	解体図 その16(EV棟)	S251	連絡棟 伏図・軸組図		
A321	付属棟 平面図・立面図・断面図	A391	既存校舎 3階平面図(改修)その1	A461	昇降機設備詳細図 その1	K121	解体図 その17(EV棟)	S252	連絡棟 断面表 その1・配筋筋詳細図		
A322	既存校舎・技術棟 現況平面図 その1	A392	既存校舎 3階平面図(改修)その2	A462	昇降機設備詳細図 その2	K122	解体図 その18(EV棟)	S253	連絡棟 断面表 その2		
A323	既存校舎・技術棟 現況平面図 その2	A393	既存校舎 3階平面図(改修)その3	A463	サイン配置図 その1	K123	解体図 その19(EV棟)	S254	連絡棟 鉄骨詳細図 その1		
A324	既存校舎・技術棟 現況平面図 その3	A394	既存校舎 3階展開図(改修)その1	A464	サイン配置図 その2	K124	解体図 その20(EV棟)	S255	連絡棟 鉄骨詳細図 その2		
A325	既存校舎・技術棟 現況立面図	A395	既存校舎 3階展開図(改修)その2	A465	サイン詳細図 その1	K125	解体図 その21(体育館)	S301	駐輪場 床伏図		
A326	既存校舎・技術棟 現況断面図	A396	既存校舎 3階展開図(改修)その3	A466	サイン詳細図 その2	K126	解体図 その22(体育館)	S302	駐輪場 軸組図・断面表		
A327	既存校舎・技術棟 改修平面図 その1	A397	既存校舎 3階展開図(改修)その4	A467	仮設計計画図(工事ステップ図) その1	K127	解体図 その23(体育館)	S303	駐輪場 鉄骨詳細図		
A328	既存校舎・技術棟 改修平面図 その2	A398	既存校舎 3階展開図(改修)その5	A468	仮設計計画図(工事ステップ図) その2	K128	解体図 その24(体育館)	S401	EV棟 床伏図		
A329	既存校舎・技術棟 改修平面図 その3	A399	既存校舎 4階平面図(撤去)その1			K129	解体図 その25(体育館)	S402	EV棟 軸組図		
A330	既存校舎・技術棟 改修立面図	A400	既存校舎 4階平面図(撤去)その2			K130	解体図 その26(体育館)	S403	EV棟 RO断面表・詳細図		
A331	既存校舎・技術棟 改修断面図	A401	既存校舎 4階平面図(撤去)その3			K131	解体図 その27(体育館)	S404	EV棟 S断面表・詳細図		
A332	部分詳細図 その1	A402	既存校舎 4階展開図(撤去)その1			K132	解体図 その28(体育館)	S501	部室棟 床伏図		
A333	部分詳細図 その2	A403	既存校舎 4階展開図(撤去)その2			K133	解体図 その29(体育館)	S502	部室棟 軸組図		
A334	部分詳細図 その3	A404	既存校舎 4階展開図(撤去)その3			K134	解体図 その30(体育館)	S503	部室棟 断面表		
A335	部分詳細図 その4	A405	既存校舎 4階展開図(撤去)その4			K135	解体図 その31(体育館)				
A336	部分詳細図 その5	A406	既存校舎 4階展開図(撤去)その5			K136	解体図 その32(体育館)	S601	既存校舎 構造改修特記仕様書 その1		
A337	部分詳細図 その6	A407	既存校舎 4階平面図(改修)その1			K137	解体図 その33(体育館)	S602	既存校舎 構造改修特記仕様書 その2		
A338	部分詳細図 その7(追加)	A408	既存校舎 4階平面図(改修)その2			K138	解体図 その34(体育館)	S603	既存校舎 構造改修標準図 その1		
A339	連絡棟詳細図 その1	A409	既存校舎 4階平面図(改修)その3			K139	解体図 その35(体育倉庫棟)	S604	既存校舎 構造改修標準図 その2		
A340	連絡棟詳細図 その2	A410	既存校舎 4階展開図(改修)その1			K140	解体図 その36(体育倉庫棟)	S605	既存校舎 構造改修標準図 その3		
A341	連絡棟詳細図 その3	A411	既存校舎 4階展開図(改修)その2			K141	解体図 その37(体育倉庫棟)	S606	既存校舎 基礎伏図		
A342	連絡棟詳細図 その4	A412	既存校舎 4階展開図(改修)その3			K142	解体図 その38(体育倉庫棟)	S607	既存校舎 1階床梁伏図		
A343	E V棟詳細図	A413	既存校舎 4階展開図(改修)その4			K143	解体図 その39(体育倉庫棟)	S608	既存校舎 2階床梁伏図		
A344	部室棟詳細図 その1	A414	既存校舎 4階展開図(改修)その5			K144	解体図 その40(体育倉庫棟)	S609	既存校舎 3階床梁伏図		
A345	部室棟詳細図 その2	A415	既存校舎 階段E断面図(撤去)			K145	解体図 その41(体育倉庫棟)	S610	既存校舎 4階床梁伏図		
A346	部室棟詳細図 その3	A416	既存校舎 階段F断面図(撤去)			K146	解体図 その42(体育倉庫棟)	S611	既存校舎 R・PHR階床梁伏図		
A347	駐輪場・渡り廊下詳細図 その1	A417	既存校舎 階段E断面図(改修)			K147	解体図 その43(体育倉庫棟)	S612	既存校舎 軸組図(1)		
A348	駐輪場・渡り廊下詳細図 その2	A418	既存校舎 階段F断面図(改修)			K148	解体図 その44(体育倉庫棟)	S613	既存校舎 軸組図(2)		
A349	既存校舎 矩計図(撤去)	A419	技術棟 矩計図(撤去・改修)			K149	解体図 その45(体育倉庫棟)	S614	既存校舎 軸組図(3)		
A350	既存校舎 矩計図(改修)	A420	技術棟 平面図(撤去)			K150	解体図 その46(体育倉庫棟)	S615	既存校舎 軸組図(4)		
A351	既存校舎 1階平面図(撤去)その1	A421	技術棟 展開図(撤去)	A501	外構平面図	K151	解体図 その47(体育倉庫棟)	S616	既存校舎 軸組図(5)		
A352	既存校舎 1階平面図(撤去)その2	A422	技術棟 平面図(改修)	A502	外構雨水排水図	K152	解体図 その48(体育倉庫棟)	S617	既存校舎 軸組図(6)		
A353	既存校舎 1階平面図(撤去)その3	A423	技術棟 展開図(改修)	A503	外構詳細図 その1	K153	解体図 その49(体育倉庫棟)	S618	既存校舎 補強詳細図(1)		
A354	既存校舎 1階展開図(撤去)その1	A424	天井伏図(既存)その1	A504	外構詳細図 その2	K154	解体図 その50(体育倉庫棟)	S619	既存校舎 補強詳細図(2)		
A355	既存校舎 1階展開図(撤去)その2	A425	天井伏図(既存)その2	A505	外構詳細図 その3	K155	解体図 その51(体育倉庫棟)	S620	既存校舎 補強詳細図(3)		
A356	既存校舎 1階展開図(撤去)その3	A426	天井伏図(改修)その1	A506	外構詳細図 その4	K156	解体図 その52(体育倉庫棟)	S621	既存校舎 補強詳細図(4)		
A357	既存校舎 1階展開図(撤去)その4	A427	天井伏図(改修)その2	A507	外構詳細図 その5	K157	解体図 その53(駐輪場1～3)	S622	既存校舎 既存部材リスト(1)		
A358	既存校舎 1階展開図(撤去)その5	A428	雨水排水・防水範囲図	A508	外構詳細図 その6	K158	解体図 その54(仮設駐輪場1・2 渡り廊下1)	S623	既存校舎 既存部材リスト(2)		
A359	既存校舎 1階平面図(改修)その1	A429	改修建具特記仕様書 その1	A509	外構詳細図 その7	K159	解体図 その55(渡り廊下2)	S624	既存校舎 既存部材リスト(3)		
A360	既存校舎 1階平面図(改修)その2	A430	改修建具特記仕様書 その2	A510	外構詳細図 その8	K160	解体図 その56(渡り廊下2)	S625	既存校舎 既存部材リスト(4)		
A361	既存校舎 1階平面図(改修)その3	A431	建具伏図(撤去)その1	A511	外構詳細図 その9		(以下、電気設備・機械設備関連)	S626	既存校舎 既存部材リスト(5)		
A362	既存校舎 1階展開図(改修)その1	A432	建具伏図(撤去)その2	A512	外構詳細図 その10	K161	解体撤去(体育館棟 分電盤 結線図 照明器具姿図)	S627	既存校舎 既存部材リスト(6)		
A363	既存校舎 1階展開図(改修)その2	A433	建具表(撤去)その1	A513	外構詳細図 その11	K162	解体撤去 体育館1階平面図	S628	既存校舎 旧補強(H,12年)詳細図(1)		
A364	既存校舎 1階展開図(改修)その3	A434	建具表(撤去)その2	A514	外構詳細図 その12	K163	解体撤去 体育館2階平面図	S629	既存校舎 旧補強(H,12年)詳細図(2)		
A365	既存校舎 1階展開図(改修)その4	A435	建具表(撤去)その3	A515	外構詳細図 その13	K164	解体撤去 体育倉庫棟1・2階平面図	S630	既存校舎 旧補強(H,12年)詳細図(3)		
A366	既存校舎 1階展開図(改修)その5	A436	建具表(撤去)その4	A516	外構詳細図 その14	K165	撤去工事 換気設備 既存体育館平面図	S631	既存校舎 旧補強(H,12年)詳細図(4)		
A367	既存校舎 2階平面図(撤去)その1	A437	建具伏図(改修・新築)その1			K166	撤去工事 衛生設備 既存体育館屋外配管図・詳細図				
A368	既存校舎 2階平面図(撤去)その2	A438	建具伏図(改修・新築)その2			K167	撤去工事 衛生設備 既存体育館平面図				
A369	既存校舎 2階平面図(撤去)その3	A439	建具表(改修・新築)その1								
A370	既存校舎 2階展開図(撤去)その1	A440	建具表(改修・新築)その2								
				図面番号	図面名称	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 目次 その1	図面番号 A301		
								縮尺 A1: - A3: -			

電 気 設 備				機 械 設 備			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
E501	電気設備特記仕様書 その1	E713	1階会議室 映像設備 機器図	M401	機械設備特記仕様書 その1		
E502	電気設備特記仕様書 その2	E714	3階音楽室3 AV設備 機器図	M402	機械設備特記仕様書 その2		
E503	凡例	E715	改修 既存校舎 緊急インターホン・映像設備 1・2階平面図	M403	機械設備特記仕様書 その3		
E504	撤去 構内配電線路図	E716	改修 既存校舎 緊急インターホン・映像設備 3・4階平面図	M404	機械設備特記仕様書 その4		
E505	撤去 構内通信線路図	E717	改修 既存技術棟 緊急インターホン設備 平面図	M405	標準図		
E506	改修 構内配電線路図	E718	拡声設備 システム図・機器図(1)	M501	部室棟 換気設備 機器表		
E507	改修 構内通信線路図	E719	拡声設備 機器図(2)	M502	部室棟 換気設備 平面図		
E508	改修・撤去 変電設備 単線結線図	E720	拡声設備 機器図(3)	M503	部室棟 衛生設備 機器表・衛生器具表		
E509	改修・撤去 配電盤リスト	E721	拡声設備 系統図	M504	部室棟 衛生設備 部室棟廻り屋外配管図		
E510	撤去 幹線リスト	E722	改修・撤去 既存校舎 拡声設備 1階平面図	M505	部室棟 衛生設備 平面図・詳細図		
E511	改修 幹線リスト	E723	改修・撤去 既存校舎 拡声設備 2階平面図	M601	既存校舎 空調設備 機器表(1)		
E512	撤去 動力盤結線図・警報盤リスト・動力盤リスト	E724	改修・撤去 既存校舎 拡声設備 3階平面図	M602	既存校舎 空調設備 機器表(2)		
E513	改修 動力盤結線図・動力盤リスト	E725	改修・撤去 既存校舎 拡声設備 4階平面図	M603	既存校舎 空調設備 系統図(配管)		
E514	撤去 分電盤リスト(1)	E726	撤去 既存技術棟 拡声設備 平面図	M604	既存校舎 空調設備 1階平面図(配管)		
E515	撤去 分電盤リスト(2)	E727	改修 既存技術棟 拡声設備 平面図	M605	既存校舎 空調設備 2階平面図(配管)		
E516	撤去 分電盤リスト(3)	E728	自動火災報知設備 特記仕様書	M606	既存校舎 空調設備 3階平面図(配管)		
E517	改修 分電盤リスト(1)	E729	自動火災報知設備 点数リスト	M607	既存校舎 空調設備 4階平面図(配管)		
E518	改修 分電盤リスト(2)	E730	自動火災報知設備 系統図	M608	既存校舎 空調設備 技術棟平面図		
E519	改修 分電盤リスト(3)	E731	改修・撤去 既存校舎 自動火災報知設備 1階平面図	M609	既存校舎 空調設備 1階平面図(配線)		
E520	改修 分電盤リスト(4)	E732	改修・撤去 既存校舎 自動火災報知設備 2階平面図	M610	既存校舎 空調設備 2階平面図(配線)		
E521	改修 分電盤リスト(5)	E733	改修・撤去 既存校舎 自動火災報知設備 3階平面図	M611	既存校舎 空調設備 3階平面図(配線)		
E601	改修・撤去 既存校舎 幹線・動力・空調換気設備 1階平面図	E734	改修・撤去 既存校舎 自動火災報知設備 4階平面図	M612	既存校舎 空調設備 4階平面図(配線)		
E602	改修・撤去 既存校舎 幹線・動力・空調換気設備 2階平面図	E735	改修・撤去 既存校舎 自動火災報知設備 R階平面図	M613	既存校舎 空調設備 技術棟平面図(配線)		
E603	改修・撤去 既存校舎 幹線・動力・空調換気設備 3階平面図	E736	撤去 既存技術棟 自動火災報知設備 平面図	M614	既存校舎 換気設備 1階平面図		
E604	改修・撤去 既存校舎 幹線・動力・空調換気設備 4階平面図	E737	改修 既存技術棟 自動火災報知設備 平面図	M615	既存校舎 換気設備 2階平面図		
E605	撤去 既存技術棟 幹線動力・空調換気設備 平面図	E801	幹線・動力・空調換気電源・電灯・コンセント設備 部室棟 平面図	M616	既存校舎 換気設備 3階平面図		
E606	改修 既存技術棟 幹線動力・空調換気設備 平面図	E802	拡声・自動火災報知設備部室棟 平面図	M617	既存校舎 換気設備 4階平面図		
E607	改修 照明器具図	E803	電灯設備 駐輪場 平面図	M618	既存校舎 換気設備 技術棟平面図		
E608	撤去 既存校舎 電灯設備 1階平面図(1)	E901	改修 既存校舎 防火区画 1・2階平面図	M701	既存校舎 衛生設備 機器表・衛生器具表		
E609	撤去 既存校舎 電灯設備 1階平面図(2)	E902	改修 既存校舎 防火区画 3・4階平面図	M702	既存校舎 衛生設備 屋外配管図・詳細図		
E610	撤去 既存校舎 電灯設備 2階平面図(1)			M703	既存校舎 衛生設備 1階平面図		
E611	撤去 既存校舎 電灯設備 2階平面図(2)			M704	既存校舎 衛生設備 2階平面図		
E612	撤去 既存校舎 電灯設備 3階平面図(1)			M705	既存校舎 衛生設備 3・4階平面図		
E613	撤去 既存校舎 電灯設備 3階平面図(2)			M706	既存校舎 衛生設備 R階平面図		
E614	撤去 既存校舎 電灯設備 4階平面図(1)			M707	既存校舎 衛生設備 詳細図(1)		
E615	撤去 既存校舎 電灯設備 4階平面図(2)			M708	既存校舎 衛生設備 詳細図(2)		
E616	撤去 既存校舎 電灯設備 R階平面図			M709	既存校舎 衛生設備 詳細図(3)		
E617	改修 既存校舎 電灯設備 1階平面図(1)			M710	既存校舎 衛生設備 詳細図(4)		
E618	改修 既存校舎 電灯設備 1階平面図(2)			M711	既存校舎 衛生設備 詳細図(5)		
E619	改修 既存校舎 電灯設備 2階平面図(1)			M712	既存校舎 衛生設備 技術棟詳細図		
E620	改修 既存校舎 電灯設備 2階平面図(2)			M801	既存校舎 空調設備 機器表(撤去)		
E621	改修 既存校舎 電灯設備 3階平面図(1)			K802	既存校舎 空調設備 系統図(配管)(撤去)		
E622	改修 既存校舎 電灯設備 3階平面図(2)			K803	既存校舎 空調設備 1階平面図(配管)(撤去)		
E623	改修 既存校舎 電灯設備 4階平面図(1)			K804	既存校舎 空調設備 2階平面図(配管)(撤去)		
E624	改修 既存校舎 電灯設備 4階平面図(2)			K805	既存校舎 空調設備 3階平面図(配管)(撤去)		
E625	改修 既存校舎 電灯設備 R階平面図			K806	既存校舎 空調設備 4階平面図(配管)(撤去)		
E626	撤去 既存技術棟 電灯設備 平面図			K807	既存校舎 空調設備 技術棟平面図(配管)(撤去)		
E627	改修 既存技術棟 電灯設備 平面図			K808	既存校舎 空調設備 1階平面図(配線)(撤去)		
E628	改修・撤去 既存校舎 コンセント設備 1階平面図			K809	既存校舎 空調設備 2階平面図(配線)(撤去)		
E629	改修・撤去 既存校舎 コンセント設備 2階平面図			K810	既存校舎 空調設備 3階平面図(配線)(撤去)		
E630	改修・撤去 既存校舎 コンセント設備 3階平面図			K811	既存校舎 空調設備 4階平面図(配線)(撤去)		
E631	改修・撤去 既存校舎 コンセント設備 4階平面図			K812	既存校舎 空調設備 技術棟平面図(配線)(撤去)		
E632	撤去 既存技術棟 コンセント設備 平面図			K813	既存校舎 換気設備 1階平面図(撤去)		
E633	改修 既存技術棟 コンセント設備 平面図			K814	既存校舎 換気設備 2階平面図(撤去)		
E634	雷保護設備 機器詳細図			K815	既存校舎 換気設備 3階平面図(撤去)		
E635	改修 既存校舎 雷保護設備 立面図			K816	既存校舎 換気設備 4階平面図(撤去)		
E636	改修 既存校舎 雷保護設備 1階平面図			K817	既存校舎 換気設備 技術棟平面図(撤去)		
E637	改修 既存校舎 雷保護設備 R階平面図			K901	既存校舎 衛生設備 屋外配管図(撤去)		
E701	改修・撤去 総合盤図・端子盤リスト			K902	既存校舎 衛生設備 系統図(撤去)		
E702	情報表示設備 機器図			K903	既存校舎 衛生設備 1階平面図(撤去)		
E703	トイレ呼出・インターホン設備 機器図・系統図			K904	既存校舎 衛生設備 2階平面図(撤去)		
E704	改修・撤去 既存校舎 弱電設備 1階平面図			K905	既存校舎 衛生設備 3・4階平面図(撤去)		
E705	改修・撤去 既存校舎 弱電設備 2階平面図			K906	既存校舎 衛生設備 R階平面図(撤去)		
E706	改修・撤去 既存校舎 弱電設備 3階平面図			K907	既存校舎 衛生設備 詳細図(1)(撤去)		
E707	改修・撤去 既存校舎 弱電設備 4階平面図			K908	既存校舎 衛生設備 詳細図(2)(撤去)		
E708	撤去 既存技術棟 弱電設備 平面図			K909	既存校舎 衛生設備 詳細図(3)(撤去)		
E709	改修 既存技術棟 弱電設備 平面図			K910	既存校舎 衛生設備 詳細図(4)(撤去)		
E710	緊急インターホン設備 機器図			K911	既存校舎 衛生設備 技術棟詳細図(撤去)		
E711	緊急インターホン設備 系統図						
E712	映像設備 機器図						

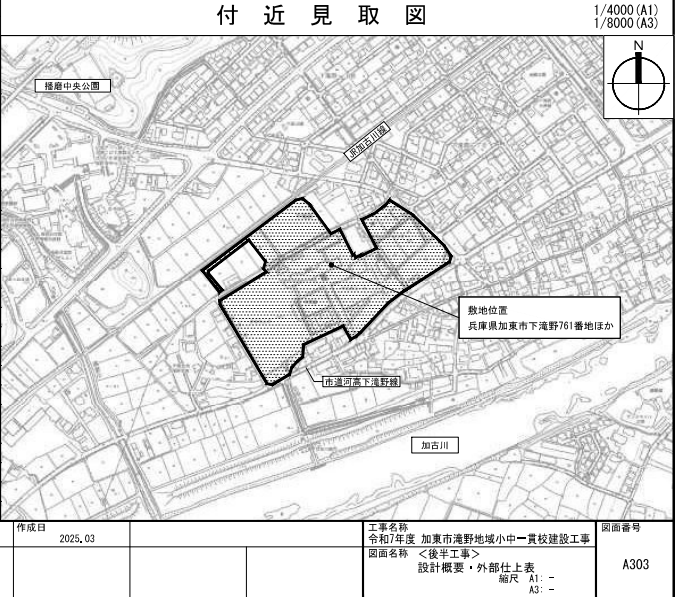
作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号	
		図面名称	<後半工事> 目次 その2		A302
			縮尺 A1:- A3:-		

設計概要

外部仕上表

<p>1. 工事名称 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事</p>	<p>13. 面積</p>	<p>⑥、中学校教室棟</p>																																																																						
<p>2. 主要用途 小学校・中学校</p>	<p>イ、建築面積 本工事部分 2,482.99 m<sup>2</sup> 本工事以外の部分 2,006.19 m<sup>2</sup> (合計) 4,489.18 m<sup>2</sup> <del>7,008.60 m<sup>2</sup> 建築率 10.06%</del></p>	<p>1) 屋根 屋上 シート防水 バルコニー、庇 塗膜防水</p>																																																																						
<p>3. 敷地位置 兵庫県加東市下滝野761番地ほか</p>	<p>ロ、延べ面積 本工事部分 5,038.93 m<sup>2</sup> 本工事以外の部分 1,420.57 m<sup>2</sup> (合計) 6,459.50 m<sup>2</sup></p>	<p>2) 外壁 一般部 外装吹付材C 3) 外部建具 一般部 既存サッシカバー工法改修 BB-2種</p>																																																																						
<p>4. 工事種別 増築・改修</p>	<p>ハ、自転車置場床面積 579.60 m<sup>2</sup></p>	<p>4) 床 1階中央ホール 床用タイルA 5) 天井 軒天 リシン吹付</p>																																																																						
<p>5. 区域の指定 市街化調整区域 (R6年時点) → 市街化区域 (R8年3月予定)</p>	<p>ニ、エレベーター昇降路の面積 87.89 m<sup>2</sup></p>	<p>⑦、連絡通路棟</p>																																																																						
<p>6. 用途地域の指定 指定なし (R6年時点) → 第一種中高層住居専用地域 (R8年3月予定) 許容建ぺい率 : 60% 許容容積率 : 200%</p>	<p>ホ、容積対象延べ面積 1,694.02 m<sup>2</sup> <del>容積率 89.47%</del></p>	<p>1) 屋根 屋上 複合塗膜防水 2) 外壁 一般部 押出成形セメント板の上外装吹付材A</p>																																																																						
<p>7. 防火地域の指定 指定なし (R6年時点) → 法22条区域 (R8年3月予定)</p>	<p>ヘ、各階面積表</p>	<p>3) 外部建具 一般部 アルミサッシ BB-2種 4) 床 2階アローチデッキ 床用タイルA 5) 天井 軒天 ケイ酸カルシウム板厚6+6(下壁の上接着工法)の上EP-G塗装</p>																																																																						
<p>8. その他の地区、地域の指定 道路斜線制限 : 1.5 (2.0m) (R6年時点) → 1.25 (2.0m) (R8年3月予定) 隣地斜線制限 : 1.25 (2.0m) 北側斜線 : なし (R6年時点) → 1.25 (1.0m) (R8年3月予定)</p>	<p>＜前半工事＞ 棟別各階床面積</p> <table border="1"> <tr> <th>階</th> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③バス停上屋</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>小計①</th> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>4397.55 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>3193.48 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>4393.06 m<sup>2</sup></td> <td>199.10 m<sup>2</sup></td> <td>0.00 m<sup>2</sup></td> <td>9.12 m<sup>2</sup></td> <td>2.73 m<sup>2</sup></td> <td>12183.19 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11984.09 m<sup>2</sup></td> <td>199.10 m<sup>2</sup></td> <td>0.00 m<sup>2</sup></td> <td>9.12 m<sup>2</sup></td> <td>2.73 m<sup>2</sup></td> <td>12195.00 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	階	①増築校舎	②プール棟	③バス停上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	小計①	3階	4397.55 m <sup>2</sup>						2階	3193.48 m <sup>2</sup>						1階	4393.06 m <sup>2</sup>	199.10 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	9.12 m <sup>2</sup>	2.73 m <sup>2</sup>	12183.19 m <sup>2</sup>	計	11984.09 m <sup>2</sup>	199.10 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	9.12 m <sup>2</sup>	2.73 m <sup>2</sup>	12195.00 m <sup>2</sup>	<p>⑧、EV棟</p> <p>1) 屋根 屋上 複合塗膜防水 2) 外壁 一般部 押出成形セメント板の上外装吹付材A 3) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																			
階	①増築校舎	②プール棟	③バス停上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	小計①																																																																		
3階	4397.55 m <sup>2</sup>																																																																							
2階	3193.48 m <sup>2</sup>																																																																							
1階	4393.06 m <sup>2</sup>	199.10 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	9.12 m <sup>2</sup>	2.73 m <sup>2</sup>	12183.19 m <sup>2</sup>																																																																		
計	11984.09 m <sup>2</sup>	199.10 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	9.12 m <sup>2</sup>	2.73 m <sup>2</sup>	12195.00 m <sup>2</sup>																																																																		
<p>9. その他の規制 なし</p>	<p>建築面積 4822.75 m<sup>2</sup> 331.52 m<sup>2</sup> 44.66 m<sup>2</sup> 9.12 m<sup>2</sup> 2.73 m<sup>2</sup> 12183.19 m<sup>2</sup> <del>12195.00 m<sup>2</sup></del> 5198.93 m<sup>2</sup> <del>5210.76 m<sup>2</sup></del></p>	<p>⑨、技術棟</p> <p>1) 屋根 屋上 改修なし 2) 外壁 一般部 外装吹付材C 3) 外部建具 一般部 既存サッシカバー工法改修 BB-2種 4) 天井 軒天 リシン吹付</p>																																																																						
<p>10. 敷地 50608.67 m<sup>2</sup> イ、敷地面積 ロ、前面道路幅員 ・北側 : 市道 5.8m (市道4070号) ・南側 : 市道 11.0m (市道1205号河高下滝野線) ・東側 : 市道 7.6m (市道4074号) ・西側 : 市道 4.0m (市道4070号)</p>	<p>＜後半工事＞ 棟別各階床面積</p> <table border="1"> <tr> <th>階</th> <th>⑥中学校教室棟</th> <th>⑦連絡通路棟</th> <th>⑧EV棟</th> <th>⑨技術棟</th> <th>⑩駐輪場</th> <th>⑪部室棟</th> <th>⑫ごみ庫</th> <th>⑬防災倉庫</th> <th>小計②</th> </tr> <tr> <td>R階</td> <td>27.96 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4階</td> <td>1023.97 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td>15.30 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>1023.97 m<sup>2</sup></td> <td>35.17 m<sup>2</sup></td> <td>15.30 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>1019.31 m<sup>2</sup></td> <td>42.17 m<sup>2</sup></td> <td>15.30 m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>935.84 m<sup>2</sup></td> <td>0.00 m<sup>2</sup></td> <td>15.30 m<sup>2</sup></td> <td>450.00 m<sup>2</sup></td> <td>579.60 m<sup>2</sup></td> <td>176.04 m<sup>2</sup></td> <td>10.33 m<sup>2</sup></td> <td>9.41 m<sup>2</sup></td> <td>5199.19 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4031.05 m<sup>2</sup></td> <td>77.34 m<sup>2</sup></td> <td>61.20 m<sup>2</sup></td> <td>450.00 m<sup>2</sup></td> <td>579.60 m<sup>2</sup></td> <td>176.04 m<sup>2</sup></td> <td>10.33 m<sup>2</sup></td> <td>9.41 m<sup>2</sup></td> <td>5204.97 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②	R階	27.96 m <sup>2</sup>									4階	1023.97 m <sup>2</sup>		15.30 m <sup>2</sup>							3階	1023.97 m <sup>2</sup>	35.17 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>							2階	1019.31 m <sup>2</sup>	42.17 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>							1階	935.84 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>	450.00 m <sup>2</sup>	579.60 m <sup>2</sup>	176.04 m <sup>2</sup>	10.33 m <sup>2</sup>	9.41 m <sup>2</sup>	5199.19 m <sup>2</sup>	計	4031.05 m <sup>2</sup>	77.34 m <sup>2</sup>	61.20 m <sup>2</sup>	450.00 m <sup>2</sup>	579.60 m <sup>2</sup>	176.04 m <sup>2</sup>	10.33 m <sup>2</sup>	9.41 m <sup>2</sup>	5204.97 m <sup>2</sup>	<p>⑩、駐輪場</p> <p>1) 屋根 屋上 折半屋根 フッ素ガルバリウム鋼板 2) 外壁 柱・梁 海龍産鉛めっきの上UP塗装 3) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>
階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②																																																															
R階	27.96 m <sup>2</sup>																																																																							
4階	1023.97 m <sup>2</sup>		15.30 m <sup>2</sup>																																																																					
3階	1023.97 m <sup>2</sup>	35.17 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>																																																																					
2階	1019.31 m <sup>2</sup>	42.17 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>																																																																					
1階	935.84 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	15.30 m <sup>2</sup>	450.00 m <sup>2</sup>	579.60 m <sup>2</sup>	176.04 m <sup>2</sup>	10.33 m <sup>2</sup>	9.41 m <sup>2</sup>	5199.19 m <sup>2</sup>																																																															
計	4031.05 m <sup>2</sup>	77.34 m <sup>2</sup>	61.20 m <sup>2</sup>	450.00 m <sup>2</sup>	579.60 m <sup>2</sup>	176.04 m <sup>2</sup>	10.33 m <sup>2</sup>	9.41 m <sup>2</sup>	5204.97 m <sup>2</sup>																																																															
<p>※イ、構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 増築校舎 鉄筋コンクリート造 プール棟 中学校教室棟、部室棟 鉄骨造 バス停上屋、体育倉庫、農具庫 EV棟、連絡通路、技術棟、駐輪場 鉄骨造 部室棟、ごみ庫、防災倉庫</p>	<p>建築面積 1091.18 m<sup>2</sup> 127.41 m<sup>2</sup> 15.30 m<sup>2</sup> 450.00 m<sup>2</sup> 579.60 m<sup>2</sup> 180.00 m<sup>2</sup> 10.33 m<sup>2</sup> 9.41 m<sup>2</sup> 2462.39 m<sup>2</sup> <del>2662.19 m<sup>2</sup></del></p>	<p>⑪、部室棟</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																																						
<p>ロ、地 増築校舎 : 直接基礎 (地盤改良併用)、EV棟 : 既設杭</p>	<p>※既存建物床面積</p> <table border="1"> <tr> <th>⑭入り廊下 (1)</th> <th>⑮危険物庫</th> <th>⑯物置 (1)</th> <th>⑰物置 (2)</th> <th>小計③</th> </tr> <tr> <td>構造-階数 S・IF</td> <td>CB・IF</td> <td>S・IF</td> <td>S・IF</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延床面積 0.00 m<sup>2</sup></td> <td>3.99 m<sup>2</sup></td> <td>4.78 m<sup>2</sup></td> <td>3.30 m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積 43.00 m<sup>2</sup></td> <td>3.99 m<sup>2</sup></td> <td>4.78 m<sup>2</sup></td> <td>3.30 m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </table>	⑭入り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)	小計③	構造-階数 S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF		延床面積 0.00 m <sup>2</sup>	3.99 m <sup>2</sup>	4.78 m <sup>2</sup>	3.30 m <sup>2</sup>		建築面積 43.00 m <sup>2</sup>	3.99 m <sup>2</sup>	4.78 m <sup>2</sup>	3.30 m <sup>2</sup>		<p>⑫、ごみ庫</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																		
⑭入り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)	小計③																																																																				
構造-階数 S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF																																																																					
延床面積 0.00 m <sup>2</sup>	3.99 m <sup>2</sup>	4.78 m <sup>2</sup>	3.30 m <sup>2</sup>																																																																					
建築面積 43.00 m <sup>2</sup>	3.99 m <sup>2</sup>	4.78 m <sup>2</sup>	3.30 m <sup>2</sup>																																																																					
<p>ハ、階 数 増築校舎 : 地上3階 プール棟、バス停上屋、体育倉庫、農具庫 : 地上1階</p>	<p>⑱物置 (3) ⑲物置 (4) ⑳物置 (5) 小計④ 合計 (①+②+③)</p> <table border="1"> <tr> <td>構造-階数 S・IF</td> <td>S・IF</td> <td>S・IF</td> <td></td> <td>17400.06 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>1階 1.07 m<sup>2</sup></td> <td>2.99 m<sup>2</sup></td> <td>1.55 m<sup>2</sup></td> <td>17.68 m<sup>2</sup></td> <td>17607.69 m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>建築面積 1.07 m<sup>2</sup></td> <td>2.99 m<sup>2</sup></td> <td>1.55 m<sup>2</sup></td> <td>60.68 m<sup>2</sup></td> <td>7722.00 m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	構造-階数 S・IF	S・IF	S・IF		17400.06 m <sup>2</sup>	1階 1.07 m <sup>2</sup>	2.99 m <sup>2</sup>	1.55 m <sup>2</sup>	17.68 m <sup>2</sup>	17607.69 m <sup>2</sup>	建築面積 1.07 m <sup>2</sup>	2.99 m <sup>2</sup>	1.55 m <sup>2</sup>	60.68 m <sup>2</sup>	7722.00 m <sup>2</sup>	<p>⑬、防災倉庫</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																							
構造-階数 S・IF	S・IF	S・IF		17400.06 m <sup>2</sup>																																																																				
1階 1.07 m <sup>2</sup>	2.99 m <sup>2</sup>	1.55 m <sup>2</sup>	17.68 m <sup>2</sup>	17607.69 m <sup>2</sup>																																																																				
建築面積 1.07 m <sup>2</sup>	2.99 m <sup>2</sup>	1.55 m <sup>2</sup>	60.68 m <sup>2</sup>	7722.00 m <sup>2</sup>																																																																				
<p>中、校舎高さ イ、設計G Lの指定 4.5、5.0 ロ、標準地盤面の設定 校舎棟 (45.349)、プール棟 (45.208)、部室棟 (44.956)、駐輪場 (45.389)、ごみ庫 (45.200)、技術棟 (45.283)、バス停上屋 (45.000)、体育倉庫 (45.126)、農具庫 (45.969)、防災倉庫 (45.208)</p>	<p>14. 工事範囲 ○ 本体工事 イ、建築工事 -1. 建築木体工事 -2. 外構・舗装工事 -3. 昇降機工事 -4. 解体・撤去工事 ロ、電気設備工事 ハ、給排水衛生設備工事 ニ、空調設備工事 ○ 別途工事 イ、備品家具工事 (图中特記外) ロ、カーテン・ブラインド工事</p>	<p>⑬、防災倉庫</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																																						
<p>ハ、建築物の高さ ＜令2条の六＞ ①増築校舎 : 標準地盤面 + 20.221 ⑥中学校教室棟 : 標準地盤面 + 23.211 ②プール棟 : 標準地盤面 + 4.742 (⑦連絡通路棟を含む) ③バス停上屋 : 標準地盤面 + 3.064 ⑧EV棟 : 標準地盤面 + 15.191 ④体育倉庫 : 標準地盤面 + 2.054 ⑨技術棟 : 標準地盤面 + 4.262 ⑤農具庫 : 標準地盤面 + 2.118 ⑩駐輪場 : 標準地盤面 + 4.911 ⑪部室棟 : 標準地盤面 + 4.495 ⑫ごみ庫 : 標準地盤面 + 2.110 ⑬防災倉庫 : 標準地盤面 + 2.466</p>	<p>15. 基礎 二、軒 高 ＜前半工事＞ ①増築校舎 : 標準地盤面 + 16.671 ⑥中学校教室棟 : 標準地盤面 + 16.711 ②プール棟 : 標準地盤面 + 3.992 (⑦連絡通路棟を含む) ③バス停上屋 : 標準地盤面 + 3.064 ⑧EV棟 : 標準地盤面 + 14.991 ④体育倉庫 : 標準地盤面 + 2.054 ⑨技術棟 : 標準地盤面 + 3.877 ⑤農具庫 : 標準地盤面 + 2.118 ⑩駐輪場 : 標準地盤面 + 2.850 ⑪部室棟 : 標準地盤面 + 3.745 ⑫ごみ庫 : 標準地盤面 + 2.110 ⑬防災倉庫 : 標準地盤面 + 2.466</p>	<p>⑬、防災倉庫</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																																						
<p>ニ、軒 高 ①増築校舎 : 標準地盤面 + 16.671 ⑥中学校教室棟 : 標準地盤面 + 16.711 ②プール棟 : 標準地盤面 + 3.992 (⑦連絡通路棟を含む) ③バス停上屋 : 標準地盤面 + 3.064 ⑧EV棟 : 標準地盤面 + 14.991 ④体育倉庫 : 標準地盤面 + 2.054 ⑨技術棟 : 標準地盤面 + 3.877 ⑤農具庫 : 標準地盤面 + 2.118 ⑩駐輪場 : 標準地盤面 + 2.850 ⑪部室棟 : 標準地盤面 + 3.745 ⑫ごみ庫 : 標準地盤面 + 2.110 ⑬防災倉庫 : 標準地盤面 + 2.466</p>	<p>ホ、基礎 深 さ 1F基礎下端、増築校舎 : 標準地盤面 - 1.879、EV棟 : 標準地盤面 - 1.489</p>	<p>⑬、防災倉庫</p> <p>1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上外装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種</p>																																																																						
<p>ホ、基礎 深 さ 1F基礎下端、増築校舎 : 標準地盤面 - 1.879、EV棟 : 標準地盤面 - 1.489</p>	<p>作成日 2025.03</p>	<p>工事名称 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 図面名称 &lt;後半工事&gt; 設計概要・外部仕上表 縮尺 A1: - A3: -</p>																																																																						
<p>図面番号 A303</p>	<p>図面名称 &lt;後半工事&gt; 設計概要・外部仕上表</p>	<p>図面番号 A303</p>																																																																						

付近見取図





②完成図等 (1.7.1~2)(表1.7.1)
完成時の提出書類 ※東建建築事務所「監理書類作成要領」による。
※発注者の指定による
完成図の作成方法 ※CAD(CADデータの提出 ※要 ・不要)
※発注者の指定による
③概金に関する資料
提出部数 ※1部 ( )部 (1.7.3)
④工事写真等
下記により工事写真・竣工写真を撮影し、提出する。(1.2.4)
撮影時期 撮影箇所 規格 提出方法
⑤現地状況 (適宜) カラー プリンター用紙
⑥周囲建物の状況 (適宜) A4ファイル 2部
⑦監督職員の指示する箇所
⑧各部配筋完了時 カラー プリンター用紙
⑨各工事の工程に応じ監督職員 A4ファイル 2部 と協議する
⑩内 部 監督職員の指示 (30)箇所 カラー アルバム 4部
⑪外 部 監督職員の指示 (20)箇所
⑫交 景 監督職員の指示 (10)箇所 DVD-ROM 4部
⑬航 空 監督職員の指示 (10)箇所
※竣工写真の撮影は、デジタルカメラ2000万画素以上とし、撮影アングルは監督職員の指示による。
※竣工アルバムは印刷紙を使用し、出力解像度は原寸の300dpi以上とする。
製本方法は、印刷紙の裏面どうしを貼り付けた中折れ込み製本、又はフォトブックアルバムとする。
※竣工写真の電子データ(DVD-ROM)の提出形式
内部、外部及び航空写真の内、監督職員の指示する主要なカットは、A3サイズ(長辺4960pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とし、その他のカットは、キャビネサイズ(長辺2880pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とする。
※竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。
竣工写真の著作権の権利等について、工事受注者は撮影者との契約にあたって以下の事項を条件とすること。
1.その成果物が「写真の著作物」に該当するかの有無にかかわらず、発注者、設計者、施工者が社内広報紙、業界誌への掲載及び関係誌取先への頒布、広報など社内外へ公表することに對してその利用を無償許諾すること。
2.設計者の承諾を得た場合以外は以下の行為をしてはならない。
写真の著作物に該当した場合でも、著作権人格権を行使しないこと。
3.竣工写真を第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。
竣工写真撮影業者 ※建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者
④施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該権利に限る利用を [1.2.2~3] 無償許諾すること。
⑤設備工事との取合い(総合図の作成)
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図(総合図)を作成して、監督職員の承諾を受ける。(平面詳細図・展開図・天井伏図等)

⑤監督職員事務所
・既存建物内の一部を使用する ○構内に設置する ・設けない [2.4.1]
設置する場合の規模 (30)㎡程度
必要設備: 冷暖房、便所、湯沸湯、冷蔵庫、及び女性専用更衣室・便所
監督職員事務所の備品
○複合機(LAN対応) ○書類棚、図面棚、行事予定表(プリンター、コピー、スキャナー) 下足箱、時計、ヘルポード
○Wi-Fiルーター(Wi-Fi環境) ○塗料制限用器具(5)人用
○PCディスプレイ(2)セット ○検査器具等
○打合せ機、椅子(10)人用 ○長靴、雨合羽(5)セット
○更衣ロッカー(10)人用 ○事務用品、給茶セット一式
⑥会議室
⑦工事用水
⑧工事用電力
⑨仮囲い等
⑩工事表示板
⑪既存下地の処理
2 アスファルト防水
既存下地の修補は補修範囲全体の(5)%程度を見込む [3.2.6]
[3.3.1~4][表3.3.1.1][表3.3.3~11]
屋根保護防水(既存)
新設防水層の種類
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所 絶縁用シート
・PZA ・A-1 ・A-2 ※ポリエチレンフィルム
・A-3 厚0.15mm以上又は
・PIB ・B-1 ・B-2 フラットヤークロス70g/㎡程度
・PZA1 ・A1-1 ・A1-2 ※フラットヤークロス
・A1-3 70g/㎡程度
・PIB1 ・B1-1 ・B1-2
立上り部の保護工法
・乾式保護材 押出成形セメント板(厚さ15mm)
保護膜新設工法の断熱材
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA(スキン層付)
厚さ ・35 ・40 ※50
屋根露出防水(既存)
新設防水層の種類
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料
・M4C ・C-1 ・C-2 ※アクリル樹脂
・C-3 ・C-4 エマルション系塗料
・M3D ・D-1
・POD ・D-2 (使用量は
・POD1 ・D1-1 アスファルトルーフィング類
・M3D1 ・D1-2 の製造所の仕様による)
・M4D1
露出防水断熱工法の断熱材
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ・1号 ※2号
厚さ ・25 ・35 ※50
POD工法の場合の改修用ドレイン ※設けない ・設ける
高日射反射率防水の適用
※無 ・有(施工箇所)
屋内防水
防水層の種類
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所(保護層は図示による)
・PIE ・E-1
・P2E ・E-2
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位
アスファルト防水の保証年限 ※10年間

3 改質アスファルトシート防水
屋根露出防水(既存) [3.4.1~4][表3.1.1][表3.4.1~3]
新設防水層の種類
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料
・M4AS ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-U2 ※アクリル樹脂
・M3AS ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-U1 エマルション系塗料
・POAS ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-U1
・AS-J3
・M3AS1 ・AS1-J1
・M4AS1 ・AS1-J1
断熱工法の断熱材
各級ウレタンフォーム断熱材2種 ・1号 ※2号
厚さ ・25 ・35 ※50
絶縁断熱工法の場合の防護用シートの設置(AS1-T1工法、AS1-J1工法)
平成28年国土交通省告示第265号別表第10の地域から4に該当する場合は設置する
材質:改質アスファルトシート系の常温粘着用シート
断熱工法及び絶縁断熱工法の場合の断熱材の種類及び設置数量
※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による
高日射反射率防水の適用
※無 ・有(施工箇所)
改質アスファルト防水の保証年限 ※10年間
⑪合成高分子系ルーフィングシート防水
新設防水層の種類 [3.5.1~4][表3.5.1~3]
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料
・POG ・S-F1 ・S-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料
⑫S4S ・S-F2 ○SG-M2
・SSS ・S-F1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料
・S-F2
・M4S ・S-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料
・S-M2
・POG1 ・S1-F1
・SSS1 ・S1-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料
・S4S1 ・S1-F2
・M4S1 ・S1-M2
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の歩行の仕様
※歩行仕様 ○軽歩行仕様
断熱工法の断熱材
※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ・1号 ※2号
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種DA
厚さ ・25 ・35 ※50
防護用フィルムの設置(S1-M1工法、S1-M2工法の場合)
平成28年国土交通省告示第265号別表第10の地域から4に該当する場合は設置する
材質は合成高分子ルーフィング類製造所の仕様による
断熱材の種類及び設置数量は合成高分子ルーフィング類の製造所の指定とする。
仕上塗料の使用量は、合成高分子ルーフィング類の製造所の仕様による
高日射反射率防水の適用
※無 ・有(施工箇所)
機械的固定工法の場合の耐風圧性能
建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 )倍の風圧力に対応した工法
屋内防水
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所(保護層は図示による)
・P1S ・S-G1
合成高分子系ルーフィングシート防水の保証年限 ※10年間
新設防水層の種類 [3.6.1~4][表3.6.1~3]
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所
⑬PX ※X-1 ※X-2 ・X-H ・X-2H P142C(既存)、底
⑭LAX ※X-1 ※X-2 ・X-H ・X-2H P157(天(既存))
断熱装置(種別OV-1工法の場合) [3.6.2]
・設ける (断熱装置の種類及び設置数量は主材料の製造所の指定とする)
仕上塗料の仕様 材質 ※アクリルウレタン系 ( ) [3.6.2]
使用量 主材料製造所の仕様による
既存塗膜防水層表面の仕上塗装(LAX工法の場合)
・除去する ( ・デッキブラシで洗い ・高圧洗浄)
屋内防水
改修工法の種類 新設防水層の種類 施工箇所(保護層は図示による)
・P1Y ※Y-2
・P2Y ※Y-2
塗膜防水の保証年限 ※10年間

⑬シーリング
シーリング改修工法の種類 [3.7.1~6][表3.7.1]
・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法
・断縁シーリング再充填工法 ・フジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
※下表以外は、改修仕様表3.7.1を標準とする
施工箇所 シーリング材の種類(記号)
・接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験
塗膜を指し地及び石目地のシーリング材はノンブリード型とする
シーリング材の保証年限 ※7年間 ○10年間
(値し外部に施工するシーリング材で、防水機能を維持する部分)
たてどい及び掃き出し管の材質 [3.8.2][表3.8.1]
・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○ステンレス
既存のといその他の撤去 [3.8.3]
○撤去(撤去部分は処分) ・撤去後再利用する
降雨時に対する養生 [3.8.3]
・図示 ○近接雨水管へ接続する ○既存排水溝へ放流
腐食防止の防露 ※改修仕様表3.8.4による [3.8.3][表3.8.4]
○次の箇所は行わない( 屋外 )
溝除口 ○有り ・無し
⑬ルミニウム製窓
[3.9.1~3][表3.9.1][表3.9.1.1][表3.9.1.2]
種類 呼称厚(mm) 表面処理 固定方法・取附 備考
⑯250形 1.6以上 ・BB-1種 窓木本体製作 隅角部及び突出たり部等の
・300形 1.8以上 ○BB-2種 所の仕様による 役物は窓木本体製造所の
・350形 2.0以上 よる。 仕様による。
既存窓木の撤去 ○図示 [3.9.3]
新設窓木の天地補修工法 ・図示 [3.9.3]
板材折曲げ形の取付工法 ・図示 [3.9.3]
耐風圧性能
※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 )倍の風圧力に対応した工法
(9.6.2~3)(表9.6.1~2)
種 別 施工箇所
※O-U1 EVビット
・O-P
保証年限 ○10年間
⑬その他の防水
(仕様以外の工法)
種 別 施工箇所 製造所・型式等
○複合塗膜防水(露出工法) 防水範囲による 下記による
○複合塗膜防水(保護工法) 防水範囲による 下記による
使用量等は防水製造所の仕様による
保証年限 種別(複合塗膜防水) ○10年間
製造所: シーカ・ジャパン「超速硬化ウレタン複合防水」 又は同等品
露出工法(UPI-10) 保護工法(UPI-10C)
⑬ルーフレイン
(13.5.2)
○くろ根用材○たて形 ○無形) 材質: ※ 鋼鉄製 ・ステンレス製
○バルコニー中継用 材質: ※ 鋼鉄製 ・ステンレス製
⑬水張り試験
試験箇所 (屋内外の防水範囲全般)
試験方法 ドレン廻りをルーフィング類やウエス類で仮の養生し、防水層の立上がり端部を越えようように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や下階への漏れの有無を確認する。
⑬折板葺(適用:駐輪場)
(13.3.2~3)(表13.3.1.1)
形 式 ※重ね形 ・はげれめ形 ○かみ合形
形状(mm) 山高(100mm) 山ピッチ(500mm) 板厚 ※0.6 ○0.8
材 質 ※塗装済55%アルミニウム一重鉛合合金めっき鋼板及び鋼管
(規格番号) (JIS G 3322)
野上面戸板 ※有り ・無し
断 熱 材 ※有り(種別:製造所指定材料 厚さ: mm) ○無し
耐火性能 ※30分耐火 ・無し
塗装の種類 ○フッ素樹脂塗装 ・カラーガルバリウム鋼板
耐風圧性能
※ 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 )倍の風圧力に対応した工法
断熱対策 ○行う(製造所指定工法) ・行わない
断熱防水性能保証(製造所-施工者連名保障) ○10年間
製造所: 元且ビニール工業「L-100(ハイパフ)」 又は同等品

<input checked="" type="checkbox"/> 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> 共通事項 <input checked="" type="checkbox"/> 材料の品質	<input checked="" type="checkbox"/> 施工数量調査 下記及び1.一般共通事項 15による [1.6.2] 調査範囲 ※外装改修範囲 ・図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新築上塗料との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は図示による。 調査報告書の部数 ※2部	<input checked="" type="checkbox"/> 欠損部改修工法 ※充填工法 (1箇所あたり0.25㎡程度以下) [4.1.4][4.2.4][4.3.5.8] (欠損部 100×100程度) 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外装 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.4~5] ※樹脂注入工法 (ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm以下) 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ <table border="1"> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法: ) ・リカットシール材充填工法 (ひび割れ幅 1.0mmを超える) [4.1.4][4.2.4.6] 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ 充填材料の種類 ・ シーリング材 (ひび割れ幅1.0mmを超える) ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 シーリング材のうしろにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 (ひび割れ幅 0.2~1.0mm程度) ・ シール工法 (ひび割れ幅0.2mm未満) [4.1.4][4.2.4.7] 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ ・パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130		樹脂注入工法					・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法					<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外装 4 モルタル塗替え工法 [4.3.10][表4.3.3~4] モルタル塗替え工法 [4.3.10][表4.3.3~4] 改修範囲 ・図示の範囲 ・現場調査材料 (改修仕 表4.3.3による) ・既調合材料 既製目地材 ・使用する (形状 ※図示 - ) モルタル塗りを行う下地コンクリート素地面の処理 ※目荒らしを行う [4.3.10(3)] <input checked="" type="checkbox"/> 浮き部改修工法 ※モルタルを撤去しない工法 改修範囲 ・図示 ・対象面積に対し( )%を見込む [4.1.4][4.2.4~5][4.3.5.11~16] <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> </table> アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	<input checked="" type="checkbox"/> 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> モルタル塗替え工法 1 既存モルタル塗りの撤去 ・行う (・図示の範囲 ・モルタル塗り外壁部全面) 撤去部分の補修は、4.モルタル塗替え工法による <input checked="" type="checkbox"/> ひび割れ部改修工法 ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.4~5][4.3.5.6] (ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm以下) 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ <table border="1"> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法: )	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130		樹脂注入工法					・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法					<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外装 2 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.3~8] ※充填工法 (欠損部 100×100程度) 改修範囲 ・図示 ( ) 箇所を見込む ※エポキシ樹脂モルタルポリマーセメントモルタル ※ポリマーセメントモルタル (最大仕上げ厚 30mm程度以下)	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外装 1 既存タイル張りの撤去 ・行う (・図示の範囲 ・タイル張り外壁部全面) ※下地モルタルとも ・張付けモルタルとも ・タイルのみ 撤去部分の補修は、張替え工法による 2 ひび割れ部改修工法 改修箇所 ※既存タイル張り面 ※既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.4.5][4.4.2.5.6] (ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm以下) 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ <table border="1"> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法: )	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130		樹脂注入工法					・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法					<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 外装改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート打放し仕上げ外装 3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.3.1][4.4.7] ・タイル部分張替え工法 (1箇所あたり0.25㎡程度以下) (下地モルタルを撤去せずタイルを張り替える場合) 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ 接着剤の種類 ※有機系接着剤 ・ポリマーセメントモルタル ・タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.3][4.4.8] 改修範囲 ・図示 ・延べ( )㎡ 張替え用材料 ※有機系接着剤 ・張付けモルタル (既調合モルタル ・現場調合材料) 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材の接着力試験 ※行う ・行わない 外装壁タイルの目地詰め ※行う ・行わない 下地躯体の欠損部分は、改修仕4.2.3による 4 タイル張替え工法 (浮き部を撤去) タイル張替え工法 [4.1.4][4.4.4][4.4.8] (下地モルタルを撤去し、タイルを張り替える場合) 改修範囲 ・図示 ・対象面積に対し( )%を見込む 張替え用材料 ※有機系接着剤 ・張付けモルタル (既調合モルタル ・現場調合材料) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※図示 ・改修仕様表4.2.2による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材の接着力試験 ※行う ・行わない 外装壁タイルの目地詰め ※行う ・行わない ・有機系接着剤によるタイル張り [4.4.8(8)] ・タイル製造所による標準工法 (有機系下地調整材による下地調整) 下地コンクリート素地面の処理方法 ※水洗工法により、表面の付着物や脆弱部を除去する ※標準仕様書に基づく工法 [4.4.8(8)] (セメント系下地調整塗材による下地調整) [4.4.8(8)] セメント系下地調整塗材による下地調整 セメント系下地調整塗材塗りは、改修仕様4.4.8(8)による 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 [4.3.10(3)] ※目荒らしを行う ※コンクリート打放し仕上げはa種、コンクリートの仕上げが平坦さはa種とし、表面の目荒らしを行う ・セメントモルタルによるタイル張り [4.4.8(7)] 外装壁タイルの下地ごしらえ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 [4.3.10(3)] ※目荒らしを行う 壁タイル張りの工法 ・密着張り ・改良密着張り ・マスク張り ・モザイクタイル張り 5 目地改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・伸縮目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示による シーリングは、改修特記仕様書 3.防水工改修工事 6.シーリングによる	6 浮き部改修工法 ※タイル張りを撤去しない工法 改修範囲 ・図示 ・対象面積に対し( )%を見込む [4.1.4][4.3.5.11~16][4.4.9~16] <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> </table> アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	7 タイルの品質・種類 [4.4.5][4.4.8] <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所・名称</th> <th rowspan="2">形状・寸法 (mm) (品名・品番)</th> <th rowspan="2">吸水率による 区分</th> <th colspan="2">釉薬</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">役物の有無</th> </tr> <tr> <th>・面釉</th> <th>・底釉</th> <th>・特注</th> <th>・無</th> <th>・有</th> <th>・有</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td>・面釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・面釉</td> <td>・底釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td>・面釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・面釉</td> <td>・底釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td>・面釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・面釉</td> <td>・底釉</td> <td>・特注</td> <td>・無</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> </table> 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、扉風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う (種類 ) タイルの試験張り ※行わない ・行う 床用タイルの防滑性 耐滑り性試験値 (JIS A 1509 : CSR値)等のデータを監査職員に提出し、承諾を得ること	施工箇所・名称	形状・寸法 (mm) (品名・品番)	吸水率による 区分	釉薬		色		役物の有無		・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有				・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有				・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有				・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有				・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有				・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有				・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有	8 新設壁のタイル張り工法 [4.4.8] ※有機系接着剤によるタイル張り [4.4.8] ※タイル製造所による標準工法 (有機系下地調整材による下地調整) 下地コンクリート素地面の処理方法 ※水洗工法 (50%程度)を行い、表面の付着物や脆弱部を除去する ・標準仕様書に基づく工法 [4.4.8(8)] (セメント系下地調整塗材による下地調整) [4.4.8(8)] セメント系下地調整塗材塗りは、仕様3.5.5(4)による コンクリート素地面の処理方法 [4.3.10(3)] ※自荒し工法 (超高压水洗 (150Pa程度)) ※コンクリート打放し仕上げはa種、コンクリートの仕上げが平坦さはa種とし、表面の目荒らしを行う ・セメントモルタルによるタイル張り [4.4.8(7)] 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 [4.3.10(3)] ※自荒し工法 (超高压水洗 (150Pa程度)) 壁タイル張りの工法 ・密着張り ・改良密着張り ・マスク張り ・モザイクタイル張り	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 改修特記仕様書 第3 版 A1: - A3: - 図面番号 A306
	注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※自動式低圧エポキシ	0.2以上~1.0未満	※200~300	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・手動式エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・機械式エポキシ樹脂	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																						
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所・名称	形状・寸法 (mm) (品名・品番)	吸水率による 区分	釉薬		色		役物の有無																																																																																																																																																																																																																																																																															
			・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・1類・2類	・面釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・面釉	・底釉	・特注	・無	・有	・有																																																																																																																																																																																																																																																																														
				作成日 2025.03																																																																																																																																																																																																																																																																																		



②カーペット敷き	・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1]					
	種別	バイル形状	綴り方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・カットバイル	・ウィルトンカーペット	・無地	・適用する性能 ※人体帯電電圧3kV以下		
・B種	・ループバイル	・ダブルフェイスカーペット	・柄物(標準品)	・適用しない		
・C種	・カット、ループバイル併用	・アキスミンカーペット	・			
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm						
製造所: ・タフテッドカーペット [6.9.2~3][表6.9.1]						
	バイル形状	バイル長(mm)	工法	帯電性	備考	
・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	・適用する性能 ※人体帯電電圧3kV以下			
・ループバイル	※4~6	・グリッパー工法				
・レベリングバイル	※4					
・カット、ループ併用			・適用しない			
下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号呼び厚さ8mm						
製造所: ①タイルカーペット [6.9.2~3][表6.9.1]						
	名称	バイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)	
別貼べたA	○ループバイル	※第一種	※500×500	※6.5		
		・第二種	※500×500	※6.5		
	・カットバイル	・第一種	※500×500	※6.5		
		・第二種	※500×500	※6.5		
	・カット、ループ併用	・第一種	※500×500	※6.5		
		・第二種	※500×500	※6.5		
タイルカーペットの敷き方 平場 ※布敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・見切り、押入敷物 ・適用する(材質、形状等 ※図示) ・※適用しない						
製造所: スミノエ 「ECOS LP-3100」 又は同等品						
③合成樹脂塗床	[6.10.2~3][表6.10.1~8]					
	種別	工法	仕上げの種類			
・厚膜型塗床材 強性ウレタン樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ			
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しの工法 ・厚膜流しの工法 ・樹脂モルタル工法		・平滑仕上げ ・防汚仕上げ			
○薄膜型塗床材 ウレタン樹脂系塗床材			・平滑仕上げ ○防汚仕上げ			
製造所: 塗床 ABC商会「カラトップ」 又は同等品						
④フローリング張り	[6.11.2~7][表6.11.1~6]					
	種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	塗装仕上げ
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※なら	・15	板幅75	板長さ400以上	・塗装品 ※無塗装品
	・釘留め工法(直張り)	※なら	・12以上	板幅75	板長さ500以上	
	・接着工法	※なら	・12以上	板幅75	板長さ500以上	
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	・15	303×303		・塗装品 ※無塗装品
製造所: ①複合フローリング [6.11.2~7][表6.11.1~6]						
	種類	工法	樹種	種別	塗装仕上げ	
○天然木化粧複合フローリング (図中:20~27)D	○釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	※なら	・A種 ・B種 ※B種	○塗装品 ※無塗装品		
	・接着工法	※なら	・A種 ・B種 ※C種			
接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ・行う(施工箇所) ・行わない ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り						
製造所: 北海道バークツエ業「EVALS」厚12(表面材3mm) 又は同等品						

23 敷き	・A種 ・B種 ※C種 ・D種 [6.12.1~3][表6.12.1]			
	(重床 ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) ・衝撃線と型番 畳表 (JIS A 5962) ・C1 ・C2			
24 ポリスチレン フォーム床下地材	畳下地用 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 フローリング類下地用 厚さ(mm) ※80 ・95			
	○ユニット型乾式二重床(一般仕様) 掃捨 コンパ厚12 製造所: フクビ化学工業「フリオアCP」 又は同等品			
⑤せっこうボード 及び合板張り	[6.13.1~3][表6.13.1~5]			
	種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	
・硬質木セメント板	HW	・15 ・20 ・25		
・中質木セメント板	MW	・15 ・20 ・25		
・普通木セメント板	NW	・15 ・20 ・25		
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21		
・普通木片セメント板	NF	・30		
○けい酸カルシウム板 タイプ2(無石積)	○A,8FK ・1,0FK	○8 ・8		
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ / 表記: DR ○9 ・12 (※不燃 ・準不燃) ・凹凸タイプ / 表記: DR(凹凸) ・12 ・15 ・19 (※不燃 ・準不燃)		
○せっこうボード	GB-R	○12.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・15(不燃)		
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)		
○シージングせっこうボード	GB-S	○12.5(不燃) ○9.5(準不燃)		
○強化せっこうボード	GB-F	○12.5(不燃) ・15.0(不燃) ○21		
○普通硬質せっこうボード	GB-RH	○9.5		
・せっこうラスボード	GB-L	9.5		
○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	※12.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・15(不燃) 幅440mm程度		
○化粧せっこうボード(有孔)	GB-D	※12.5(不燃) 幅440mm程度		
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	※12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(※径目) ○5(準不燃)		
・普通合板		接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 厚み ※図示 塗装仕上げ ※図示 樹種 ※図示 ・防虫処理		
・天然木化粧合板(難燃)		接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 化粧板の樹種: 化粧板の厚み: ・防虫処理		
・天然木化粧合板(不燃)		接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 基材 ※A1(火山性ガラス繊維層) ・けい酸カルシウム板 0,8FK 化粧板の樹種: 化粧板の厚み: ・防虫処理		
・特殊加工化粧合板		接着の程度 ・特類 ・1類 ※2類 ・ケイ酸カルシウム板 ※2.5 ・3.8 ・プリント合板 ※2.5 ・カラー塗装合板 ※2.5 ・オレフィンシート化粧合板 ※2.7		
・ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12		
・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18		
・単板張りバーティカルボード	VN VS	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18		
・化粧けい酸カルシウム板	化粧FK	※6		
・メラミン樹脂化粧板	※1.2			
・メラミン化粧不燃板	※3			
・繊維混入せっこう板	FRG	・5 ・6 ・8		
・吸音用孔あきせっこう板	GB-P	・9.5 (※不燃 ・準不燃)		
・吸音用孔あきけい酸カルシウム板タイプ2(無石積)	FK-P	・6 ・8		
軽量鉄骨下地ボード造音壁の高音シール材 ※適用する ※アクリル系またはウレタン系シーリング材 ・ジョイントパウンド(JIS A914)				
・適用しない				

⑥吸音材	[6.13.2][表6.13.1]				
	種類	JISの記号	厚さ(mm)	仕様	
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25	厚手ガラスクロス貼		
※ガラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25	厚手ガラスクロス縁貼張り		
⑦壁紙張り	[6.14.1~3]				
	名称	壁紙の種類		防火性能	
		紙	繊維系 プラスチック	繊維質 塩化ビニル	その他
壁紙	・	・	・	○	・
掲示クロス	・	・	・	○	・
敷地ごしえ [表7.3.4.5~7]					
モルタル、プラスチック面	※B種	・A種(施工箇所: )			
コンクリート、ALCの珪素面	※B種	・A種(施工箇所: )			
せっこうボード面、けい酸カルシウム板面	※種別	・A種(施工箇所: )			
製造所: 壁紙 一般品(AA) サンゲツ「フアイ」 又は同等品 掲示クロス サンゲツ「ワカム・パーク」-II 又は同等品					
⑧モルタル塗り	[6.15.1~6][表6.15.1~3]				
	モルタル塗り材料	※現場混合材料 ・既調合材料			
防水モルタル ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)					
既製目地材 ・設ける 施工箇所( ) 形状( ) ○設けない					
床の目地 ※設ける 目地割 ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・種類 ※押し目地 ・設けない					
内装のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り 硬化後、全面打診を行い、浮き及び精度について確認し、結果を監督職員に報告すること。					
内装の吹き掛け部等のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り部分の接着力試験 ※行う ・行わない					
⑨タイル張り	[6.16.1~4][表6.16.1~6]				
	伸縮目地	床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・図示 床タイル以外 ・図示 目地寸法 ・図示			
タイルの種類					
施工箇所・名称	形状・寸法(mm) (品名・品番)	吸水率による 区分	釉薬 色	役物の 有無	耐凍害性 の有無
床用タイルA	屋外用床用磁器質 300角	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無
床用タイルC	屋内用床用磁器質 50角	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無
内装タイルA	屋内用多孔質珪酸質 909×303	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無
内装タイルB	屋内用磁器質 200角	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無
手洗いタイル	屋外用磁器質 22.5×22.5×7	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無
汚濁石	屋内床用磁器質 800×600×6	○I類・II類 ・無釉	・施釉 ・無釉	○特 ・無	○特 ・無

⑩セルフプレイング材 塗り	[6.17.1~5][表6.17.1]			
	材料	※改修仕様表6.17.1により、施工箇所に適したものとす ・セメント系 高強度品(・40N/mm <sup>2</sup> 程度) ・適用箇所(共用廊下、エントランス他) 標準塗厚 ※10mm 製造所: MUマテックス「S-LフローG」 又は同等品		
⑪断熱材	[9.3.1~9.3.4](19.9.1~4)			
	種類	厚さ(mm)	施工箇所	
・押出法ポリスチレン フォーム断熱材 (スギン層なし)	※3種bA	・35 ※50 ・75	・土に接する部分	
・ビーズ法ポリスチレン フォーム断熱材	※2種bA ・	・25 ・30 ・40 ・50	・外壁の内断熱 ・屋根の内断熱	
・硬質ウレタンフォーム 断熱材	※2種2号A ・	・20 ・25 ・30 ・50		
・フェノールフォーム 断熱材	※1種2号A ・			
○断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォーム ※A種1 ・A種1H 吹付厚さ(mm) ○25 ○30 施工箇所 ※図示による ○25-一般部 30-軒天部 上記のほか、断熱材打込み部の取合修繕箇所				
製品の品質 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)				
33 フリーアクセス フロア	(20.2.2)			
	施工箇所	工法	位置	支柱調整式
所定荷重	※3,000N ・5,000N	※3,000N	-5,000N	
耐震性能	・1.0G	・0.6G	・1.0G	
パネル寸法(mm) 高さ(mm)	・500×500	・500×500		
表面仕上材	※タイルカーペット	※タイルカーペット		
帯電防止性能 ※U ≧ 1.2 漏えい抵抗 ※R ≧ 1×10 Ω ・				
耐衝撃性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐熱性能の試験方法及び性能 ※標準仕様書20.2.2(4)による 品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける				
工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 改修特記仕様書 その5 高尺 A1: - A3: -	作成日 2025.03			図面番号 A308

34 可動間仕切 (パーティション)	(20.2.3)					
	構造形式による種類	構成材の種類	パネル表面仕上	遮音性能 防火性能		
	・スタッ式(内蔵式)	※鋼製	※メラミン樹脂積層	・0		
	・スタッ式(露出式)	・	又はアクリル樹脂積層	・12		
	・スタッ式パネル式	・	・壁紙張り	・28		
	・パネル式	・	・	・36		
	パネル内の取付する建具 ※ 図示					
	表面仕上材を壁紙張りとする場合は建具の品質は、6章内装改修工事 28壁紙による					
	製品の品質					
	※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による					
	製造所:					
	35 移動間仕切 (スライディングウォール)	(20.2.4)				
遮音性能 (db/500Hz)		操作方式	圧接装置の	パネル表面材		
・一般タイプ		・手動式	・プッシュ式	※鋼板		
・遮音タイプ		・電動式	・ハンドル式	・		
・		・部分電動式	・	・		
・(以上)		・	・	・		
表面仕上材を壁紙張りとする場合は建具の品質は、6章内装改修工事 28壁紙による						
製品の品質						
※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による						
製造所:						
36 トイレブース		(20.2.5)				
		表面仕上材	※メラミン樹脂系化粧板			
	(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)					
	・ポリエステル樹脂系化粧板					
	足形状	※幅木型(ステンレス製)	・足金物型(ステンレス製)			
	パネルの材質 ※トイレブースの製作所の仕様による					
	製品の品質					
	※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による					
	製造所:					
	37 階段消止め 「ノック」金物	(20.2.7)				
		材 種	ステンレスSUS304			
		形 状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り(、ステンレス製 ※ビニル製) ・無し			
幅(mm)		約35				
取付工法		※接着工法 ・埋込み工法				
製造所: ナカ工業「S-37」						
38 手すり及び タラップ		(20.2.6)(表14.2.2)				
		種 類	材料の種類	表面処理 (塗装仕上は図示による)		
		手すり	※ステンレスSUS304	※H.L.程度	・鏡面程度	
			○鋼製	・溶融亜鉛めっき 外部	※C種	
		タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し	・HL程度	
			・鉄	・溶融亜鉛めっき 内外部	※C種	
	ハンドレール					
	種 類	取付箇所	仕上・形状・型式等			
	○ビニル製	○屋内外階段	○ビニル製既製品			
	ハンドレール (木質系樹脂 構内形状)					
	製造所: 屋内用: ナカ工業「ネオウッドD-432M1(77)HAFN-65」又は同等品 屋外用: ナカ工業「グラウウッドD-432M1」					
	補助手すり					
種 類	取付箇所	仕上・形状・型式等				
・歩行補助手すり	・	・				
・動作補助手すり	・	・				
製造所:						

39 表示標識 (サイン)	(20.2.11)				
	誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。 衝突防止表示の仕様は建具特記(位置は建具表)による。 表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による。				
	40 ブラインド	取付箇所	※図示		
		形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
	※横型	※ギヤ式	・コード式	※アルミニウム合金製	※25
	・操作棒式	・電動	・	・	・
	41 ロールスクリーン	・縦型	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
		・	・2本操作コード	・電動	・クロススラット
	縦型ブラインドは防火性能を有するものであること。 製造所:				
	(20.2.15)				
		材 質	操作方式	品 質	幅、高さ
	42 カーテン	・ポリエステル	・電動式	・	※図示
・		・スプリング式	・	※図示	
防火性能の有無 ・あり 巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による 製造所:					
(20.2.16)(表20.2.1)					
	形 式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質 特殊加工等	
43 カーテンレール	・シングル	・片引	・手引き	・つまみひだ	
	・ダブル	・引分	・ひも引き	・二つ山ひだ	
・電動					
・二つ山ひだ					
・箱ひだ、片ひだ					
・プレーンひだ					
又は同等品 (省略)					
取付箇所 ※図示					
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上					
防火性能の有無 ※あり 製造所:					
材料等 (20.2.16)					
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材					
・ステンレス製					
強さによる区分 ※ 10-90					
仕上げ ※アルマイト					
形状 ※角形					
製造所: 立川プラインド工業「V20」					
又は同等品					
44 ブラインドボックス 及び カーテンボックス	(20.2.16)				
	材 質	鋼製(仕上: ※図示)			
	・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)				
	・標準色 ・特注色				
	○木製				
	清檜、深さ ※図示				
	製造所:				
	45 止水板 (防潮板)	(20.2.16)			
		形 状	・据置式 ・壁張り式 ・差込式		
		寸 法			
		製造所:			
		46 天井点検口	(20.2.16)		
材 種			寸法(mm)	形 式	外 枠
○アルミニウム製			○450X450	○一般形	○屋内外用
・			・600X600	・気密形	・
取付箇所 ※図示(天井伏図)					
製品の品質					
※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による					
・固定式(耐震型仕様とする)					
材 質					
厚さ(mm)					
高さ(mm)					
備 考					
・					
・ ※500					
製造所:					
47 防煙垂れ壁	(20.2.16)				
	防火性能の有無 ※あり				
	製造所:				
	材料等 (20.2.16)				
	材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
	・ステンレス製				
	強さによる区分 ※ 10-90				
	仕上げ ※アルマイト				
	形状 ※角形				
	製造所: 立川プラインド工業「V20」				
	又は同等品				

48 視覚障害者用 床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)	(20.2.11)			
	・可動式			
	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考
	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500	ガイドレール
	・	・	・800	※固定式(壁埋込型)
	・	・	・	・可動式(天井取納型)
	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ
	・	・	・800	※天井材張り
	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 製造所:			
	ブロックパターンはJIS T 9251による。 色彩は黄色を原則とする。 屋 内 ※増化ビニル製 ・磁器又はせつ器質タイル(※300 ) ・レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ・セラミックタイル(※300 ) ・点字板(インスリップ型) 材質:			
	⑥エキスパンション ・ジョイント金物			
	49 その他の材料	(20.2.16)		
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				
仕上げ ※アルマイト				
形状 ※角形				
製造所: 立川プラインド工業「V20」				
又は同等品				
取付箇所 ※図示				
暗幕用カーテンの両端・上部及び百合色の重なり ※300mm以上				
防火性能の有無 ※あり 製造所:				
材料等 (20.2.16)				
材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材				
・ステンレス製				
強さによる区分 ※ 10-90				

Ⅲ 建築工事特記仕様 (追記)																														
③ 土工事	<p>① 埋戻し及び盛土 材料及び工法 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料 ( ) (工法 )</li> <li>※標仕 表 3.2.1)による</li> <li>※A種 適用箇所 ( )</li> <li>※B種 適用箇所 ( ) ※他現場からの受入済土も含む</li> <li>※C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( )</li> <li>※D種 適用箇所 ( )</li> </ul> <p>② 建設発生土の処理 ※構外搬出適切処理 (処分先: ) (3.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構内指示の場所にたい積</li> <li>構内指示の場所に敷き均し</li> </ul> <p>③ 山留めの撤去 ※撤去する (3.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>存置する (範囲: )</li> </ul> <p>④ 掘り戻し 地盤をかくし乱した場合の処置 (3.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※監督職員の承諾を受け、以下のいずれかの処置を適切に行うこと。</li> <li>○地盤改良 ・ コンクリート打設 ・ 砂質土と置き換え締め固め</li> </ul>																													
⑥ コンクリートブロック・パネル・押出成形セメント板 (ECP)	<p>① 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)(表8.5.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>構造種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○外壁パネル</td> <td>※フラットパネル</td> <td>・50 ○60</td> <td>※600</td> <td rowspan="2">○A種</td> </tr> <tr> <td>・デザインパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・間仕切壁パネル</td> <td>※フラットパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> <td rowspan="2">・B種</td> </tr> <tr> <td>・デザインパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・タイル下地パネル</td> <td>・62</td> <td>※600</td> <td></td> <td rowspan="2">・C種</td> </tr> <tr> <td>・62</td> <td>※600</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅の最小限度 ※300mm ( ) mm</p> <p>耐火構造は建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする</p> <p>耐火構造以外の目地及び継目の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※パネルの製造所の仕様による</li> </ul> <p>役物の有無 ○有り(コーナード) ○無し</p> <p>パネル相互の目地幅 長辺の目地幅 ○10mm以上 ( ) mm</p> <p>短辺の目地幅 ○15mm以上 ( ) mm</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地幅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※15mm程度 (シーリング材充填) ○ 図示</li> </ul> <p>外壁パネル工法の2次防水仕様 ※適用する ・適用しない</p> <p>外壁パネル構法の耐風圧性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※建築基準法により定まる風圧力の (※0. ) 倍の風圧力に対応した工法</li> </ul> <p>外壁パネル構法の耐震性能</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ( )</p> <p>鉛直方向 (KV) ※0.5 ( )</p> <p>間仕切パネル構法の耐震性能</p> <p>設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ( )</p> <p>鉛直方向 (KV) ※0.5 ( )</p> <p>取付け金物の耐火被覆 ・行方 (適用箇所: ) ○行わない</p> <p>パネルの欠き込み パネルにやむを得ず欠き込みを行う場合は、欠損部を考慮して強度計算を行い、安全を確認すること。</p> <p>ドレンパイプ ※SUS304 径8mm 逆流防止弁付</p> <p>高さ60mを超える建物の外壁に使用する工法 ※材料製造所の指定工法による</p> <p>製造所: ノゾフ 「アスロック」 又は同等品</p>	種 別	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	構造種別	○外壁パネル	※フラットパネル	・50 ○60	※600	○A種	・デザインパネル	・50 ・60	※600	・間仕切壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60	※600	・B種	・デザインパネル	・50 ・60	※600	・タイル下地パネル	・62	※600		・C種	・62	※600	
種 別	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	構造種別																										
○外壁パネル	※フラットパネル	・50 ○60	※600	○A種																										
	・デザインパネル	・50 ・60	※600																											
・間仕切壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60	※600	・B種																										
	・デザインパネル	・50 ・60	※600																											
・タイル下地パネル	・62	※600		・C種																										
	・62	※600																												
⑩ 石工事	<p>① 石材の割付け (10.1.3)</p> <p>石材の割付 図示</p> <p>水平打継ぎ部、異種下地の取り合い部等は、原則として1枚の石材をまいたで取り付けてはならない。</p> <p>止むを得ず取り付ける場合は、工法を監督職員と協議し、承諾を得ること。</p> <p>② 石材等 (10.2.1)(表10.2.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所等</th> <th>種類</th> <th>産地・名称</th> <th>厚さ</th> <th>厚さ</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巾木</td> <td>花崗石</td> <td>中国産・G381 年青</td> <td>図示</td> <td></td> <td>本磨き</td> </tr> </tbody> </table> <p>石材は上記により見本品提出の上決定する。</p>	施工箇所等	種類	産地・名称	厚さ	厚さ	仕上げの種類	巾木	花崗石	中国産・G381 年青	図示		本磨き																	
施工箇所等	種類	産地・名称	厚さ	厚さ	仕上げの種類																									
巾木	花崗石	中国産・G381 年青	図示		本磨き																									

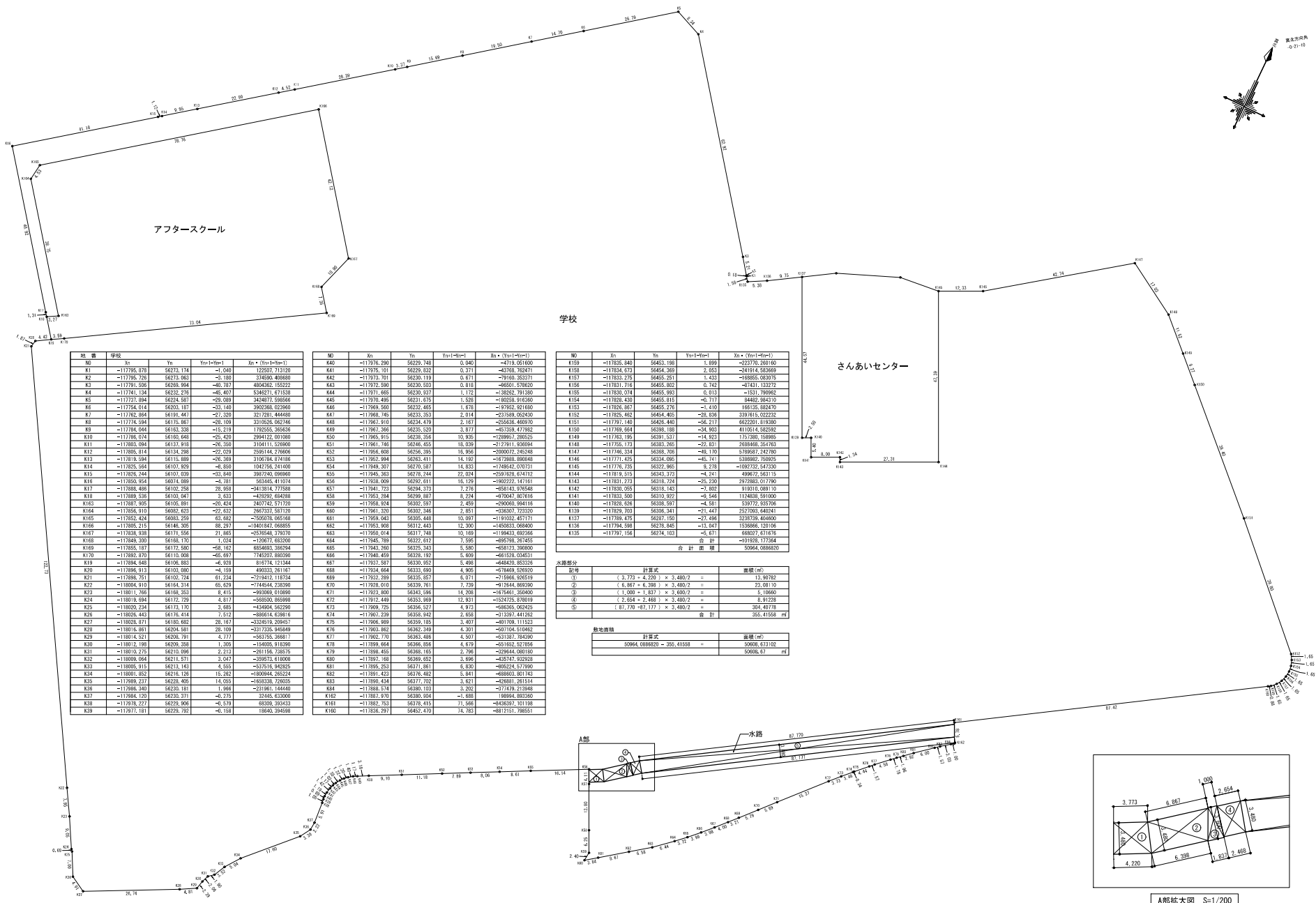
⑭ 1-般事項	<p>⑧ ステンレス鋼板は、図中特記以外はSUS304とする。 (14.1.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○金鋼板の曲げ加工端部処理</li> <li>※原則として四隅とも折り曲げ(小口部蓋付)とする。</li> <li>・外装金鋼板の表面結露防止措置</li> <li>※行方 (仕様: )</li> <li>○金鋼板の継目処理</li> <li>屋内 <ul style="list-style-type: none"> <li>※目地様(材質※ステンレス )</li> <li>・空目地 ・シーリング</li> </ul> </li> <li>屋外 <ul style="list-style-type: none"> <li>※シーリング</li> <li>・見本の製作</li> <li>※行方 (適用箇所: )</li> </ul> </li> <li>あと施工アンカーの引抜き耐力確認試験</li> <li>※行方 (適用箇所: )</li> </ul>																																
⑮ 2-ステンレスの表面仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○H L程度</td> <td>特記外の見え掛り全て</td> </tr> <tr> <td>○No.2 B程度</td> <td>床見切金物</td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	○H L程度	特記外の見え掛り全て	○No.2 B程度	床見切金物	・鏡面仕上げ																									
種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																
○H L程度	特記外の見え掛り全て																																
○No.2 B程度	床見切金物																																
・鏡面仕上げ																																	
⑯ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	<p>(14.2.1)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)</th> <th>JISの種類の皮膜の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・BA-1種</td> <td>無着色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> <td>A2(油蝕な環境)</td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td>無着色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> </tr> <tr> <td>○BB-2種</td> <td>○標準色 ・特注色</td> <td></td> <td>B(外部一般)</td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td>無着色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> <td>C(屋内)</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>化成皮膜の上に塗装 ( ) 樹脂系塗装 ・メタリック色、ソリッド色</td> <td></td> <td>JIS H 4001 による焼付塗装</td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化被覆の着色方法 ※二次電解着色</p>	種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)	JISの種類の皮膜の種類	・BA-1種	無着色		JIS H 8602	・BA-2種	・標準色 ・特注色		A2(油蝕な環境)	・BB-1種	無着色		JIS H 8602	○BB-2種	○標準色 ・特注色		B(外部一般)	・BC-1種	無着色		JIS H 8602	・BC-2種	・標準色 ・特注色		C(屋内)	・C種	化成皮膜の上に塗装 ( ) 樹脂系塗装 ・メタリック色、ソリッド色		JIS H 4001 による焼付塗装
種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)	JISの種類の皮膜の種類																														
・BA-1種	無着色		JIS H 8602																														
・BA-2種	・標準色 ・特注色		A2(油蝕な環境)																														
・BB-1種	無着色		JIS H 8602																														
○BB-2種	○標準色 ・特注色		B(外部一般)																														
・BC-1種	無着色		JIS H 8602																														
・BC-2種	・標準色 ・特注色		C(屋内)																														
・C種	化成皮膜の上に塗装 ( ) 樹脂系塗装 ・メタリック色、ソリッド色		JIS H 4001 による焼付塗装																														
⑰ 鉄鋼の亜鉛めっき	<p>(14.2.2)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>※C種</td> <td>外部</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄骨工事の部材の溶融亜鉛めっきは、別図 (構造特記仕様書 第7章、鉄骨工事 16. 溶融亜鉛めっき工法) の記載による</p>	表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		電気亜鉛めっき	※C種	外部	・D種		・E種		・F種																
表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																															
溶融亜鉛めっき	・A種																																
	・B種																																
電気亜鉛めっき	※C種	外部																															
	・D種																																
	・E種																																
・F種																																	
⑱ 金属成形板張り	<p>(14.6.2~3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 状</th> <th>製 法</th> <th>材 種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スバンドレ形</td> <td>○押出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td>図示</td> <td>1.3</td> <td>・BB-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・パネル形</td> <td rowspan="3">※プレス</td> <td rowspan="3">・</td> <td rowspan="3">・</td> <td rowspan="3">・</td> <td>○BB-2種 (ｽﾌﾟﾙｰ)</td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> </tr> <tr> <td>・BC-2種 ( )</td> </tr> <tr> <td>・C種 (樹脂系塗装)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>伸縮調整手 ※設けない ・設ける(施工箇所 ※図示 )</p> <p>製造所: オクジュー「ORA-15-3」(スバンドレ) 又は同等品</p>	形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理	○スバンドレ形	○押出し	※アルミニウム製	図示	1.3	・BB-1種	・パネル形	※プレス	・	・	・	○BB-2種 (ｽﾌﾟﾙｰ)	・BC-1種	・BC-2種 ( )	・C種 (樹脂系塗装)											
形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理																												
○スバンドレ形	○押出し	※アルミニウム製	図示	1.3	・BB-1種																												
・パネル形	※プレス	・	・	・	○BB-2種 (ｽﾌﾟﾙｰ)																												
					・BC-1種																												
					・BC-2種 ( )																												
・C種 (樹脂系塗装)																																	
⑲ 床見切目地	<p>材質 SUS304 4×12</p> <p>詳細 詳細図による</p>																																
⑳ アルミ庇	<p>仕様 アルミ製 化粧無し D.L=図示</p> <p>製造所 アルフィン 「AD1N」 又は同等品</p>																																

① 下地	<p>・ラス系下地(木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透気工法(外壁透気構法下地)</li> <li>・二層下地 ・単層下地</li> <li>・直張り工法</li> <li>・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地</li> <li>・その他</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>・ラス下地、下地用合板、面材等の下地の仕様</p> <p>建築基準法に基づく耐力、防火構造、準耐火構造等の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有 (図示による) ・無</li> </ul> <p>○せつこうボード、その他ボード下地</p> <p>材料の種類及び厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図示による</li> </ul>												
② 床コンクリートの直均し仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平坦さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合</td> <td>3mにつき7mm以下</td> <td>合成樹脂塗床、ビニール床材貼り床コンクリート型押し仕上げ、フローアークスフロアー (置き式)</td> </tr> <tr> <td>仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かみり良好平坦さが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り</td> </tr> <tr> <td>仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を受けずに仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td>タイル下地、モルタル塗り、二重床</td> </tr> </tbody> </table> <p>床のひび割れ誘発目地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設ける(工法: ) 適用箇所: ( )</li> </ul>	施工箇所	平坦さ(mm)	備 考	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	合成樹脂塗床、ビニール床材貼り床コンクリート型押し仕上げ、フローアークスフロアー (置き式)	仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かみり良好平坦さが必要な場合	3mにつき10mm以下	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り	仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を受けずに仕上げの場合	1mにつき10mm以下	タイル下地、モルタル塗り、二重床
施工箇所	平坦さ(mm)	備 考											
コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	合成樹脂塗床、ビニール床材貼り床コンクリート型押し仕上げ、フローアークスフロアー (置き式)											
仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かみり良好平坦さが必要な場合	3mにつき10mm以下	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り											
仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を受けずに仕上げの場合	1mにつき10mm以下	タイル下地、モルタル塗り、二重床											
③ 仕上塗材仕上げ	<p>仕上塗材の種類 (15.6.2)(表15.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>呼び名(図中名称)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○液層仕上塗材</td> <td>○内装吹付材</td> <td>○ ゆず肌</td> <td>○ 吹付</td> <td>○ 準不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする</p> <p>製造所: エスケー化研 「レナコード」 又は同等品</p> <p>鉄骨工事の耐火被覆は構造特記仕様書による (15.12.1~4)(表15.2.1)</p> <p>仕上吹付け厚さ(mm) ※図示</p>	名 称	呼び名(図中名称)	仕上げの形状	工法	防火材料	○液層仕上塗材	○内装吹付材	○ ゆず肌	○ 吹付	○ 準不燃		
名 称	呼び名(図中名称)	仕上げの形状	工法	防火材料									
○液層仕上塗材	○内装吹付材	○ ゆず肌	○ 吹付	○ 準不燃									
④ 黒板及びホワイトボード	<p>○黒板 (20.2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区分 ※焼付 ・ 種類 ・ 傾製 ○ほうろう</li> <li>その他は図示による</li> </ul> <p>○ホワイトボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図示</li> </ul> <p>製造所: 黒板・白板 青井黒板製作所、カンサイ 又は同等以上</p> <p>青井黒板製作所「UDスライダー」 又は同等品</p> <p>寸法(mm) ○図示 (20.2.10)</p> <p>厚さ(mm) ※5mm ○6 手洗い炭台付化粧鏡 (四層SUSFB4.5×32)</p> <p>製造所: TOTO「YMG045A」 又は同等品</p>												
⑤ 造作家具	<p>材 質 木製家具(メラミン化粧板、一部天然木製板)、鋼製家具</p> <p>形状・寸法 ※詳細図参照</p> <p>製造所 岡村製作所、西尾家具工業社、内田洋行 又は同等以上</p>												
⑥ 学校間仕切	<p>材質 鋼製タイプ 後施工(改修)型 上吊仕様</p> <p>形状・寸法 ※詳細図参照</p> <p>製造所: 山金工業、文化シャッター、日本スピンドル製造 又は同等以上</p>												
⑦ アクコーディオン扉	<p>仕様 折れ戸 埋込レール</p> <p>製造所 立川プライド工業「ブレイス」 又は同等品</p>												
⑧ 耐火間仕切壁 (耐火認定品)	<p>耐火片面壁 (1時間耐火)</p> <p>「防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁と取り合う柱廻りに適用」</p> <p>製造所 吉野石膏「S9+6(認定:FP060NP-0007)」 又は同等品</p> <p>耐火片面仕切 壁厚109mm 「防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁に適用」</p> <p>製造所 吉野石膏「n(n)-q1+q2(認定:FP060NP-0199)」 又は同等品</p> <p>耐火遮蔽間仕切 (TLd-52相当品) 壁厚119mm 「遮蔽仕切の耐火壁に適用」</p> <p>製造所 吉野石膏「n(n)-q1+q2・W1(認定:FP060NP-0200)」 又は同等品</p>												
⑨ 耐震スリット	<p>耐震スリットは、構造特記仕様書 6章コンクリート工事による。</p>												

⑧ 屋内指示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製 ○木製 (指示壁)</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ○機シクロス ・ コルク</p> <p>仕様・寸法については標準詳細図 (指示壁) 参照のこと</p>
⑨ 消火器ボックス	<p>材 種 スチール製既製品 指定色焼付 設置場所図示</p> <p>製造所: 塩込タテ ユニオン「UPB-1F-2720」 又は同等品</p> <p>置型タテ ユニオン「UPB-3W-2752」 又は同等品</p>
⑩ コーナー見切 (30×見切)	<p>材 種 複質強化ビニル製既製品 65×65</p> <p>※コーナー見切A,Bは木製 (詳細は部分詳細図による)</p> <p>設 置 図示</p> <p>製造所: ナカ工業 「NPO-6655V」 又は同等品</p>
⑪ ピクチャーレール	<p>仕様 アルミ製押出型材 中量用 (安全荷重30kg)</p> <p>フック・ハンガー (@1000) 共</p> <p>製造所 タキヤ「コレターラインC-2E」 又は同等品</p>
⑫ パンバーガード	<p>材 種 合成ゴム製既製品 100×100</p> <p>設 置 図示</p> <p>製造所: ナカ工業 「NCD-1010M」 又は同等品</p>
⑬ ライニング	<p>パネリング材加工 化粧材(緑板)と同色とすること</p> <p>製造所: アイカ工業 又は同等品</p>
⑭ 化粧リブ壁	<p>木製型材 三角リブ リフH1 @20</p> <p>製造所 サカイ「サカイリブ 4 4」 又は同等品</p>
⑮ 昇降機設備	<p>用途 乗用 1台 積載量(定員) 750kg(11人)</p> <p>速度 定格速度 60m/min</p> <p>仕様 図示 (昇降機設備詳細図による)</p> <p>製造所: 三菱電機「リリウス」、日立「R37A」、フジテック 又は同等以上</p>



工事区分表																																
適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別	備考	適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別	備考	適用	項目	建築	電気	機械	昇降機	別	備考									
●	直接仮設	●	●	●				●	C・B・A・L・C・E・C・Pの設置 新設既設柱状の取付機取付用穴開け及び補修	●	●	●				●	サイン類の本体（非電照式）	●	○				誘導標識等を含む	●	防犯監視器	●	●					
●	関係官公署への申請手続	●	●	●				●	同上の穴埋	●	●	●					●	サイン類の本体（電照式）	○					照明器具を含む	●	防犯監視用の配管	●	●				
●	関係官公署の各種負担金						●	●	設備機取付の壁材の穴開け （防水・タイル工事の場合）	●	●	●					●	同上用電源	○						●	同上の配線及び端末機器取付	●	●				
●	本設受電後引込までの電気使用料金	●	●	●				●	設備機取付の壁材の穴開け （防水工事の場合）	●	●	●					●	同上の経路	○						●	同上の経路加工	●	●				
●	本設水道、下水、ガスの引込までの使用料金	●	●	●				●	設備機取付の壁材の穴開け （断熱・パネル・ガラス等の場合）	●	●	●					●	屋外用時計（建物壁面設置型）	○					※文字差のみ建築工事 基礎を含む	●	同上に取付機器又は端子機器 防水管理設備から中央監視設備間の 配管系統	●	●				
	コンクリート躯体の水糟積	○						●	パーティション組込ボックス及び配管	●	●	●					●	●	●	○												
	コンクリート躯体の電断積	○						●	同上の設備機器取付用補修	●	●	●					●	●	○							●	監視カメラ用モニター	●	●			
	同上の連通管及び構内通気管	○						●	同上の配線及び機器取付	●	●	●					●	●	○							●	監視カメラの配管	●	●			
	同上の屋外通気管	○		○				●	外壁ガラリ・パネルの取付	●	●	●			パネル孔明け共		●	●	○							●	同上の配線及び端末機器取付	●	●			
	同上のマンホール及び蓋	○						●	同上のダクト接続用金物	●	●	●					●	●	○													
	同上の点検口トラップ	○						●	同上のダクト及び接続	●	●	●					●	●	○							●	電動カーテン、ロールスクリーン等	○				
	同上の構内防水及び清掃	○						●	建具ガラリの取付	●	●	●					●	○								●	同上の1次側電源供給	○				
	同上の設備	○						●	同上のダクト接続用金物	○	○	○					●	●	○							●	同上の操作ボックスから駆動部までの配管	○				
	同上の水中ポンプ引上げガイドパイプ			○				●	同上のダクト及び接続	○	○	○					●	●	○							●	同上の操作ボックスから駆動部までの配線	○				
								●	ベントキャップの取付、ダクト及び接続	●	●	●					●	○								●	防火扉等の閉鎖装置	○				
	煙突の築造及び断熱	○							アクセスフロアの穴開け加工	○	○	○			OAフロアを含む		●	●	○							●	同上の防火扉までの制御監視用配管配線	○				
	煙突の排出口及び排水管	○							アクセスフロア下部の防塵塗装	○	○	○					●	○								○	防火扉・防火扉シャッター・埋込口・給気口・ダンパー等用の確認知識及び配管配線	○				
	煙突の煙突取合部の開口及び取付金物	○							アクセスフロアの設備機器用架台	○	○	○					●	○								○	防火扉シャッター等の天井点検口	○				
	煙突迄の標準	○		○				●	一般天井の設備機器取付用穴開	●	●	●					●	○								○	排煙口・給気口・ダンパー等の制御機構	○				
●	換気コンクリート造の 梁・壁・床のスリーブ及び箱入	●	●	●				●	同上の差し出し及び集計	●	●	●					●	○								●	排煙口・給気口及び手動開放装置	○				
●	同上の補修	●	●	●				●	設備機器取付用の壁及び天井の補修	●	●	●					●	○								●	同上の排煙口	○				
●	同上の穴埋	●	●	●				●	天井及び床の点検口	●	●	●					●	○								●	同上の操作ボックスから駆動部までの配管	○				
●	鉄骨鉄筋コンクリート造の梁貫通スリーブ	○						●	シャフト等の点検口	○	○	○					●	○								●	同上の操作ボックスから駆動部までの配線	○				
●	同上の補修	○															●	○								●	スクリーン等ボックス	○				
	同上の穴埋	○		○					湯沸室の流し台及びコンロ台	○	○	○			トラップは流し台に含む		●	○									●	各種カウンター及びベンチ	○			
	鉄骨造の梁貫通スリーブ	○							同上への配管及び機器取付	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	●
	同上の補修	○							湯沸室排気フード	○	○	○			天井扉は除く		●	○									●	●	●	●	●	●
	同上の穴埋（区画貫通部）	○		○					換気用のダクト及び接続	○	○	○					●	○								●	同上の水栓及び接続	○				
●	外壁貫通部の防水スリーブ	●	●	●					グリストラップ	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	同上の配管後のシーリング	●	●	●					プラスチックトラップ	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	設備機器設置用のコンクリート基礎	●					外灯除く		便所等の化粧鏡（オーダー品）	○	○	○					●	○								○	空室、衛生設備用一般電動機及び据付	○				
●	設備機器設置用のアンカ用孔開け及び箱入	●	●	●				●	便所等の化粧鏡（既製品）	○	○	○					●	○								●	同上制御盤と電動機接続までの電気工事	○				
●	設備機器設置用のアンカ及び埋戻	●	●	●				●	便所等の蓋台	○	○	○					●	○								●	同上制御盤と電動機接続までの電気工事	○				
●	設備機器設置用の鋼製架台	●						●	便所等の照明用具ボックス	○	○	○					●	○								●	冷温水発生機等の操作盤及び据付	○				
●	設備機器設置用のコンクリート基礎の仕上げ	●						●	同上の照明器具	○	○	○					●	○								●	同上の2次側電気工事	○				
●	屋外へのコンクリート配管立上	○						●	車椅子用便所の鏡	○	○	○					●	○								●	同上のガス配管	○				
●	同上の配管後開口部ふさぎ	○						●	車椅子用便所のオストメイト	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	同上の配管後のシーリング	○						●	便所等の洗面カウンター	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
	雨水排水の経路及び最寄金所への接続	●						●	便所内の身障者用手摺	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	雨水排水の金所軒及び屋外排水管	●						●	ペーパーホルダー	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	雨水排水の金所軒の蓋	●						●	洗濯機用防水パン	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	雨水幹線への接続	●						●	ユニットシャワー	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	調整池関連の整備	●						●	ミニキッチン、流し台	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	汚水排水の金所軒及び蓋	●						●	同上の電気温水器	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	化粧蓋の場合の化粧仕上	●						●	同上の1次側電源	○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	下水本管への接続	●						●		○	○	○					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	水道本管から量水器までの工事						●	●	エレベータ本体および搬入据付・調整	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
●	量水器以降の工事							●	エレベータの各階出入口の開口及び補修	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	機器搬入用仮設開口及び仕舞	○						●	エレベータの各階押鈴等の穴開	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	同上の機器搬入用フック及びホイストビーム	○						●	エレベータ昇降路内の搬入用吊フック	●	●	●			エレベーターメーカーの支給		●	○									●	●	●	●	●	●
	配管・配線用のビット及びレンチ	○						●	エレベータ昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	同上の縁金物及び蓋	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	同上の内部仕上	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	電気室・機械室等の床コンクリート	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	発電機室のオイルタンク廻りの防油堤	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	同上の床油ビット	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	発電機室のオイルタンク及び架台	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●					●	○								●	●	●	●	●	●	
	同上の給油口	○						●	エレベーター昇降路内の エレベーター電源供給	●	●	●																				



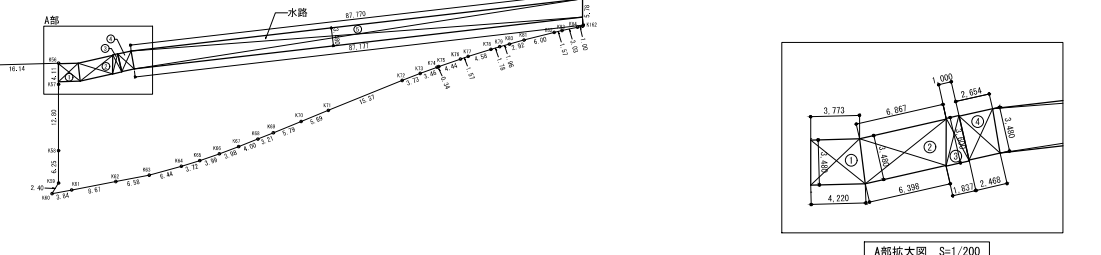
NO	Xn	Yn	Yn+1(m)	Xn+1(m)
K1	-11726.870	56274.174	-4.140	12252.913120
K2	-11726.726	56274.063	-3.180	12459.408680
K3	-11726.596	56269.994	-40.737	48043.62152272
K4	-11724.124	56252.276	-65.407	61462.71471530
K5	-11727.894	56274.587	-29.089	34447.558856
K6	-11724.014	56202.187	-33.140	29022.8523960
K7	-11727.894	56191.441	-22.320	31721.4444480
K8	-11724.934	56175.867	-20.109	31052.6427440
K9	-11724.004	56162.338	-15.219	17925.265636
K10	-11726.074	56146.646	-26.420	23942.0210180
K11	-11783.094	56131.918	-20.350	31041.1528960
K12	-11726.814	56134.298	-22.029	25951.4423866
K13	-11726.784	56113.899	-26.369	21061.8428180
K14	-11726.564	56107.929	-8.650	10427.56241400
K15	-11726.244	56107.039	-33.840	38872.609960
K16	-11726.924	56103.099	-4.781	54246.4110710
K17	-11726.486	56102.258	28.588	-34138.1477580
K18	-11726.536	56100.047	3.633	-4292.9246488
K19	-11726.924	56100.991	-20.424	24072.9217720
K104	-11726.910	56085.623	-27.637	26673.581120
K105	-11726.424	56082.259	62.882	-25957.605168
K106	-11726.216	56146.325	38.297	-14001.8248855
K107	-11726.938	56171.556	27.665	-23765.48379370
K108	-11726.300	56168.170	1.024	-13967.683200
K109	-11726.182	56171.556	-26.162	68446.8238294
K170	-11726.870	56110.008	-45.697	77429.92880590
K19	-11726.648	56106.883	-6.928	81677.4121344
K20	-11726.912	56102.005	-4.159	49033.281167
K21	-11726.751	56102.724	61.234	-32194.1218734
K22	-11804.910	56164.314	65.629	-77448.4228390
K23	-11801.786	56166.262	6.416	-69208.020890
K24	-11801.694	56172.729	4.617	-58506.865990
K25	-11802.224	56173.170	3.485	-43494.362290
K26	-11802.482	56178.414	7.512	-48664.430818
K27	-11802.871	56182.662	20.167	-33451.920945
K28	-11801.861	56204.581	28.109	-33173.948489
K29	-11801.521	56206.791	4.717	-56335.368617
K30	-11802.198	56209.388	1.305	-14409.818390
K31	-11801.627	56210.096	2.213	-28156.73875
K32	-11806.064	56211.571	2.047	-39957.818000
K33	-11806.915	56213.143	4.555	-53751.942825
K34	-11801.892	56218.126	15.282	-48009.4265224
K35	-11726.271	56226.466	14.065	-48638.263920
K36	-11726.340	56225.181	1.966	-23191.144440
K37	-11726.120	56230.371	-0.275	3246.433000
K38	-11726.271	56230.371	-0.579	68309.294232
K39	-11727.181	56229.792	-0.158	18640.384588

NO	Xn	Yn	Yn+1(m)	Xn+1(m)
K40	-11726.290	56229.748	0.540	-4719.051600
K41	-11726.101	56229.822	0.271	-4379.762671
K42	-11727.101	56230.119	0.671	-7916.353771
K43	-11727.990	56230.553	0.818	-49501.579620
K44	-11727.655	56230.937	1.172	-11292.791390
K45	-11726.495	56231.675	1.528	-18025.916360
K46	-11726.560	56232.465	1.673	-19792.921680
K47	-11726.745	56233.353	2.014	-23189.026480
K48	-11726.910	56234.479	2.167	-25638.466970
K49	-11726.386	56235.320	3.877	-48739.477882
K50	-11726.915	56236.356	10.825	-129991.288525
K51	-11726.746	56246.465	18.039	-21791.850684
K52	-11726.868	56246.395	16.856	-209007.248248
K53	-11726.924	56246.411	14.102	-121896.898488
K54	-11724.307	56270.387	14.833	-174842.070731
K55	-11724.363	56276.244	22.024	-259182.674732
K56	-11726.009	56292.811	18.129	-192272.141161
K57	-11724.723	56294.373	7.276	-85814.976548
K58	-11725.284	56299.987	8.224	-97004.807616
K59	-11726.924	56302.997	2.459	-20006.994166
K60	-11726.320	56302.346	2.851	-33630.723320
K61	-11726.043	56305.448	10.867	-119103.457171
K62	-11726.928	56312.453	12.200	-140593.026400
K63	-11726.914	56317.748	10.189	-119443.692356
K64	-11726.789	56322.012	7.585	-88578.267455
K65	-11724.290	56325.343	5.300	-65813.298900
K66	-11724.459	56328.192	5.609	-68159.034531
K67	-11727.587	56330.952	5.468	-64842.853336
K68	-11724.624	56333.980	4.468	-47469.529000
K69	-11726.289	56335.357	6.071	-71966.926519
K70	-11726.010	56339.761	7.259	-97244.869390
K71	-11722.900	56343.086	14.268	-61949.350400
K72	-11721.440	56335.909	12.931	-152475.878019
K73	-11726.729	56336.527	4.973	-66395.062425
K74	-11727.229	56336.042	2.658	-31329.441262
K75	-11726.989	56339.105	3.407	-80170.115232
K76	-11726.892	56362.349	4.301	-697104.510462
K77	-11726.720	56363.488	4.507	-511291.788390
K78	-11726.664	56366.056	4.679	-531602.927856
K79	-11728.459	56368.185	2.296	-37944.088180
K80	-11727.189	56369.452	3.896	-43571.929598
K81	-11726.283	56371.891	6.830	-89524.571990
K82	-117281.423	56376.482	5.811	-68880.801743
K83	-11728.424	56377.102	3.811	-438891.281514
K84	-11728.574	56380.103	3.202	-37478.212848
K85	-117281.970	56380.104	-1.688	18899.883360
K86	-11728.763	56376.415	7.564	-148989.101168
K87	-11728.297	56402.470	74.783	-881215.298551

NO	Xn	Yn	Yn+1(m)	Xn+1(m)
K159	-11725.640	56453.198	1.899	-22370.260160
K158	-11724.913	56454.389	2.053	-24314.626669
K157	-11723.275	56455.281	1.433	-16885.063075
K156	-11723.716	56455.802	0.742	-67431.133272
K155	-11720.074	56455.903	0.010	-3131.769682
K154	-11726.430	56455.815	-0.717	94482.984310
K153	-11726.867	56455.276	-1.410	180135.882670
K152	-11726.462	56454.463	-26.036	339163.022232
K151	-11727.140	56426.440	-56.217	662207.619380
K150	-11728.664	56388.188	-34.903	411614.882592
K149	-11723.196	56291.527	-14.923	174389.168885
K148	-11725.173	56383.265	-22.851	268846.584763
K147	-11726.314	56388.208	-46.170	578687.242789
K146	-11711.425	56234.093	-46.747	338692.762875
K145	-11727.726	56322.985	-6.278	-109273.542320
K144	-117219.515	56343.373	-4.247	499687.563115
K143	-11723.274	56218.224	-25.220	292382.012280
K142	-11720.055	56318.143	-7.892	91810.089110
K141	-11723.590	56310.927	-9.546	114838.591000
K140	-11720.808	56307.887	-4.581	53972.932708
K139	-11729.703	56306.341	-21.447	257705.640241
K137	-11728.475	56287.150	-27.496	232879.404600
K138	-11724.586	56278.845	-13.947	153866.120106
K135	-11727.156	56274.103	-5.671	66827.671676

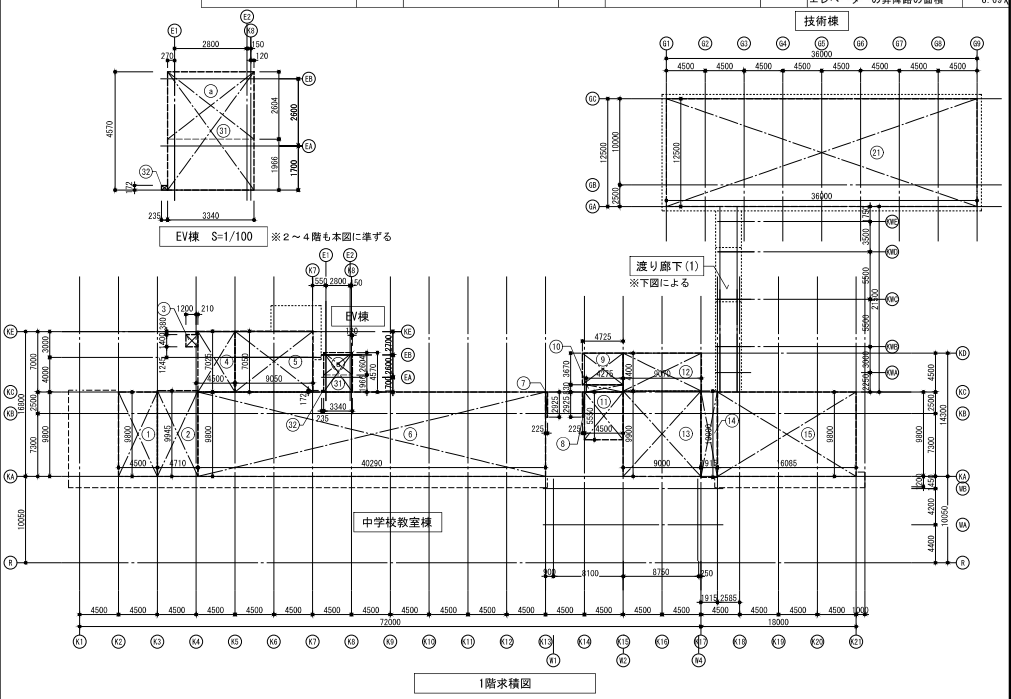
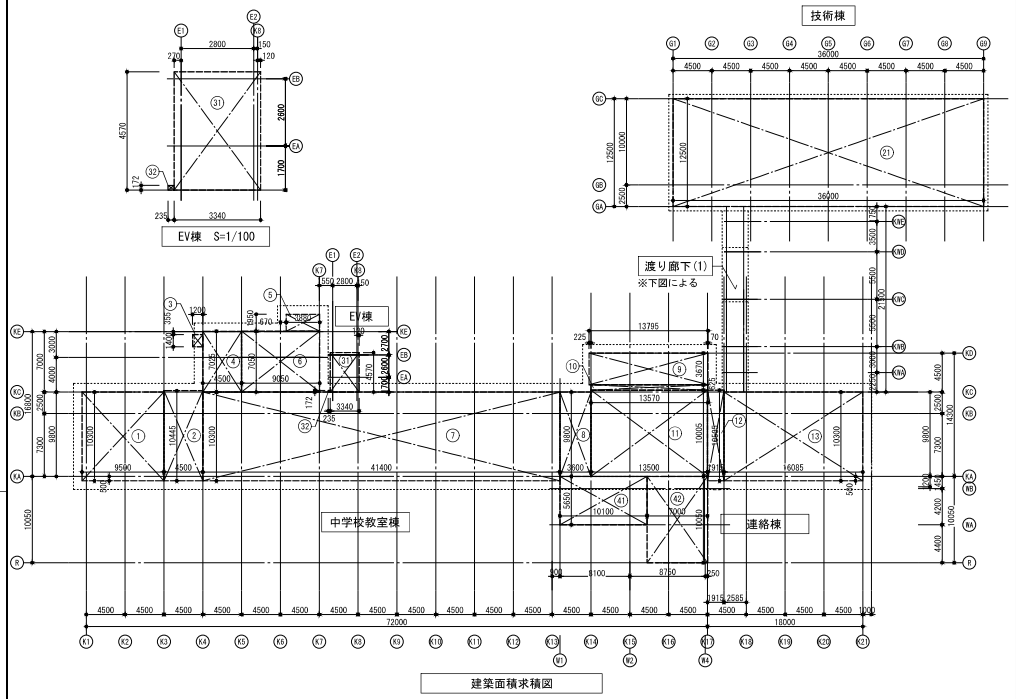
水路部分	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
①	(3.773 + 4.220) × 3.480 ÷ 2	12.90782
②	(6.867 + 6.388) × 3.480 ÷ 2	23.08110
③	(1.000 + 1.837) × 3.480 ÷ 2	5.18660
④	(2.604 + 2.468) × 3.480 ÷ 2	8.91228
⑤	(8.770 + 8.177) × 3.480 ÷ 2	304.40778
合計		355.41558 m <sup>2</sup>

敷地面積	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
敷地面積	30964.086820 = 355.41558	50908.673102
敷地面積		50908.673102 m <sup>2</sup>



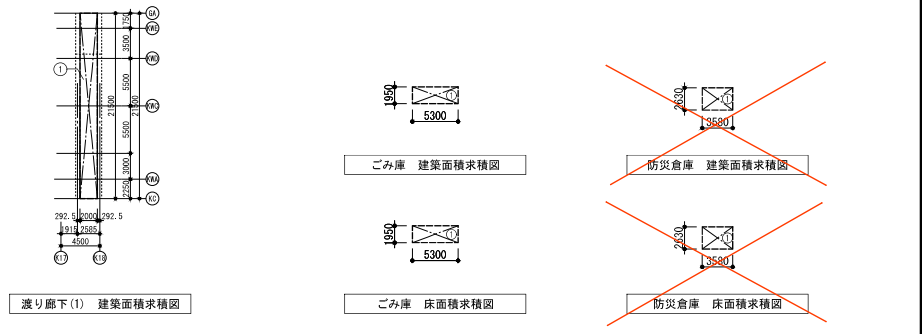
中学校教室棟 建築面積				技術棟 建築面積				EV棟 建築面積				連絡棟 建築面積							
記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)					
1	9.5000 × 10.3000 =	97.850	8	3.6000 × 9.8000 =	35.280	Z1	36.0000 × 12.5000 =	450.000	31	3.3400 × 4.5700 =	15.264	41	10.1000 × 9.6500 =	97.965					
2	4.5000 × 10.4450 =	47.003	9	13.7950 × 3.6700 =	50.628				32	0.2350 × 0.1720 =	0.040	42	7.0000 × 10.0500 =	70.350					
3	1.2000 × 1.4000 =	1.680	10	13.5700 × 0.6250 =	8.481														
4	4.5000 × 7.0250 =	31.613	11	13.5000 × 10.0050 =	135.060														
5	3.8800 × 1.9500 =	7.568	12	1.9150 × 10.5050 =	20.117														
6	9.0500 × 7.0500 =	63.803	13	16.0850 × 10.3000 =	165.676														
7	41.4000 × 10.3000 =	426.420																	
建築面積				1091.18建築面積				450.00建築面積				15.30建築面積				127.41			

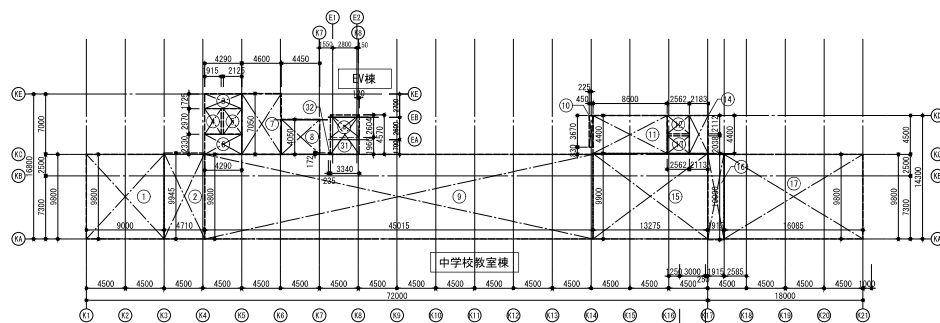
中学校教室棟 1階床面積				技術棟 床面積				EV棟 1階床面積							
記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)				
1	4.5000 × 9.8000 =	44.100	9	4.2750 × 3.6700 =	17.341	Z1	36.0000 × 12.5000 =	450.000	32	3.3400 × 4.5700 =	15.264				
2	4.7100 × 9.9450 =	46.841	10	4.2750 × 0.8300 =	3.548				a	0.2350 × 0.1720 =	0.040				
3	1.2000 × 1.4000 =	1.680	11	4.5000 × 5.9500 =	24.975										
4	4.5000 × 7.0250 =	31.613	12	9.0700 × 4.4000 =	39.908										
5	9.0500 × 7.0500 =	63.803	13	9.0000 × 9.9000 =	89.100										
6	40.2900 × 9.8000 =	394.842	14	1.9150 × 10.0000 =	19.150										
7	0.2250 × 2.9250 =	0.658	15	16.0850 × 9.8000 =	157.633										
8	0.2250 × 2.9250 =	0.658													
床面積				935.84床面積				450.00床面積				15.30床面積			
								エレベーターの昇降路の面積				8.69			



総括表				
	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)	容積対象床面積 (㎡)	容積対象外床面積 (㎡)
中学校教室棟	R階	27.96	27.96	0.00
	4階	1023.97	1023.97	0.00
	3階	1023.97	1023.97	0.00
	2階	1019.31	1019.31	0.00
	1階	935.84	935.84	0.00
	小計	4031.05	4031.05	0.00
技術棟	4階	450.00	450.00	0.00
	3階	15.30	6.61	8.69
	2階	15.30	6.61	8.69
	1階	15.30	6.61	8.69
	小計	61.20	26.44	34.76
連絡棟	3階	35.17	35.17	0.00
	2階	42.17	42.17	0.00
	1階	0.00	0.00	0.00
	小計	77.34	77.34	0.00
	駐輪場	778.50	579.60	579.60
部室棟	106.00	176.04	176.04	0.00
ごみ庫	10.33	10.33	10.33	0.00
防災倉庫	9.41	9.41	9.41	0.00
合計 (㎡)	2662.13	5304.97	5304.97	34.76
	2472.72	5209.52	5174.76	

渡り廊下 (1) 床面積				ごみ庫 建築面積、床面積				防災倉庫 建築面積、床面積			
記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)	記号	計算式	面積 (㎡)
1	2.0000 × 21.6000 =	43.200	1	6.3000 × 1.9500 =	10.226	1	3.5800 × 2.6200 =	9.415			
建築面積				43.00建築面積				10.33建築面積			
				1				3.5800 × 2.6300 = 9.415			
床面積				10.33床面積				9.415			





4階床面積図

中学校教室棟 4階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
1	9.0000 × 9.8000 =	88.200
2	4.7100 × 9.9450 =	46.841
3	4.2900 × 1.7250 =	7.400
4	1.9150 × 2.9700 =	5.688
5	2.1250 × 2.9700 =	6.311
6	4.2900 × 2.3300 =	9.996
7	4.6000 × 7.0500 =	32.430
8	4.4500 × 4.0500 =	18.023
9	45.0150 × 9.8000 =	441.147
10	0.4500 × 3.6700 =	1.652
11	8.6000 × 4.4000 =	37.840
12	2.5620 × 2.1120 =	5.411
13	2.5620 × 2.0380 =	5.221
14	2.1830 × 4.4000 =	9.605
15	13.2750 × 9.9000 =	131.423
16	1.9150 × 10.0000 =	19.150
17	16.0850 × 9.8000 =	157.633
床面積		1023.97㎡

EV棟 4階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
31	3.3400 × 4.5700 =	15.264
32	0.2350 × 0.1720 =	0.040
a	3.3400 × 2.6040 =	8.697
床面積		15.304
エレベーターの昇降路の面積		8.697

中学校教室棟 3階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
1	9.0000 × 9.8000 =	88.200
2	4.7100 × 9.9450 =	46.841
3	4.2900 × 1.7250 =	7.400
4	1.9150 × 2.9700 =	5.688
5	2.1250 × 2.9700 =	6.311
6	4.2900 × 2.3300 =	9.996
7	4.6000 × 7.0500 =	32.430
8	4.4500 × 4.0500 =	18.023
9	45.0150 × 9.8000 =	441.147
10	0.4500 × 3.6700 =	1.652
11	8.6000 × 4.4000 =	37.840
12	2.5620 × 2.1120 =	5.411
13	2.5620 × 2.0380 =	5.221
14	2.1830 × 4.4000 =	9.605
15	13.2750 × 9.9000 =	131.423
16	1.9150 × 10.0000 =	19.150
17	16.0850 × 9.8000 =	157.633
床面積		1023.97㎡

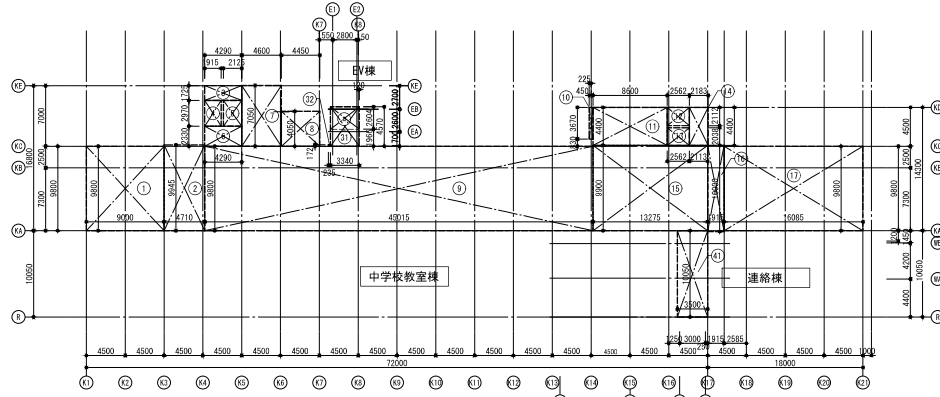
EV棟 3階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
31	3.3400 × 4.5700 =	15.264
32	0.2350 × 0.1720 =	0.040
a	3.3400 × 2.6040 =	8.697
床面積		15.304
エレベーターの昇降路の面積		8.697

連絡棟 3階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
41	3.5000 × 10.0500 =	35.175
床面積		35.175

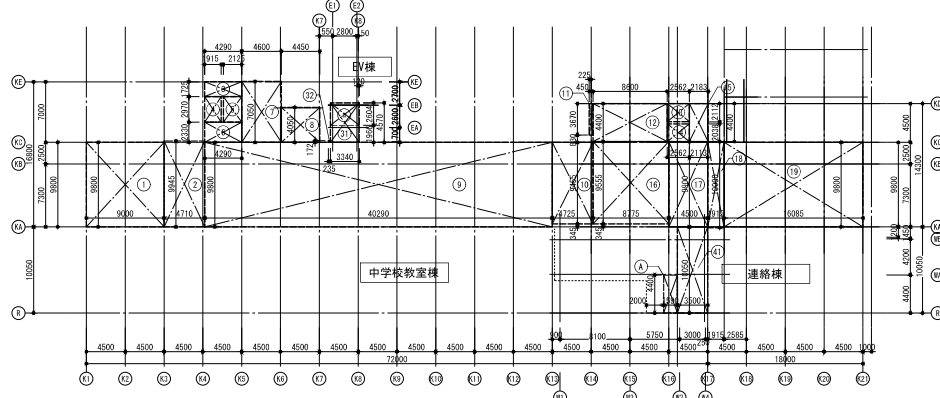
中学校教室棟 2階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
1	9.0000 × 9.8000 =	88.200
2	4.7100 × 9.9450 =	46.841
3	4.2900 × 1.7250 =	7.400
4	1.9150 × 2.9700 =	5.688
5	2.1250 × 2.9700 =	6.311
6	4.2900 × 2.3300 =	9.996
7	4.6000 × 7.0500 =	32.430
8	4.4500 × 4.0500 =	18.023
9	40.2900 × 9.8000 =	394.842
10	4.7250 × 9.4550 =	44.675
11	0.4500 × 3.6700 =	1.652
12	8.6000 × 4.4000 =	37.840
13	2.5620 × 2.1120 =	5.411
14	2.5620 × 2.0380 =	5.221
15	2.1830 × 4.4000 =	9.605
16	8.7750 × 9.5550 =	83.645
17	4.5000 × 9.9000 =	44.550
18	1.9150 × 10.0000 =	19.150
19	16.0850 × 9.8000 =	157.633
床面積		1019.31㎡

EV棟 2階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
31	3.3400 × 4.5700 =	15.264
32	0.2350 × 0.1720 =	0.040
a	3.3400 × 2.6040 =	8.697
床面積		15.304
エレベーターの昇降路の面積		8.697

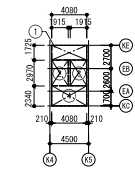
連絡棟 2階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
41	3.5000 × 10.0500 =	35.175
A	1.5900 × 4.4000 =	6.996
床面積		42.171



3階床面積図



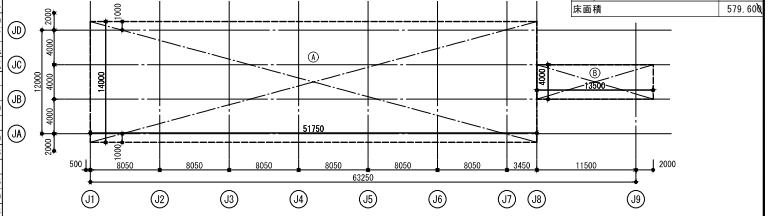
2階床面積図

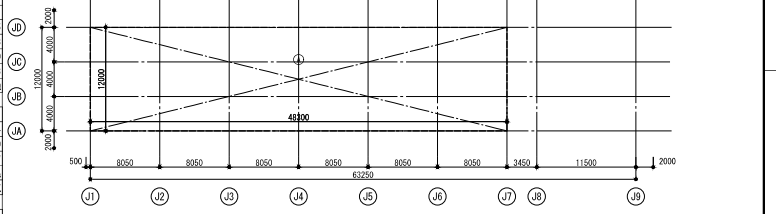
R階床面積図

中学校教室棟 R階床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
1	4.0800 × 1.7250 =	7.038
2	1.9150 × 2.9700 =	5.688
3	1.9150 × 2.9700 =	5.688
4	4.0800 × 2.3400 =	9.547
床面積		27.961

駐輪場 建築面積、床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
A	51.7500 × 14.0000 =	724.500
B	13.5000 × 4.0000 =	54.000
建築面積		778.500
床面積		579.600

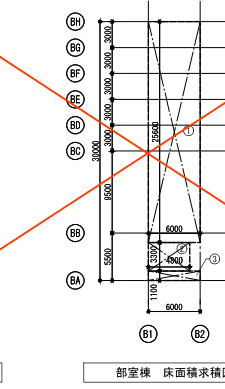
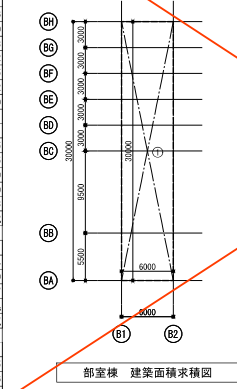


駐輪場 建築面積求積図



駐輪場 床面積求積図

部室棟 建築面積、床面積		
記号	計算式	面積 (㎡)
1	6.0000 × 30.0000 =	180.000
2	4.8000 × 3.3000 =	15.840
3	6.0000 × 1.1000 =	6.600
床面積		176.040



部室棟 建築面積求積図

部室棟 床面積求積図

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A315
		図面名称	<後半工事> 建物求積図 その2		

内部仕上表 (新築工事)

Table with columns for room name, construction type, and specifications for new construction work.

内部仕上表 (改修工事)

Main table for renovation work, divided into '現状仕上' (Current Finish) and '改修仕上' (Renovation Finish) sections.

Table containing material specifications, standards, and compliance information for the renovation work.

Table with project details including dates, names, and identification numbers.

内部仕上表（改修工事）

(現状仕上)

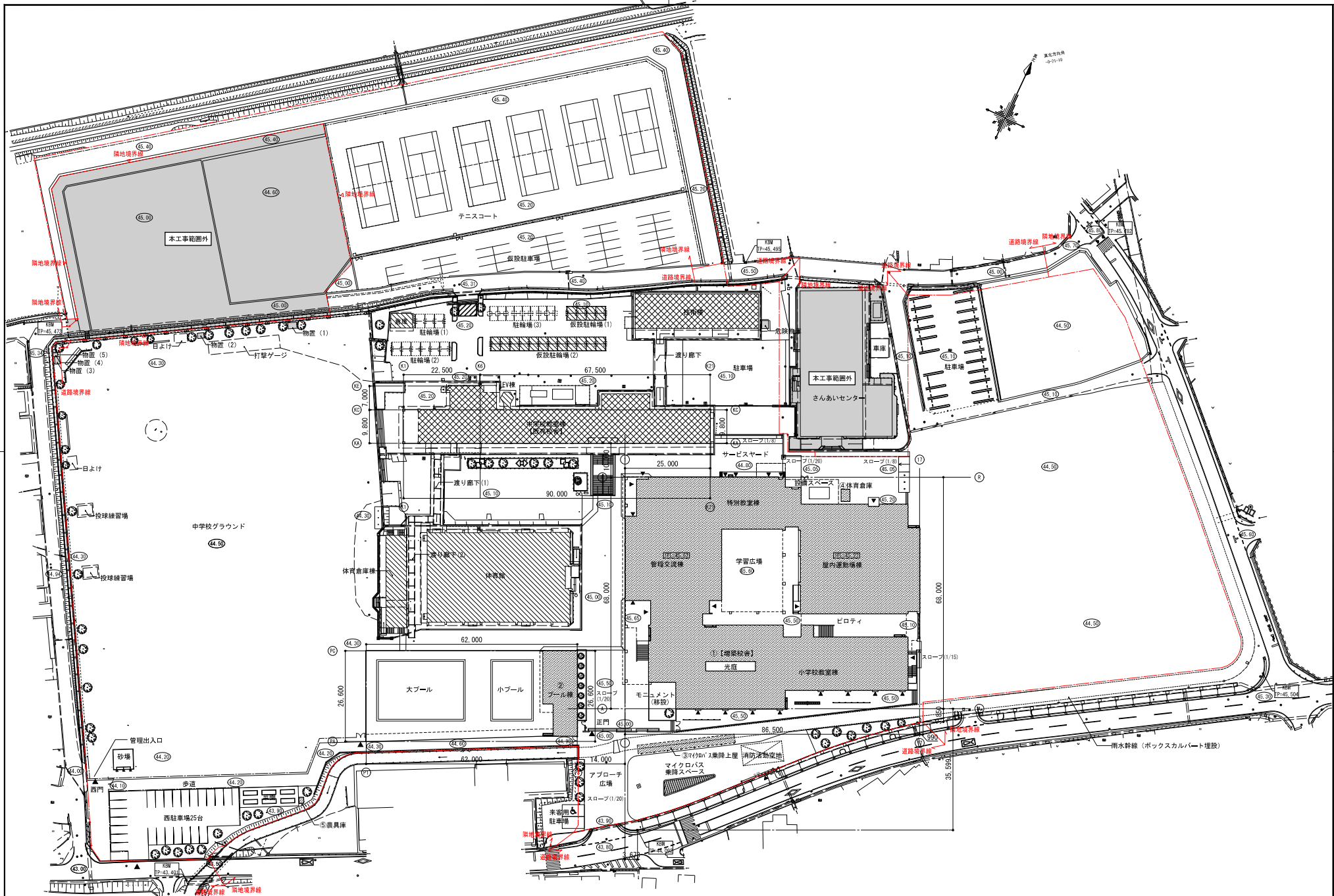
階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考
				下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り線	アクリル板の有無		
				(特記外 下地：鋼製LGS)										
既存校舎棟2階	会議室			OAフロア	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9.5+ビニル貼	3000	V	W	天井吊钩口、消火器口、サインは別窓による	
	小会議室			OAフロア	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9.5+ビニル貼	3000	V	W	黒板、掲示板、収納棚	
	更衣室1,2			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5	2700	V	W	掃除用具入、手洗器、脱衣板、戸棚	
	更衣室和室			鋼製床組	畳敷き	木製巾木	M0	ビニル貼	化粧P9.5(主目録)	2670	W	-	挿入、床の間、障子	
	保健室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5(主目録)	3000	V	W	流し台、洗面台、薬品棚、布団収納棚	
	放送室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9+DR12	3000	V	W	放送卓、収納棚	
	印刷室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9+DR12	3000	V	W	備品収納棚、窓下収納棚、作業台	
	職員室			OAフロア	ビニル貼	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9+DR12	3000	V	W	備品収納棚、窓下収納棚、作業台	
	湯沸室			OAフロア	ビニル貼	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9+DR12	3000	V	-	ミキサー、食器棚、サイド台	
	喫煙室			OAフロア	ビニル貼	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	P9+DR12	3000	V	W	スチールラック	
	昇降口			RC	磁器質100角4枚	床材体立上	M0	窓裏付4張り	P9+DR12	3150	V	-	上り框、下足入	
	玄関ホール			RC	長尺1m貼(2)	ビニル巾木	M0	窓裏付4張り	P9+DR12	3000	V	-	収納棚、飾り棚	
	校長室			鋼製床組	クッション	木製巾木	M0	天然目録付化粧合板	P9+DR12	3000	V	W	戸棚、収納手洗台、金庫棚、収納棚	
	図書準備室			木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	化粧P9.5貼	3000	V	W	書架、展示棚	
	図書室			木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	化粧P9.5貼	3000	V	W	黒板、掲示板、クッション、書架、スクリーン	
	既存校舎棟3階	第1理科室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	3000	V	W	上下黒板、掃除用具入、収納、作業台
		理科準備室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	3000	V	W	実験台(教師・生徒)、流し台、スクリーン
		第2理科室			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	3000	V	W	実験台(教師・生徒)、流し台、スクリーン
		普通教室(2-1, 2-2, 2-3)			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	3000	V	W	黒板、掲示板、掃除用具入、収納台
		多目的室2			鋼製床組	クッション	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	3000	V	W	黒板、掲示板、掃除用具入、収納台
生徒会室				木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	化粧P9.5貼	3000	V	W	掃除用具入、戸棚、床ビッド	
スタディ①				木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	P9+DR12	3000	V	W	上下黒板、掲示板、掃除用具入	
通読教室(まほろば)				木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	P9+DR12	3000	V	W	床ビッド	
スタディ②				木製二重床	クッション	ビニル巾木	M0	EPa塗装	P9+DR12	3000	V	W	黒板、掲示板、掃除用具入、床ビッド	
教室				RC	長尺1m貼(2)	ビニル巾木	M0	ラフтон吹付	化粧P9.5貼	2700	V	W	戸棚、ラック等	

(改修仕上)

階	室名	内装制限	化学物質測定	床		幅木		壁		天井				備考
				下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	天井高	廻り線	アクリル板の有無		
				(特記外 下地：鋼製LGS)										
既存校舎棟2階	普通教室(8-1)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	教師控室4			二重床	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	クッション、鏡、洗面(設備)	
	更衣室9			二重床	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	脱衣棚	
	普通教室(8-2)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	普通教室(8-3)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	更衣室10			二重床	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	脱衣棚	
	昇降口			RC	床用4A	石	下地調整	内装吹付材	GB-R9.5+DR9	2850	V	-	上り框	
	玄関ホール			RC	FS-A	WB	下地調整	内装吹付材	GB-R9.5+DR9	2850	V	-	下足棚、木化粧壁、掲示板	
	連絡通路(廊下)			二重床	FS-A	WB	下地調整	EP-Si、塩ビフィルム貼	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	掲示板	
	多目的室4			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	掲示板	
	多目的室(普通教室8-4)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	理科室2			二重床	FS-E	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	上下黒板、掃除用具入、収納棚	
	理科準備室			二重床	FS-E	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	実験台、収納棚	
	理科室3			二重床	FS-E	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	上下黒板、掃除用具入、収納棚	
	普通教室(7-1, 7-2)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	更衣室11			二重床	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	脱衣棚	
	連絡通路(廊下)			二重床	FS-A	WB	下地調整	EP-Si、塩ビフィルム貼	GB-R9.5+DR9	2700	V	-	掲示板	
	更衣室12			二重床	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	脱衣棚	
	普通教室(7-3)			二重床	クッション	WB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示板、掃除用具庫	
	教師控室5			RC	FS-B	VB	下地調整	EP-Si	GB-D(有孔)9.5	2700	V	W	クッション、鏡、洗面(設備)	

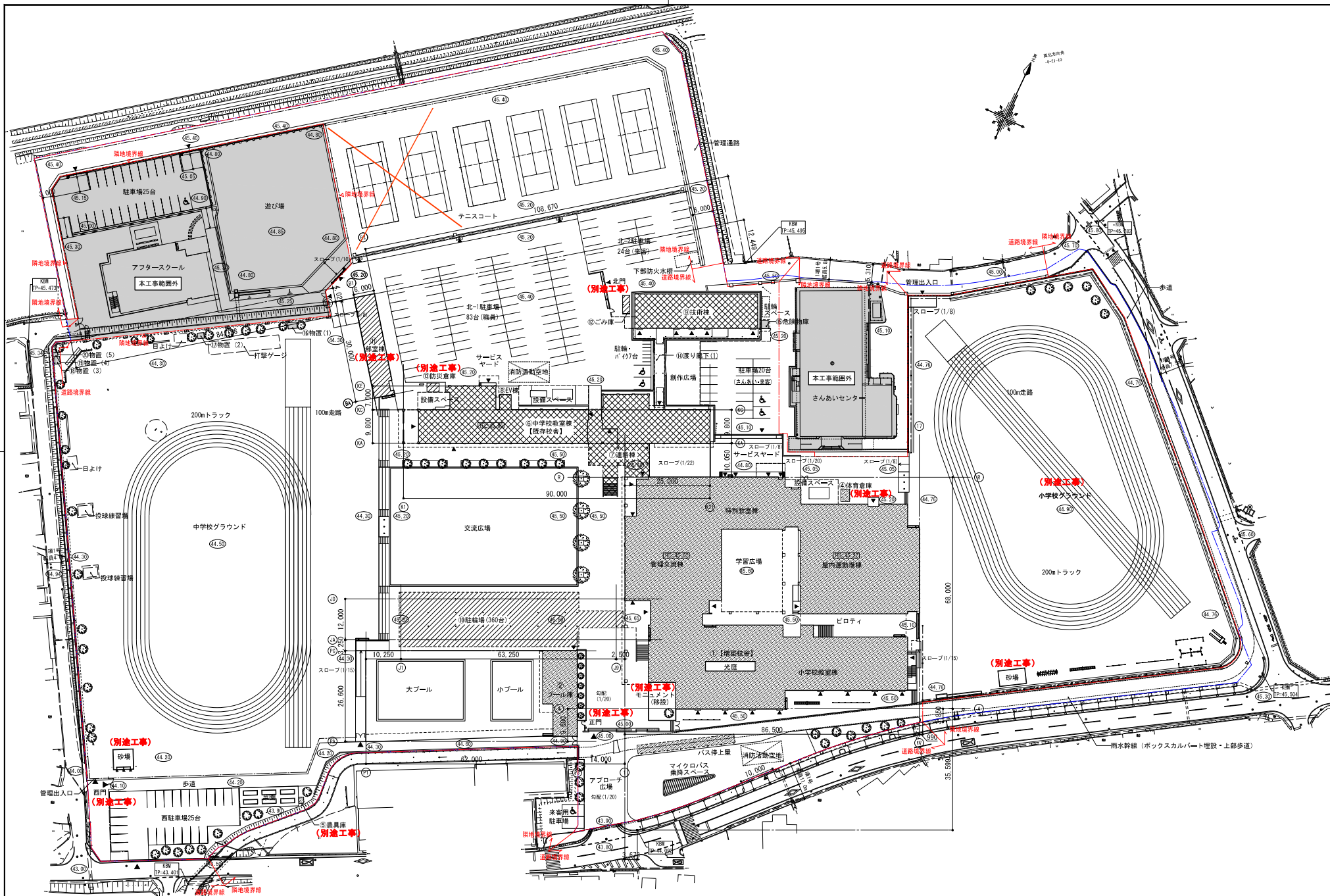
内部仕上表（改修工事）

階	(現状仕上)										(改修仕上)																	
	室名	内装制限	床		幅木		壁		天井		備考	階	室名	内装制限	床		幅木		壁		天井		備考					
			下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	天井高	廻り線					天井高	廻り線	下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ		天井高	廻り線			
既存校舎棟4階	音楽室		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	上下黒板、消火器、サインは別窓による	音楽室3	準	〇	二重床	クハベ-11	WB	下地調整	EP-Si	GB-R9,5+DR9	3000	V	W	上下白板、掃除用具庫、収納棚			
	音楽準備室		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	スベ-キ台、スチール収納台	音楽準備室			二重床	クハベ-11	VB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-R9,5+DR9 寒冷紗ハチ散き EP	2400	V	W	手動スクリーン			
	多目的室1		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	入れ、廊下側	多目的室1			二重床	クハベ-11	D	WB	LGS	GB-R12,5+GB-RH9,5+EP-Si				楽器収納棚			
	普通教室(1-1,1-2,1-3)		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	生徒用、教師用棚、マップホルダー	普通教室(9-1,9-2)	準	〇	二重床	クハベ-11	D	WB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-D(有孔)9,5	3000	V	W	昇降式黒板、掲示壁、掃除用具庫		
	家庭科教室		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	生徒用、教師用棚、手動スクリーン、マップホルダー	家庭科教室			二重床	FS-B	VB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-R9,5+DR9,5+EP-Si	2400	V	W	背面のカー、移動のカー、手動スクリーン			
	家庭科準備室		鋼製床組	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	3000	V	W	白板、作業台、作品保管庫、ミソ収納棚	家庭科準備室			二重床	FS-B	VB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-R12,5+GB-RH9,5+EP-Si				昇降式黒板、掲示壁、掃除用具庫			
	美術準備室		木製二重床	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	EPa塗装	化絶PB9,5貼	3000	V	W	作業台、流し台、整理棚、大型戸棚	美術準備室			二重床	FS-B	VB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-R12,5+GB-RH9,5+EP-Si				背面のカー、移動のカー、手動スクリーン			
	美術教室		木製二重床	クハベ-11	ビ-2471巾木	M0	EPa塗装	化絶PB9,5貼	3000	V	W	上下黒板、美術机、展示棚、作業台、流し台	美術教室			二重床	FS-B	VB	下地調整 耐火遮音-耐火壁	EP-Si	GB-R12,5+GB-RH9,5+EP-Si				昇降式黒板、掲示壁、掃除用具庫			
	教室		RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	W	戸棚、クローゼット	教室			〇	RC	FS-B	VB	下地調整 既存LGS壁	EP-Si	GB-R9,5	2700	V	W	背面のカー、移動のカー、手動スクリーン		
	既存校舎棟共通	廊下		RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	-		廊下	準		RC	FS-A	WB	下地調整 耐火壁	内装吹付材	GB-R9,5+DR9	2700	V	-	掲示壁、ビ-クローゼット		
西階段			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	-	補助手摺、ガラス投入口	西階段	準		RC	FS-A	VB	下地調整	内装吹付材	段裏-リシン吹付	-	-	-	補助手摺、ノリカッパ 金物			
東階段			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	-	補助手摺、掲示壁	東階段	準		RC	FS-A	VB	下地調整	内装吹付材	最上階-既存仕上 EP	-	-	-	補助手摺、ノリカッパ 金物			
倉庫(2~4階)			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	-	物品棚	相談室(11,12,13)			〇	RC	FS-B	VB	下地調整 既存LGS壁	EP-Si	GB-D9,5	2700	V	W			
手洗コーナー(2~4階)			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2700	V	-	流し台、深型流し台、配食棚	手洗コーナー(2~4階)			RC	FS-A	VB	下地調整 既存LGS壁	内装吹付材	GB-R9,5+DR9	2700	V	-	流し台、SK流し台			
男子・女子便所			M0	長尺-1貼(2)	磁器質1/4	M0	磁器質100角1/4	クハ板16 VP塗	2400	V	-	トイレ、サイン、補助手摺、汚籠石	男子・女子便所			M0	既のまま (クローゼット)	既のまま	RC	既のまま (クローゼット)	EP-Si	GB-D9,5	2400	V	-	既存のまま		
男子・女子手洗			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2400	V	-	流し台、床見切り	男子・女子手洗			RC	FS-B	VB	下地調整 既存LGS壁	内装吹付材	GB-D9,5	2400	V	-	流し台			
多目的便所			RC	長尺-1貼(2)	磁器質1/4	M0	磁器質100角1/4	クハ板16 VP塗	2430	V	-	サイン、補助手摺	多目的便所			RC	既のまま (クローゼット)	既のまま	RC	既のまま (クローゼット)	EP-Si	GB-D9,5	2430	V	-	既存のまま		
男子・女子職員便所			M0	長尺-1貼(2)	磁器質1/4	M0	磁器質100角1/4	クハ板16 VP塗	2430	V	-	トイレ、サイン、洗面コック、汚籠石	男子・女子職員便所			M0	既のまま (クローゼット)	既のまま	RC	既のまま (クローゼット)	EP-Si	GB-D9,5	2430	V	-	既存のまま		
職員便所前室			RC	長尺-1貼(2)	ビ-2471巾木	M0	ラフтон吹付	化絶PB9,5貼	2430	V	-	SK流し台	職員便所前室			RC	FS-A	VB	下地調整 既存LGS壁	EP-Si	GB-D9,5	2430	V	-				
技術棟1階	金工教室		RC	クハ板16	木製巾木	LGS	クハ板16厚0底目張+OP塗	有孔PB9+EP	3000	V	W	上下黒板、流し台、作業台(教師・生徒)	美術室			〇	M0	FS-C	VB	LGS	下地調整 調整の上EP-Si	GB-D(有孔)9,5	3000	V	W	上下黒板、流し台、窓下作業台		
	準備室		RC	クハ板16	木製巾木	LGS	クハ板16厚0底目張+OP塗	有孔PB9+EP	3000	V	W	掃除用具、戸棚、サイン、マップホルダー	美術技術準備室			M0	FS-C	VB	LGS	下地調整 調整の上EP-Si	GB-R9,5+DR9,5+EP 寒冷紗ハチ散き EP	2600	V	W	掃除用具庫、収納棚			
	木工教室		RC	クハ板16	木製巾木	LGS	クハ板16厚0底目張+OP塗	有孔PB9+EP	3000	V	W	流し台、クハ板収納、作品棚、収納棚	技術室			〇	M0	FS-C	VB	LGS	下地調整 調整の上EP-Si	GB-D(有孔)9,5	3000	V	W	上下黒板、流し台、窓下作業台		
			M0	クハ板16	木製巾木	LGS	クハ板16厚0底目張+OP塗	有孔PB9+EP	3000	V	W	掃除用具、戸棚、サイン、マップホルダー																

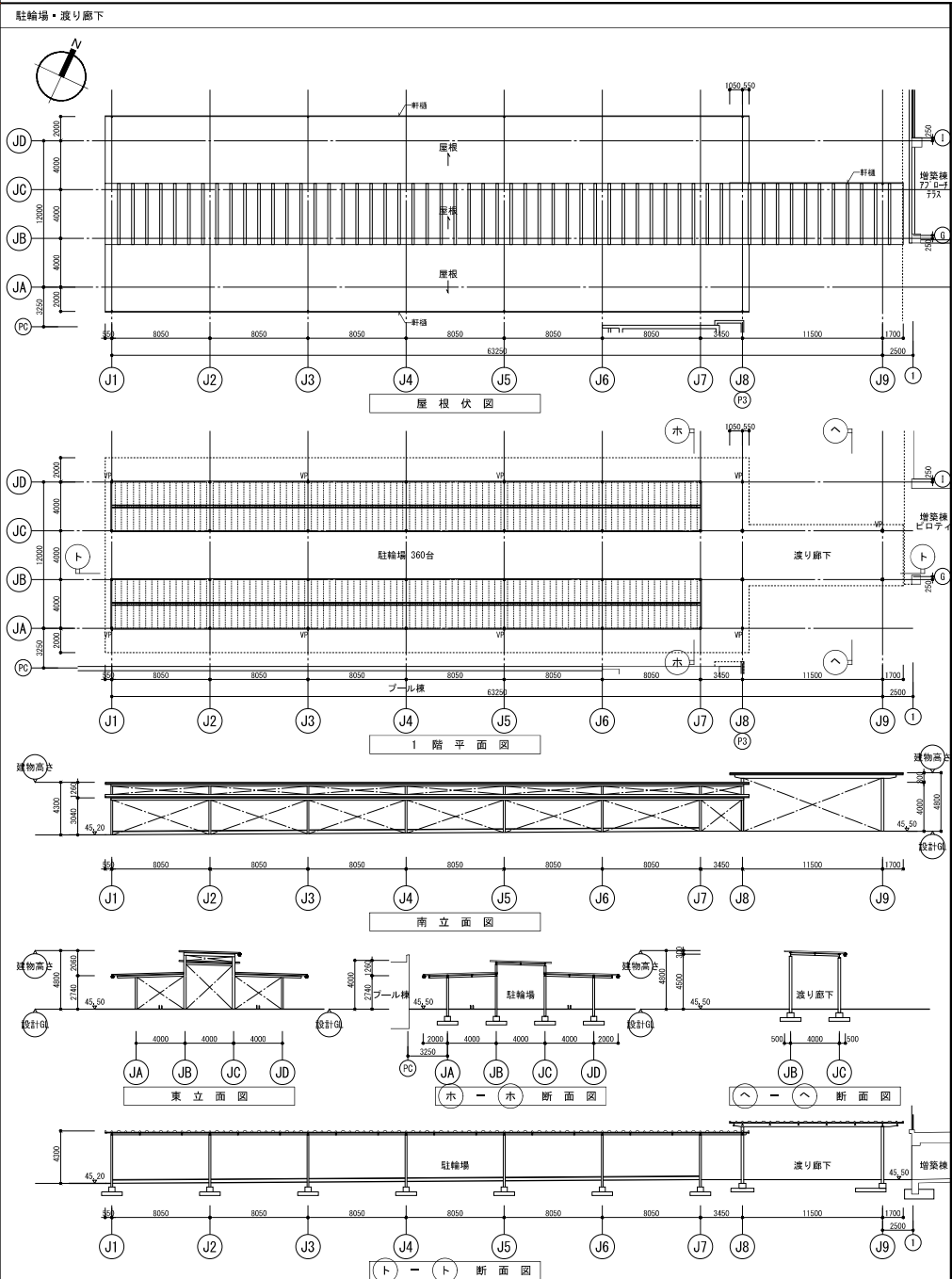
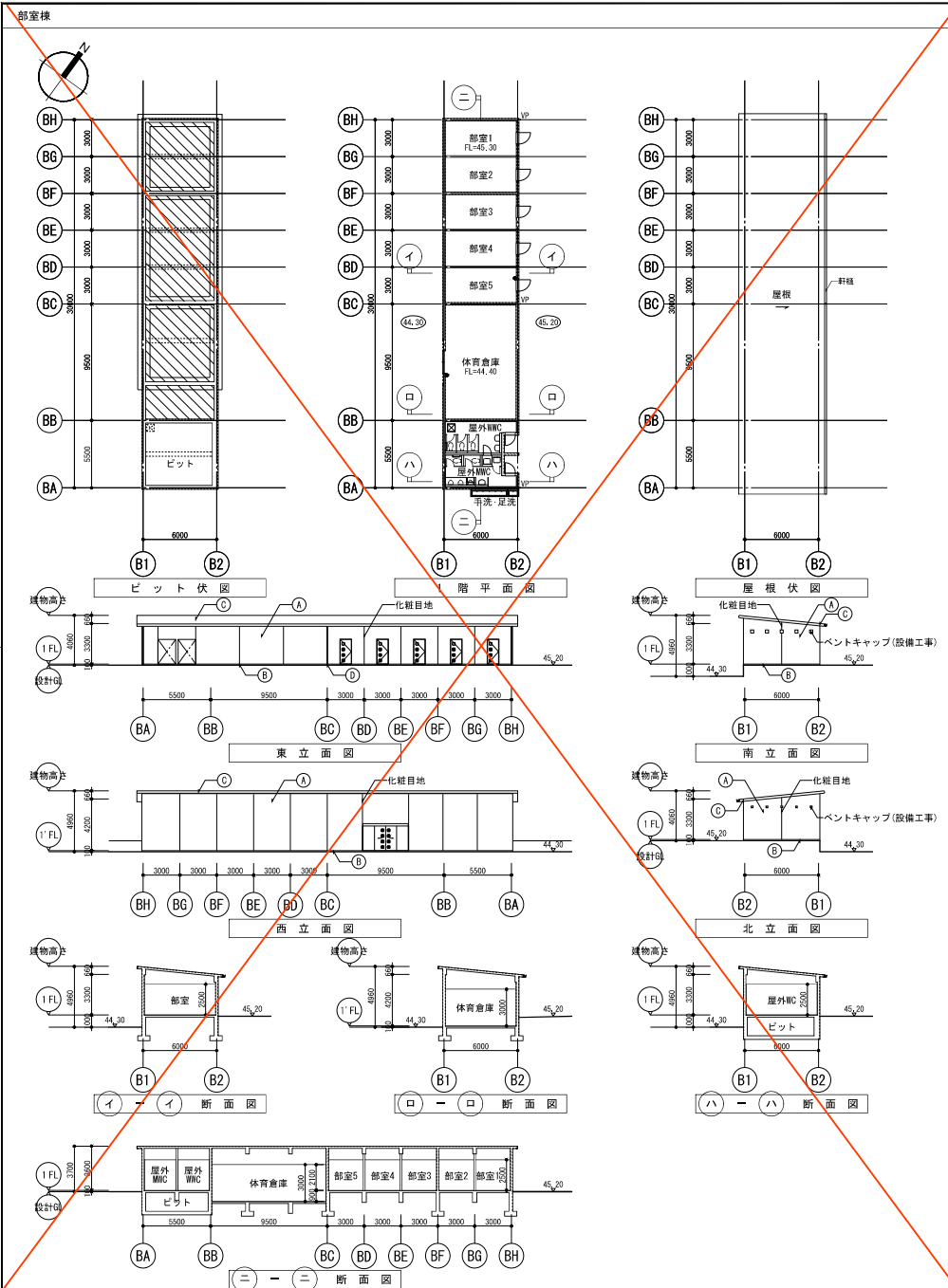


<ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 計画建物（前半工事）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px); border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 改修予定建物（後半工事）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(-45deg, transparent, transparent 2px, black 2px, black 4px); border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 解体予定建物（後半工事）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> 工事外範囲</li> </ul>	<p>作成日 2025.03</p>	<p>工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事          図面名称 &lt;後半工事&gt;          現況図(前半工事完了時点)          縮尺 A1: 1/500          A3: 1/1000</p>
---	--------------------	--

図面番号  
A319



<ul style="list-style-type: none"> <li> 計画建物 (後半工事)</li> <li> 改修建物 (後半工事)</li> <li> 完成済建物 (前半工事)</li> <li> 工事外範囲</li> </ul>		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 配膳図 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号  A320
---	--	----------------	---	------------------

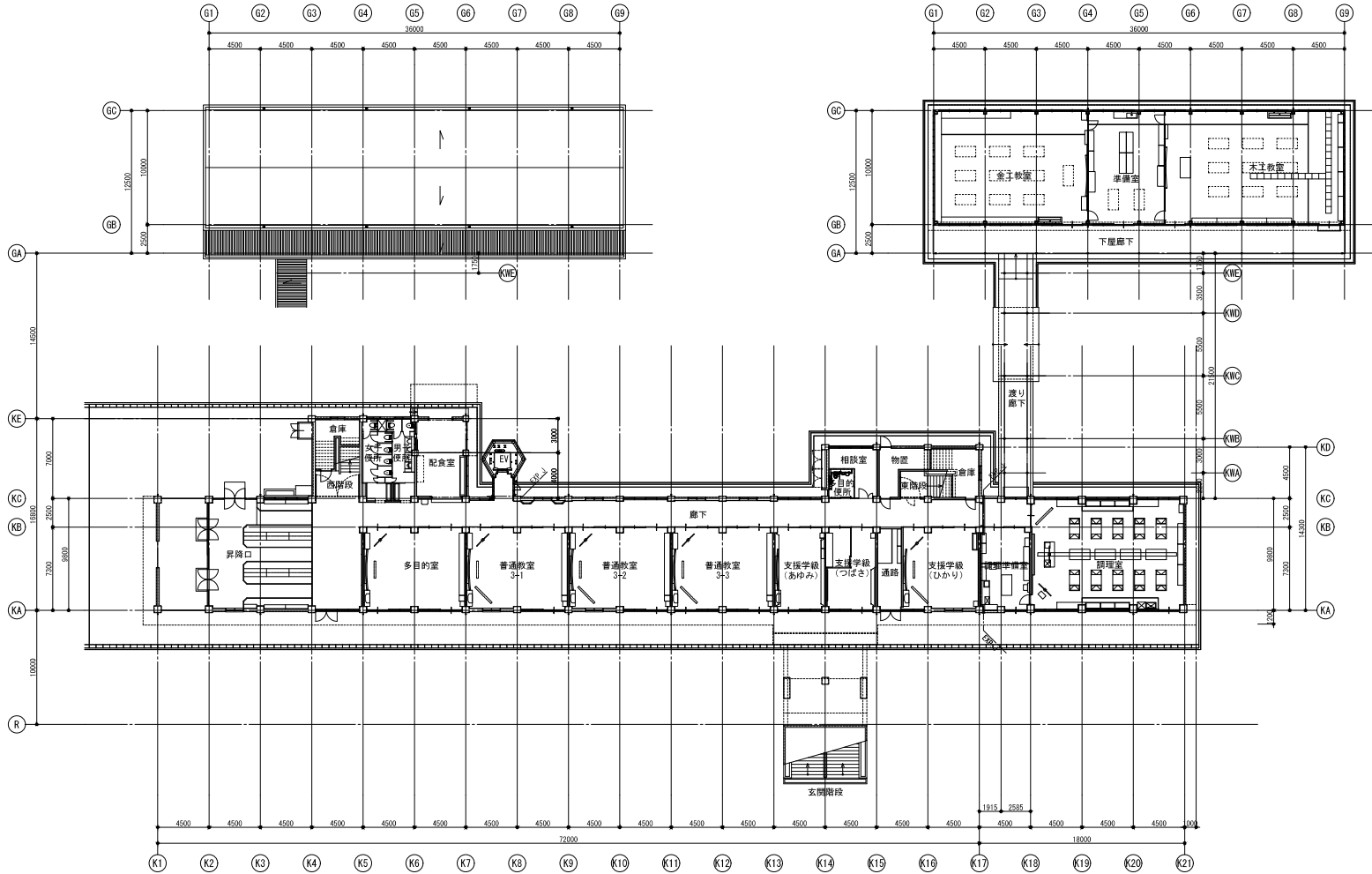


<p>平面図凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 換気口(タラップ4段付)</li> <li>・ VP 壁とい</li> <li>● 特記なし(渡り VP75)</li> <li>● 消火器ボックスB(置型)</li> </ul>	<p>立面図凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Ⓐ 外装吹付材</li> <li>Ⓑ R1打放し(A)の上巻米材塗布</li> <li>Ⓒ 塗膜防水</li> </ul>	<p>① 塩ビ製装壁</p>	<p>作成日 2025.03</p>	<p>工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事          図面名称 &lt;後半工事&gt;          附属棟 平面図・立面図・断面図          縮尺 A1: 1/200          A3: 1/400</p>	<p>図面番号 A321</p>
--	---	----------------	--------------------	---	------------------



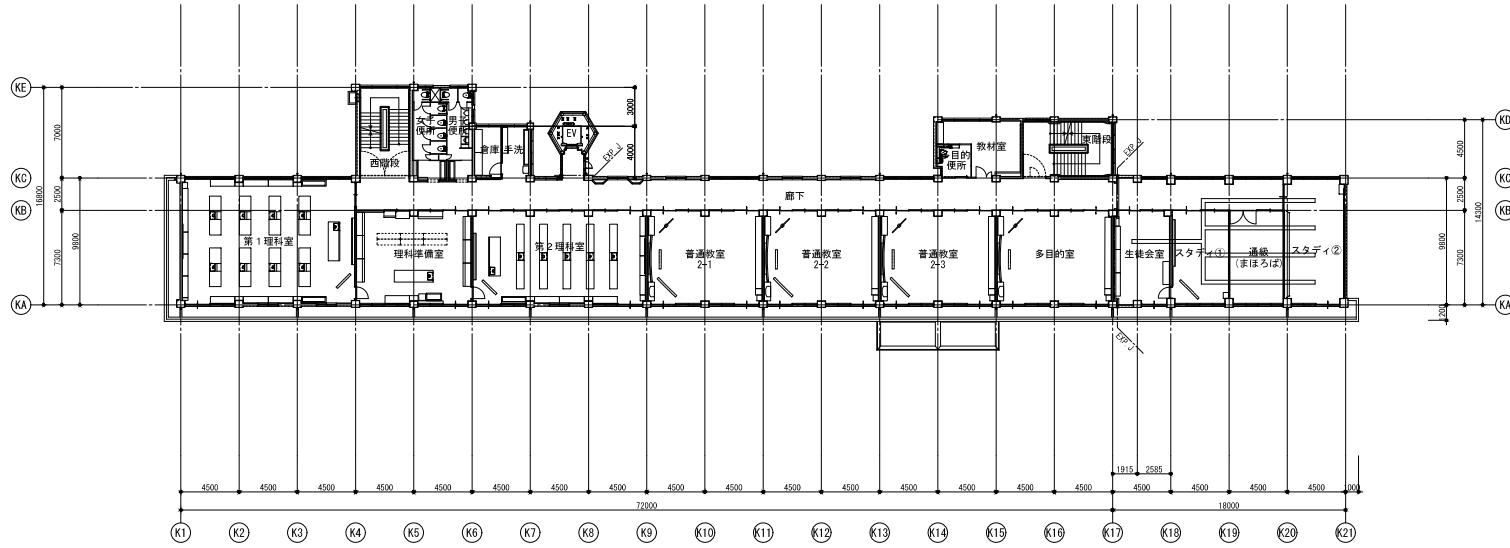
技術棟屋根伏図

技術棟平面図

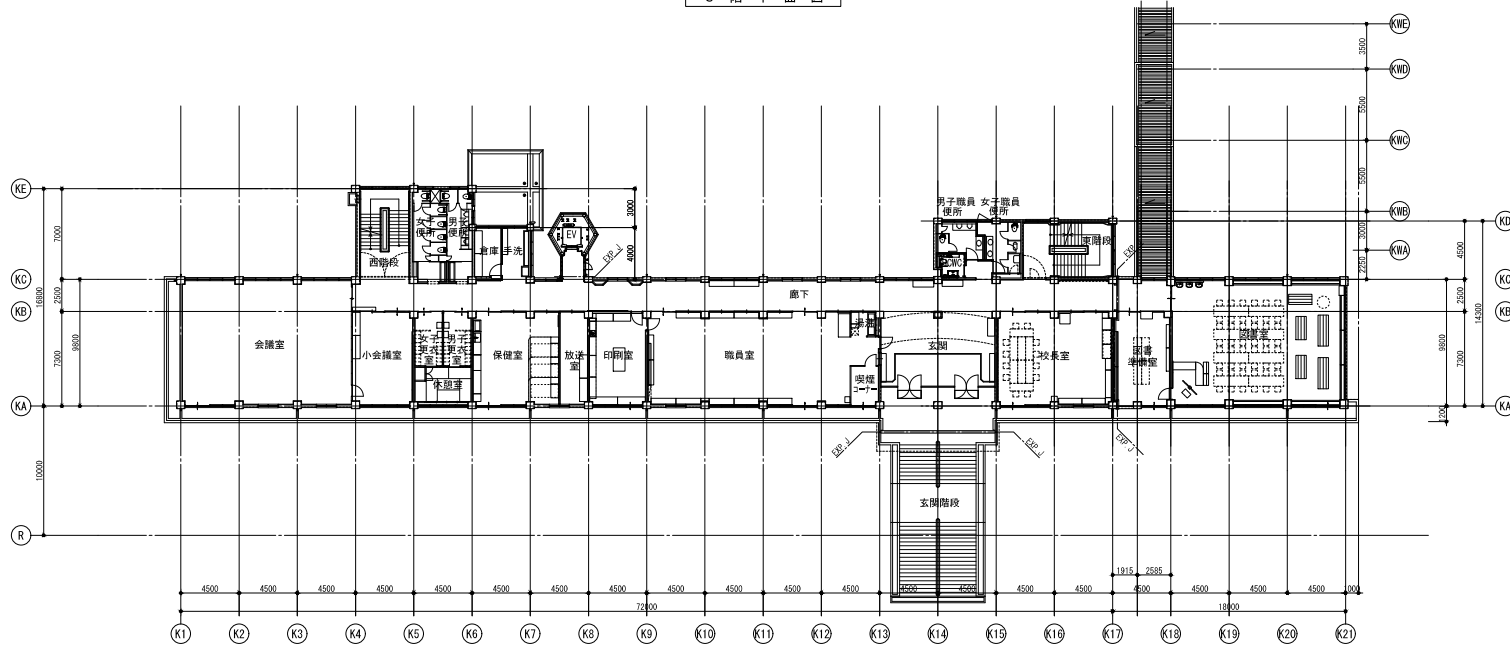


1階平面図

						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況平面図 その1 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A322
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------

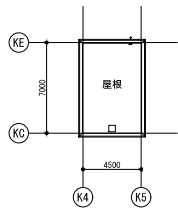


3 階 平 面 図

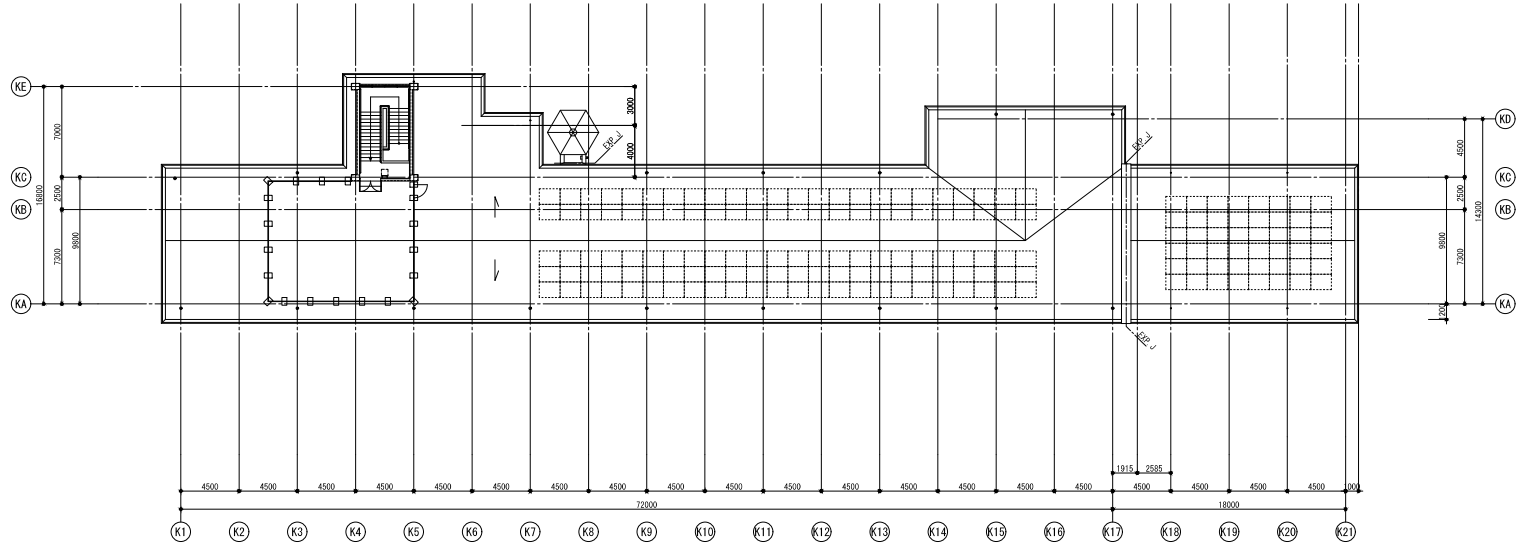


2 階 平 面 図

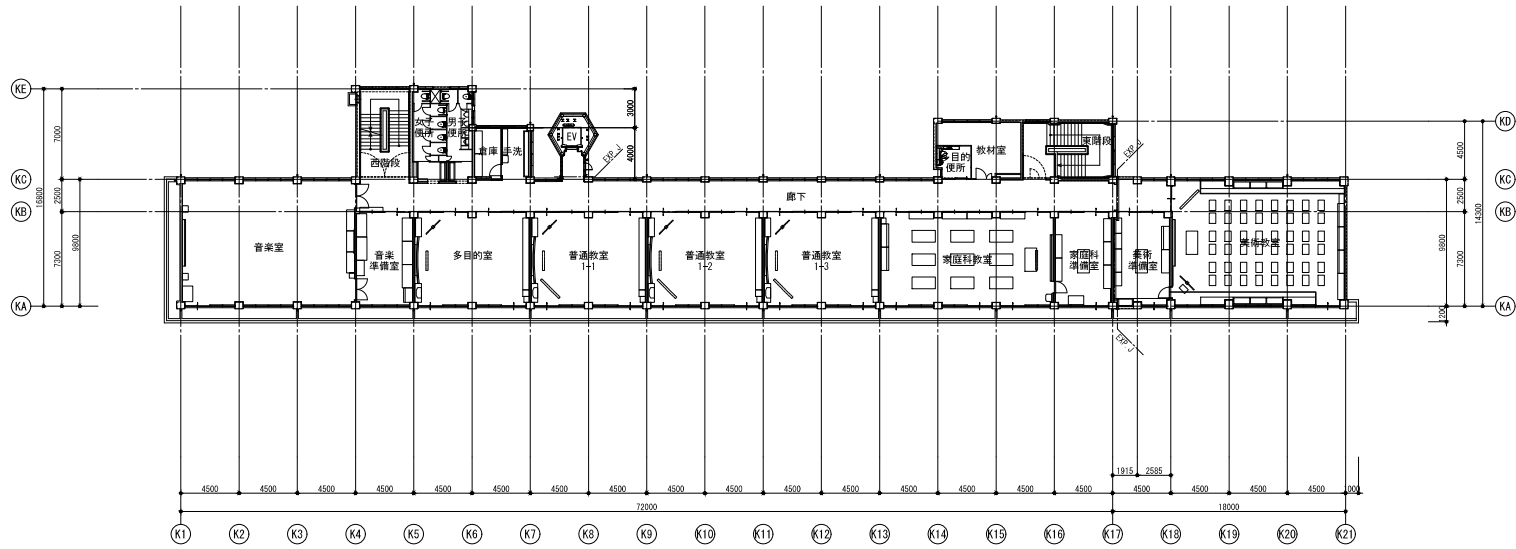
作成日	2025_03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A323
図面名称	<後半工事>	図面名称	<後半工事>	図面名称	
既存校舎・技術棟	現況平面図 その2	縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400		



塔屋屋根伏図

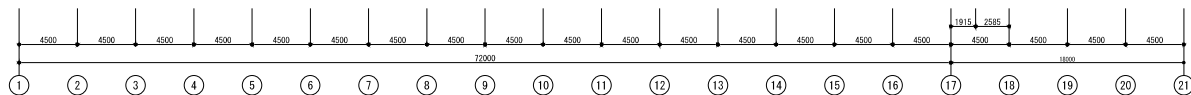
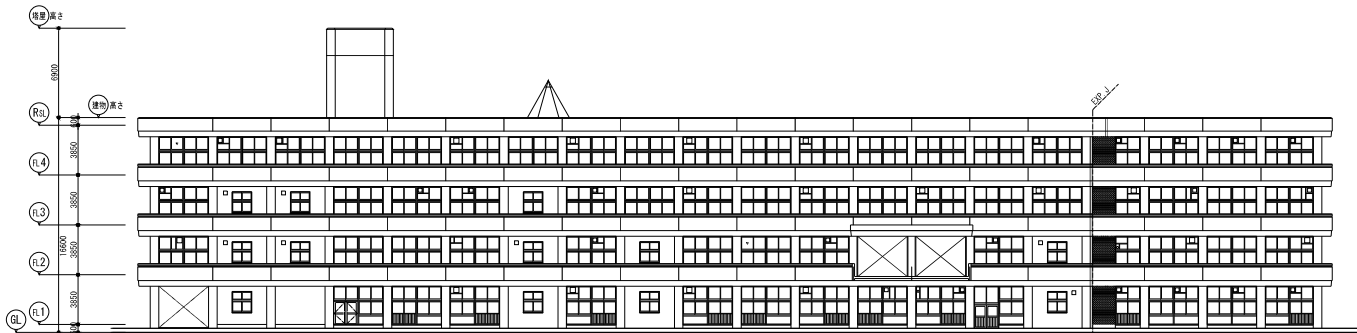


R階平面図

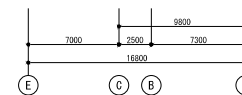
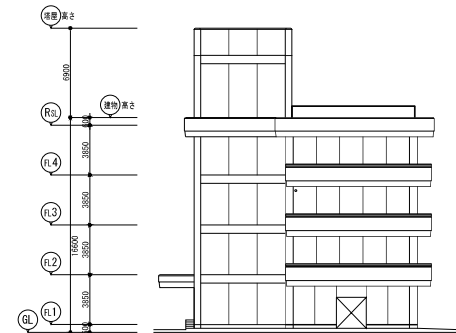


4階平面図

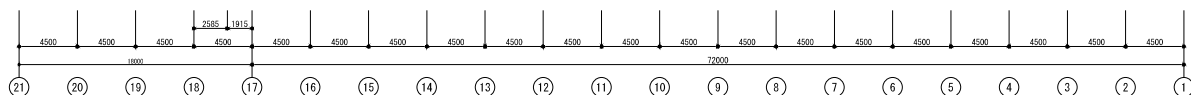
						作成日 2025.03		工事名称 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 令和7年度<後半工事> 図面名称 既存校舎・技術棟 現況平面図 その3 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A324
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



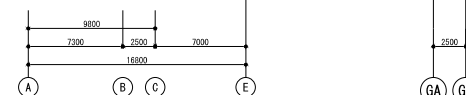
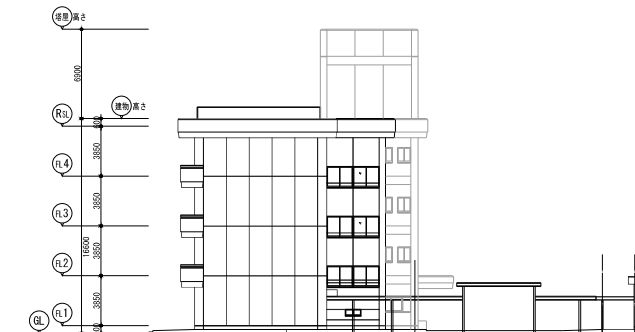
南立面图



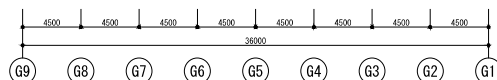
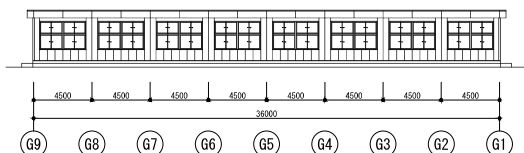
西立面图



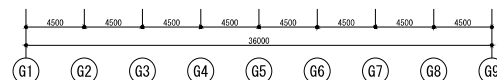
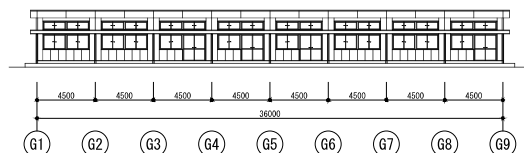
北立面图



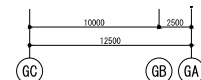
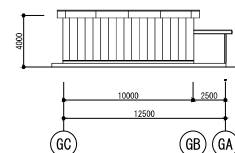
东立面图



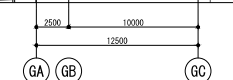
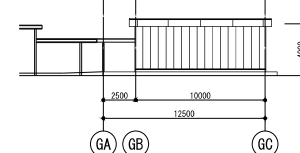
技术楼北立面图



技术楼南立面图

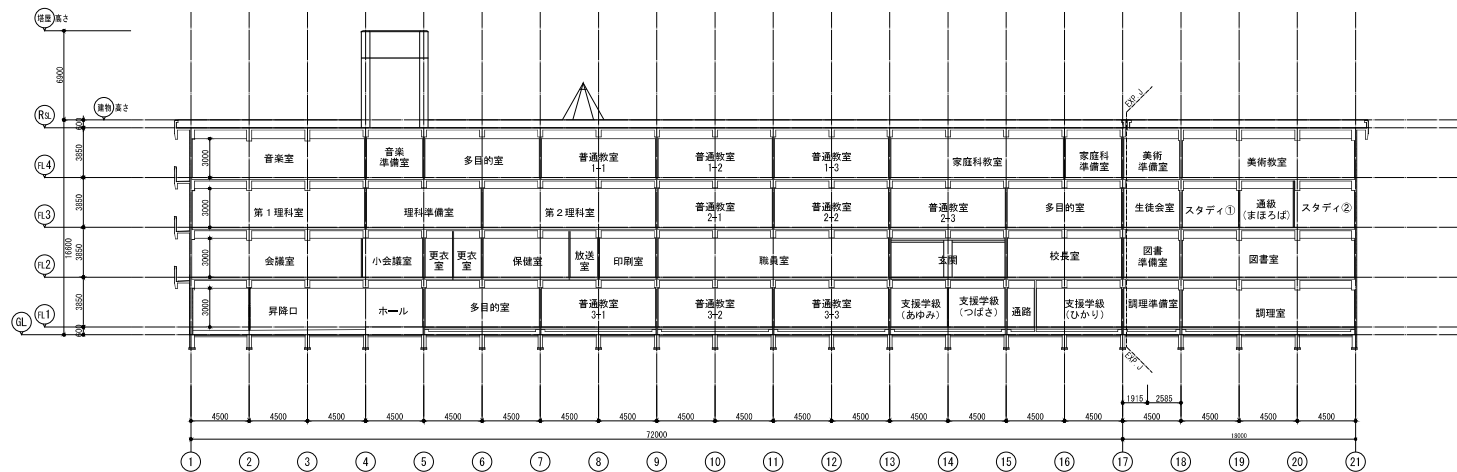


技术楼西立面图

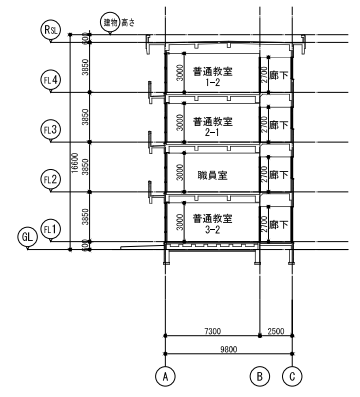


技术楼东立面图

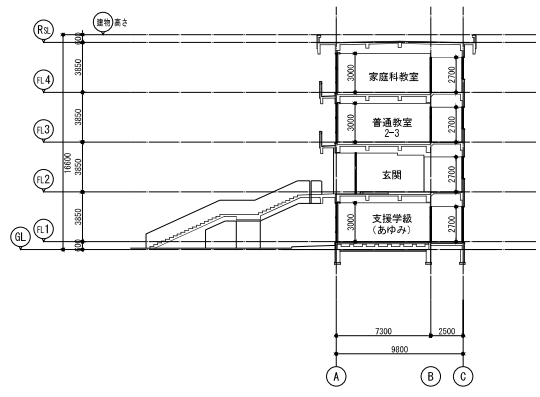
		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況立面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A325
--	--	----------------	--	--------------



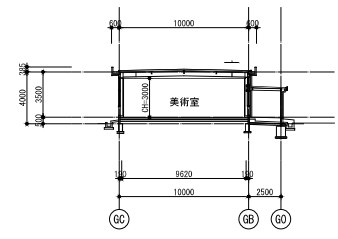
イ - イ 断面図



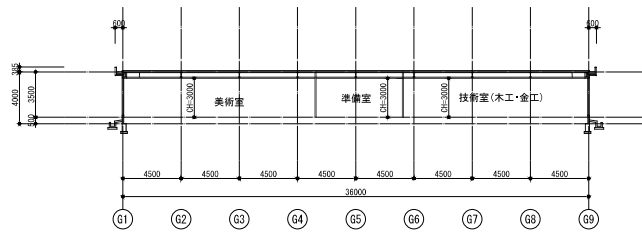
ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図



ニ - ニ 断面図



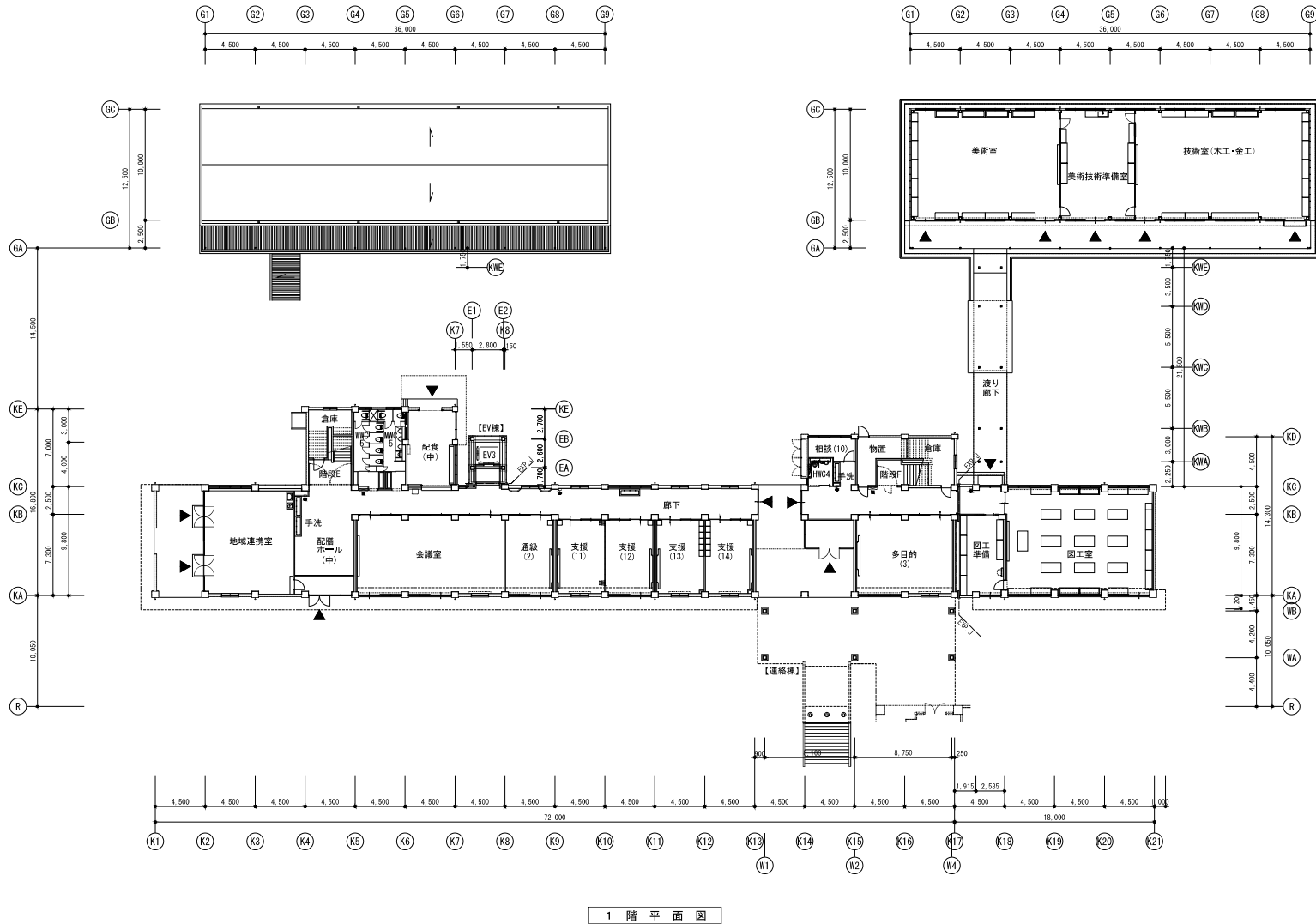
ホ - ホ 断面図

						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A326
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



技術棟屋根伏図

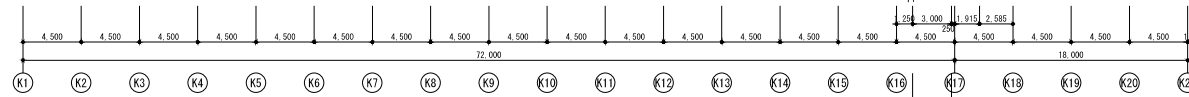
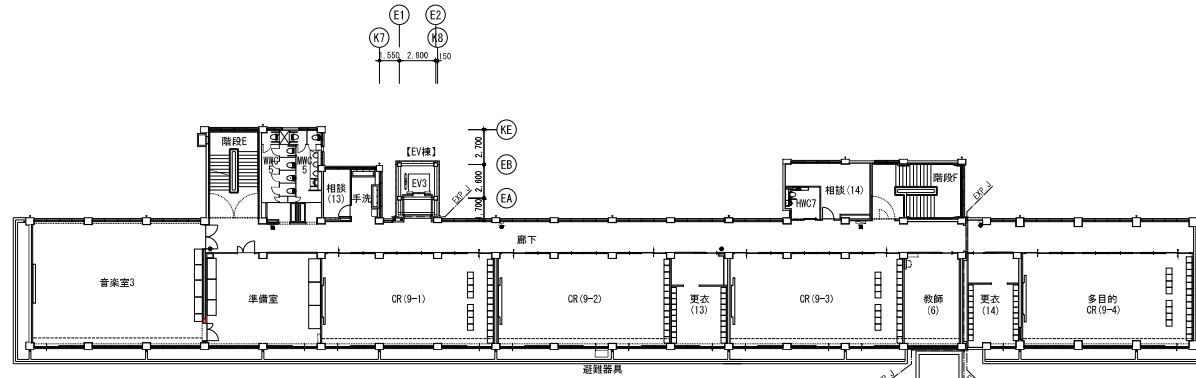
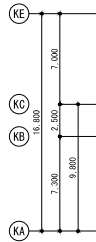
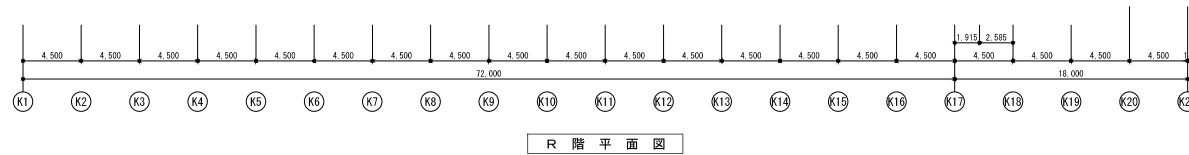
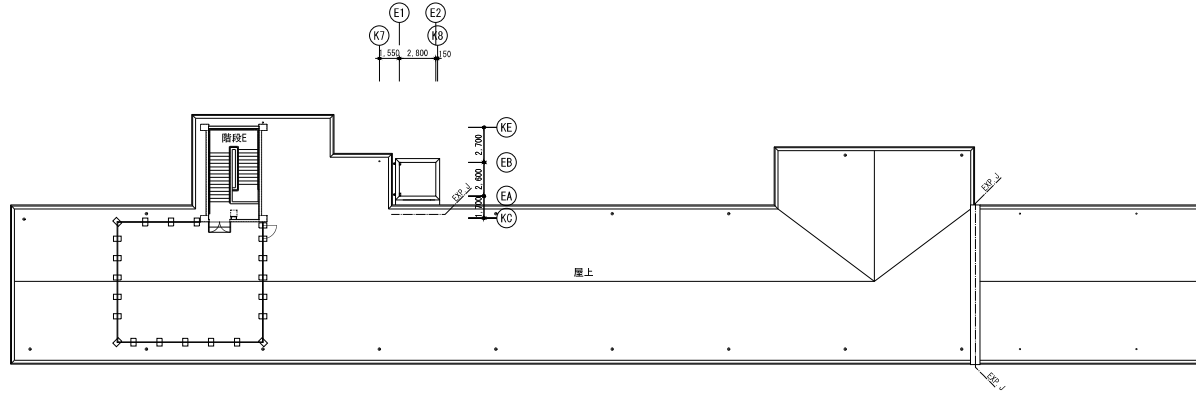
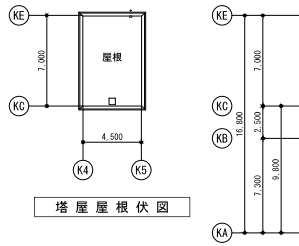
技術棟平面図



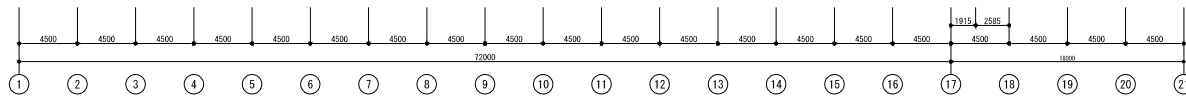
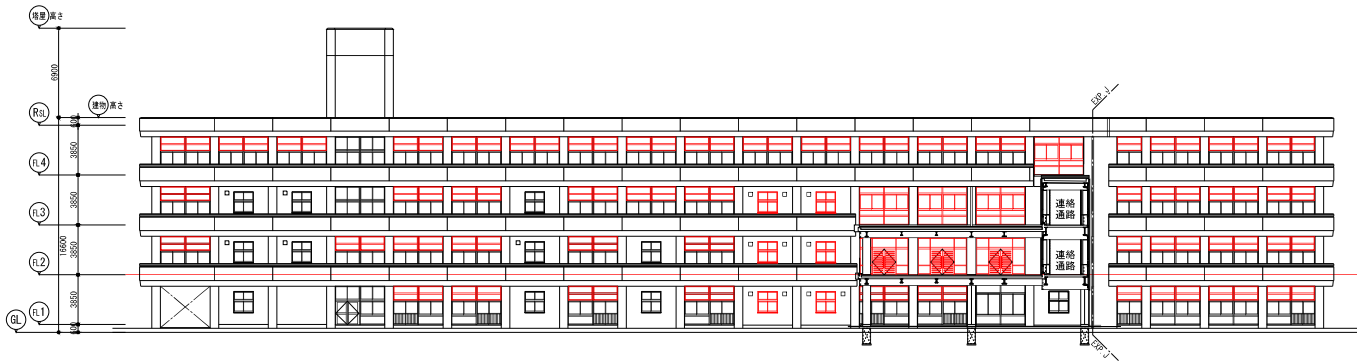
1階平面図

						作成日 2025_03		工事名称 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修平面図 その1 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A327
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------

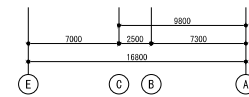
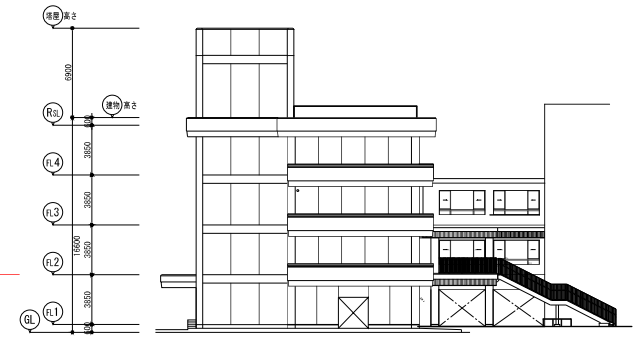




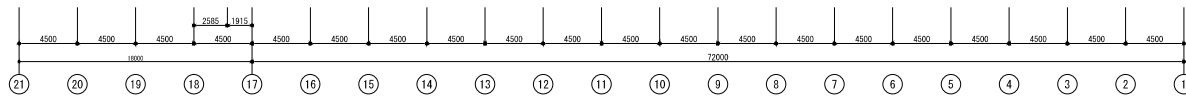
						作成日 2025_03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修平面図 その3 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A329
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



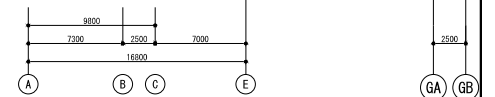
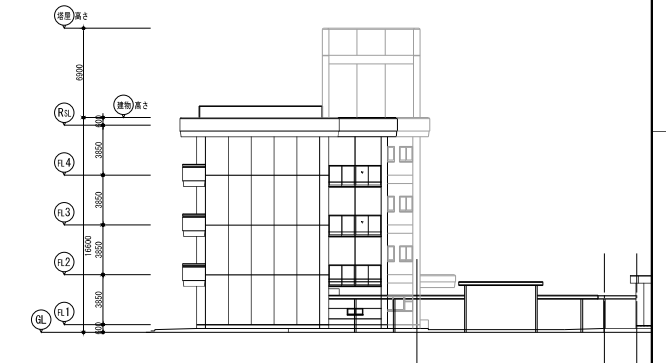
南立面图



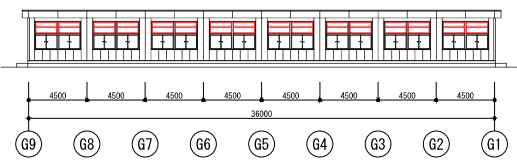
西立面图



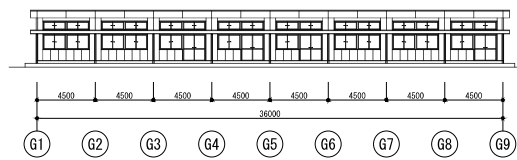
北立面图



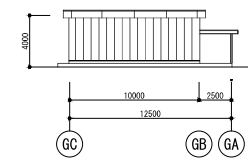
東立面图



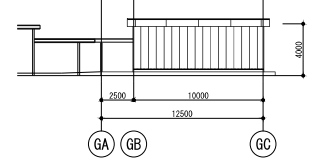
技術棟 北立面图



技術棟 南立面图

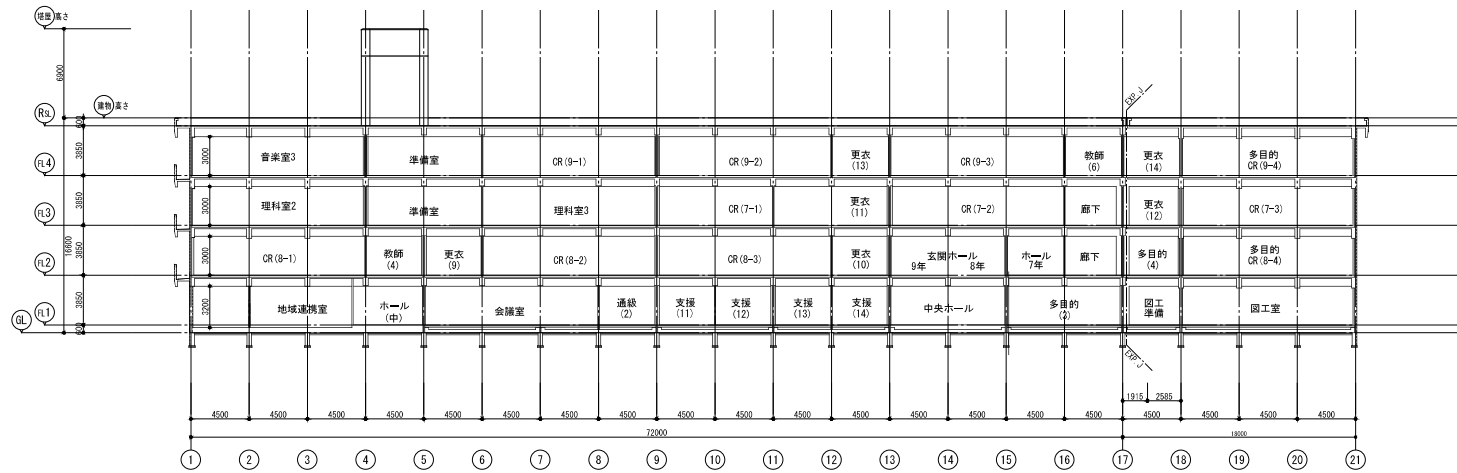


技術棟 西立面图

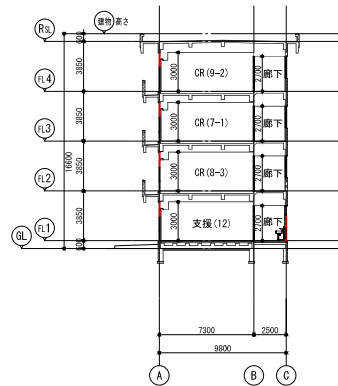


技術棟 東立面图

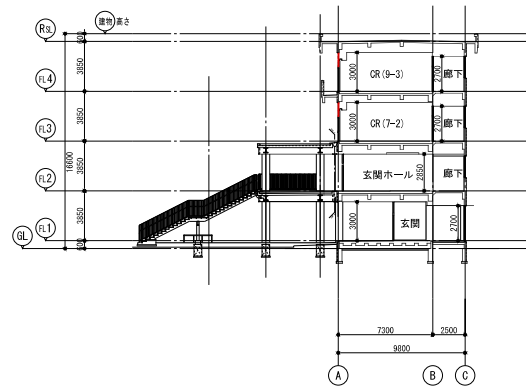
						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修立面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A330
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



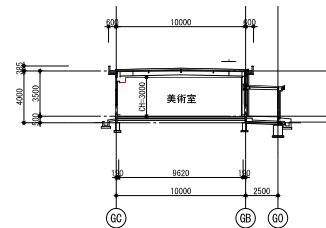
イ - イ 断面図



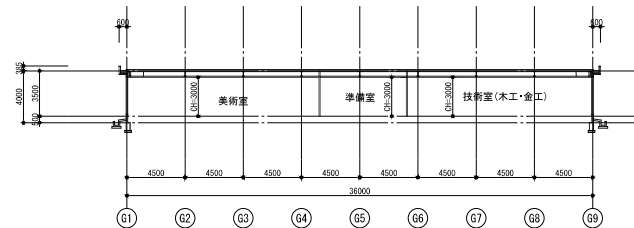
ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図



ニ - ニ 断面図



ホ - ホ 断面図

		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A331
--	--	----------------	--	--------------

# 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 仕様書

## 1. 工事名等

工 事 名 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

工事場所 加東市下滝野 761 番地（加東市立滝野中学校）ほか

工 期 契約締結日の翌日から令和10年3月25日まで

※当該工事の入札日は令和7年10月上旬であるが、加東市議会承認（開催日未定）を経て本契約とする。よって入札日から本契約までの間は、仮契約とする。現場での工事着手は本契約後とする。

## 2. 工事概要

「令和7年度加東市滝野地域小中一貫校建設工事（以下、本工事という）」は、加東市立滝野中学校敷地及び周辺地において、以下施設の建設及び改修を実施する。

### (1) 事業対象施設

対象施設（新築）	構造等	延べ面積
小学校教室棟 管理交流棟 特別教室棟 屋内運動場棟	RC造一部S造3階建	11,984.09 m <sup>2</sup>
プール棟	RC造平屋建	119.10 m <sup>2</sup>
連絡通路棟	S造3階建	77.34 m <sup>2</sup>
屋外付帯	バス停上屋、駐輪場等	—
外構	駐車場等	—

対象施設（既存改修）	構造等	延べ面積
中学校教室棟	RC造4階建	4031.05 m <sup>2</sup>
技術棟	S造平屋建	450.00 m <sup>2</sup>

対象施設（解体撤去）	構造等	延べ面積
既存屋内運動場棟	RC造2階建	約1,256 m <sup>2</sup>
既存体育倉庫棟	RC造2階建	約324 m <sup>2</sup>
既存プール (付属棟含む)	RC造平屋建	約113 m <sup>2</sup>
既存駐輪場	S造平屋建	約225 m <sup>2</sup>
屋外付帯	渡り廊下、倉庫等	—

## (2) 工事ステップ

本工事は、ステップ4からステップ8までが対象工事範囲となる。ステップ1からステップ2までは完了している。

なお、実際の工事工程は、契約後、施工者、監理者、発注者において協議の上決定する。

### 【ステップ1 先行工事①】 令和6年5月～令和6年10月

- ・南東側、北側農地を造成
- ・農業用水路の撤去

### 【ステップ2 先行工事②】 令和6年11月～令和7年6月

- ・北東側農地を造成、管理道路整備
- ・保健センター解体

### 【ステップ3 先行工事③】 令和7年4月～令和7年10月

- ・新設テニスコート整備（4面）
- ・既存テニスコート、既存駐輪場解体
- ・埋蔵文化財調査（7月～10月）

### 【ステップ4 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事①）】 令和7年10月～令和8年9月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設

### 【ステップ5 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事②）】 令和8年9月～令和8年10月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設
- ・既存プール棟解体、既存駐輪場解体
- ・南西農地を造成

※既存プール及び既存駐輪場（プール南側）の解体は、令和8年度の水泳授業終了後（令和8年7月末）から実施する。

※解体時における騒音については、実施時期や工程について、市監督員・学校関係者と事前によく協議すること。騒音により授業や学校生活に支障が出ると想定される場合は、土日祝日や長期休みにおいて実施する。

### 【ステップ6 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事③）】 令和8年10月～令和9年5月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設
- ・プール棟建設

※小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟は、令和9年7月の夏季休業中に中学校教室棟より中学生の引っ越し、新規備品搬入、仮設教室改造工事を行うため、令和9年6月末までに引っ越しができる状態まで完成させる。仮設教室改造工事とは、本来小学生が利用するための校舎を中学生が利用できるよう仮設工事を行う予定としている。

※中学生が引っ越し後、新校舎をすみやかに供用開始できるよう、建築確認申請等法的完了検査及び消防検査ほか必要な諸手続き及び協議を行うこと。特に、消防設備の切り替えのタイミングについては、十分な協議と調整が必要となるため、注意すること。

【ステップ7 滝野地域小中一貫校建設工事（後半工事①）】令和9年6月～令和9年11月

- ・中学校教室棟長寿命化改修
- ・既存屋内運動場棟解体

【ステップ8 滝野地域小中一貫校建設工事（後半工事②）】令和9年11月～令和10年3月

- ・中学校教室棟長寿命化改修
- ・駐輪場建設
- ・既存駐輪場解体

※中学校教室棟の長寿命化改修工事については、令和10年1月末までに完了させること。令和10年2月より、中学校教室棟の新規備品搬入及び、中学生の引っ越し、新校舎の仮設教室を復旧させる工事等を実施する。中学生の学校生活に支障がない範囲の工事は、令和10年3月まで続行しても構わない。

※中学生が引っ越し後、中学校教室棟をすみやかに供用開始できるよう、建築確認申請等法的完了検査及び消防検査ほか必要な諸手続き及び協議を行うこと。特に、消防設備の切り替えのタイミングについては、十分な協議と調整が必要となるため、注意すること。

(3) 関連する別途工事について

本工事の敷地内及び敷地周辺において、以下別途工事（作業）を実施する。請負工事業者（業者）の搬出入動線や作業工程において、随時調整を行うこと。

①雨水幹線付け替え工事 令和6年7月～令和7年7月

敷地中央を通っている雨水幹線を、敷地南側の道路沿いへ付け替えている。本工事が開始するまでに完了している予定。

②埋蔵文化財調査による発掘作業 令和7年7月～令和7年10月

敷地南側の道路沿い付近において、埋蔵文化財の発掘調査を実施する。現場作業は令和7年9月に完了する予定。

③滝野地域アフタースクール建設工事 令和8年12月～令和9年11月

敷地北西側において、滝野地域アフタースクールの建設工事を実施する。

3. 契約不適合責任期間

工事一般 2年（加東市へ引き渡した日から）

但し、その契約不適合が請負人の故意又は、重大な過失によって生じたものであるとき、契約不適合に関する受注者の責任については、民法の定めるところによる。

#### 4. 契約

工事契約は、加東市工事請負契約約款による。

#### 5. 監督員の指示

当該工事の実施を通じ、市が当該工事の履行を監督する者として定めた職員(以下「市監督員」という。)の指示に従い円滑に業務を遂行する。

#### 6. 設計変更

設計変更を生じた時は、市監督員と打ち合わせの上、変更契約を締結した後に変更工事に着手すること。その場合は、各工事とも契約時の設計単価・経費率により、設計金額に落札率を乗じて請負金額の増減を行う。

現場の納まり・取合いなどの関係で軽微な変更をする場合も、市監督員の指示による。なお、軽微な変更においては、請負金額の増減はしない。

ア. 当該工事において、精算対象となる項目例は以下の通りである。

- 例1) 設計図書に示した条件から変わるもの(諸室位置の変更、仕上材のグレード変更、機器仕様の変更等)
- 例2) 市や学校要望による追加・変更指示
- 例3) 発生材運搬処分
- 例4) 足場設置後でなければ判別が付かないもの(外壁劣化部の補修)
- 例5) 隠蔽部等、不測の事象によるもの(躯体劣化部の補修、設備配管ルートの変更等)
- 例6) その他、協議を要するもの

イ. 納まり上、明らかに必要となる下記項目例、その他これらに類する軽微な変更においては、請負金額の増減はしない。

- 例1) 仕上げ見切材、窓廻りの額縁
- 例2) 支持金物等、撤去跡の左官補修
- 例3) 塗装のタッチアップ
- 例4) 外壁改修における端部や打継・化粧目地のシーリング
- 例5) 内装工事における下地材
- 例6) 内装工事における衛生機器や家具と取合うシーリングや化粧目地
- 例7) 家具や設備の支持部材及び取合う補助部材
- 例8) 改修範囲における設備機器や器具の一時取外し復旧
- 例9) 屋外や屋内に面する鉄部塗装
- 例10) 仮設足場、仮囲い、仮設計画に係る一切(誘導員は増減対象)
- 例11) スクラップ控除

#### 7. 建築工事仕様書

(1) 優先順位(設備工事も同様とする。)

- ① 質疑応答書
- ② 現場説明事項
- ③ 特記仕様書
- ④ 設計書

## ⑤設計図

## ⑥共通仕様書

また、以下記載の有無に関わらず当該工事に関連する適用基準・指針等があれば遵守すること。

- ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準仕様書(電気工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準仕様書(機械工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築改修工事標準仕様書(機械工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準詳細図(電気設備工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準詳細図(機械設備工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・建築設備設計・施工上の運用指針(日本建築設備・昇降機センター)
- ・建築工事安全施工技術指針(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・建築保全業務共通仕様書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・小中学校施設整備指針(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部)
- ・LPガス設備設置基準及び取扱要領(高圧ガス保全協会)
- ・非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針(有害物質含有等製品廃棄の適正処理検討会)
- ・「建築物の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル(厚生労働省)
- ・営繕工事写真撮影要領
- ・工事写真の撮り方 建築設備編(一般社団法人 公共建築協会編)
- ・内線規程(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)
- ・高圧受電設備規定(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)
- ・高周波抑制対策技術指針(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)

## 8. 現場施工要領

### (1) 工事着手前

- ①当該工事(仮設工事含む)の着手前に(必要であれば工事中も随時)、近隣住民に対し工事内容・工程・その他必要と思われる事項をチラシ配布等で十分に周知し、近隣トラブルの防止に努めること。  
また、市監督員と協議し、住民に対しての説明会を行うこと。
- ②当該工事に必要な水や電力等の仮設は請負者側にて準備すること。敷地内公共施設の、水・電力を有償譲渡することは可能。
- ③現場事務所及び資材置き場、作業員駐車場等は、設置場所については市監督員と協議すること。敷地外へ設置する場合も事前に市監督員と協議を行い、別敷地利用にかかる費用は請負者負担とする。
- ④車両待機場所についても、事前に市監督員と協議をすること。待機場所利用にかかる費用は請負者負担とする。
- ⑤着手前には以下の書類を市監督員へ提出すること。

- ・着手届      ・現場代理人、主任技術者届      ・工程表      ・コリンプ登録
- ・施工計画書（仮設・安全・施工体系図関係、再生資源利用計画書、産業廃棄物処理関係書類等）
- ・工事用材料使用届      ・下請業者選定届・その他必要なもの

⑥必要に応じて、現場周辺に工事・安全対策の表示および誘導看板を設置すること。

⑦当該工事敷地周辺には以下の公共施設があるため、それぞれの施設運営に支障のないよう十分に留意すること。

#### 【滝野中学校】

・平日だけではなく土日祝日も部活動等で教職員・生徒の出入りがあるため、工事車両の動線に注意すること。

・工事車両の搬入出は、生徒の登校時間 7 時～8 時頃、下校時間 16 時～18 時（時期により変動）の間を外して調整すること。

・学校行事によって大きな音の出る工事を制限することがある。その際、例えばテストや講演会等の場合は大きな音の出る工事は認めない。音の出ない軽微な作業（墨出し等、工具や重機を用いない作業）は可とする。

    《参考》令和 6 年度の行事

    体育大会：9/14

    入学式：4/9

    卒業式：3/15

    期末テスト：6/19～6/21、11/27～11/29、2/26～2/28

    中間テスト：5/16～5/17、10/24～10/25

    実力テスト：4/18、9/2、1/7、3/12

    三者面談：12/11～12/19

    参観日：4/27、6/8、11/2

    合唱コンクール：11/2

    新入生入学説明会：1/23

    ほか、講演会、臨時テスト等

・上記のほか、学校行事や講演会の際は、市監督員と協議の上、音に配慮した作業を行う。

#### 【さんあいセンター】

・昼夜問わず利用者の出入りがあるため、工事車両の動線に注意すること。

⑧工事中は周辺住民に対し防塵対策・騒音対策（散水・養生等）を十分におこなうこと。

⑨騒音測定及び家屋調査は、別途実施する。当該工事に含まない。

⑩工事に関する近隣説明会や起工式は、市監督員とスケジュールや内容を調整の上、請負者の負担において実施すること。

### (3) 工事管理

#### ①工事写真・完成写真

「工事前・工事中・工事後」の写真は必ず施工箇所全てにおいて撮影しておくこと。特に工事前写真は、施工後撮影することは不可能である為、施工箇所全ての事前写真を撮影できているか入念に確認すること。着工前に工事監理者及び市監督員に工事前写真を提出し、チェックを受けること。

#### ②各種検査

各検査は、適宜時期をはずさぬよう市監督員と事前に打合せの上、日時を決定し、検査を受けること。また完了検査前に請負者による自主検査、及び工事監理者による監理者検査を行い、市監督員に報告書を提出すること。

#### ③工程会議

定期的な工程会議は1週間～2週間に1回開催することとする。現場の進行状況に併せ、臨時の工程会議を開催することもある。その際、現場代理人及び関係者は必ず会議に出席すること。また現場において、工程・施工上打合せ等の必要な時は、その前日までに連絡し立会をもとめること。

#### ④告知義務

設計図書に従って施工した後、契約不適合の発生を予期したる時は、市監督員に文書にて報告しなければならない。

#### ⑤災害対策

災害を予期したる場合は、すみやかに防衛対策を講ずること。また、万一災害を受けた場合は、調査報告並びに復旧対策書を提出すること。

#### ⑥材料機器承諾願い

使用資材の仕様届及び必要に応じ見本を提出すること。

承諾願いを事前に提出し、設計書に記載されている内容の同等品以上であることの確認を受け、市監督員の承諾を得ること。

缶等の材料の使用前・使用後の数量がわかる書類を提出すること。

(納品書・写真等で数量がわかるようにすること)

#### ⑦シンナー等有機溶剤の保管管理

トルエン、酢酸エチル又はメタノールを含有するシンナー、接着剤、塗料及びシーリング材の保管は盗難防止に留意し、厳重に保管すること。

なお、盗難にあった場合は直ちに警察署へ被害届を提出し、市監督員に届出ること。

#### ⑧ホルムアルデヒド放射量について

J I S等により放散量の区分規定がある材料(下地の材料共)を使用する場合は、F☆☆☆☆を使用すること。

#### ⑨産業廃棄物の処理

建設廃材等の産業廃棄物が発生する時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年法律第137号)に基づき、適正に処理すること。

また建設廃棄物処理委託契約書及びマニフェスト票(A票及びD票、またはA票及びE票)の写し、処分した廃棄物の種類・廃棄量がわかるものを提出すること。

⑩建設発生土及び建設副産物

建設発生土及び建設副産物の搬出先は、積算参考条件として以下を設定している。

再生資源化等をする施設等の名称及び所在地

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等 諸条件	その他
発生土	(株) G & T	6.48km	加西市繁昌町 366-1		
Co 無筋 がれき	(株) 新生工業 加西工場	14.40km	加西市鎮岩町 699-7		
As 殻	(株) 新生工業 加西工場	14.40 km	加西市鎮岩町 699-7		
木くず・樹木	歩信栄建設 (株) 西脇環境 センター	13.4km	西脇市住吉町 1-114		
廃プラスチック類	(株) 姫路環境 開発	16.55km	姫路市飾磨区中島宝来 3067-17		
ボード類					
混合廃棄物					
アスベスト含 有建材					

上記搬出先は、積算条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。請負者は県登録施設から搬出先施設を選定し、仕様書に基づき施工計画書に含め、市監督員へ提出すること。

運搬距離については、工事場所から各搬出先までの距離としている。なお、請負者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

上記に記載のない発生材及び建設副産物については、積算条件の明示を行わない。請負者において受入施設の選定を行うこと。

【留意事項】

- ①安全確保に万全を期し工事を施工すること。現場での作業は、午前 8 時から午後 6 時までとする。ただし、やむを得ない事情で工事をする時は、市監督員の承諾を得ること。
- ②現場の監督員及び作業員は、作業中において必ず名札を着用すること。

7. 交通安全対策

- ①工事中は、周辺住民・施設利用者及び一般車両を優先し、通行に注意すること。
- ②必要に応じて、現場周辺に工事、安全対策の表示及び誘導看板を設置すること。
- ③監督員、作業員の車両及び工事用車両については、指定の位置に駐車し、無断で付近の道路や空き地に駐車しないよう注意すること。

## 8. その他

- ①工事範囲内の既存部分及び工事進入経路上の既設施設を破損しないように十分注意すること。また、破損の恐れがある部分については、必要な養生をすること。万が一、破損事故等が発生した場合は、速やかに市監督員及び学校に連絡し、指示に従うこと。
- ②施工期間中、学校敷地内で使用を許可された場所等の管理は、事業者の責任にて適正に行うこと。また、工事着手前に現況写真の撮影等を行い、工事完了時には現状復旧を行うこと。
- ③この工事は、加東市工事等の契約に係る労働環境の適正化に関する条例（平成 27 年条例第 26 号）に該当する。本工事全体を通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の低減に十分配慮すること。本工事の際に使用する材料の選定や施工方法において、環境負荷を低減するための工夫に取り組むこと。